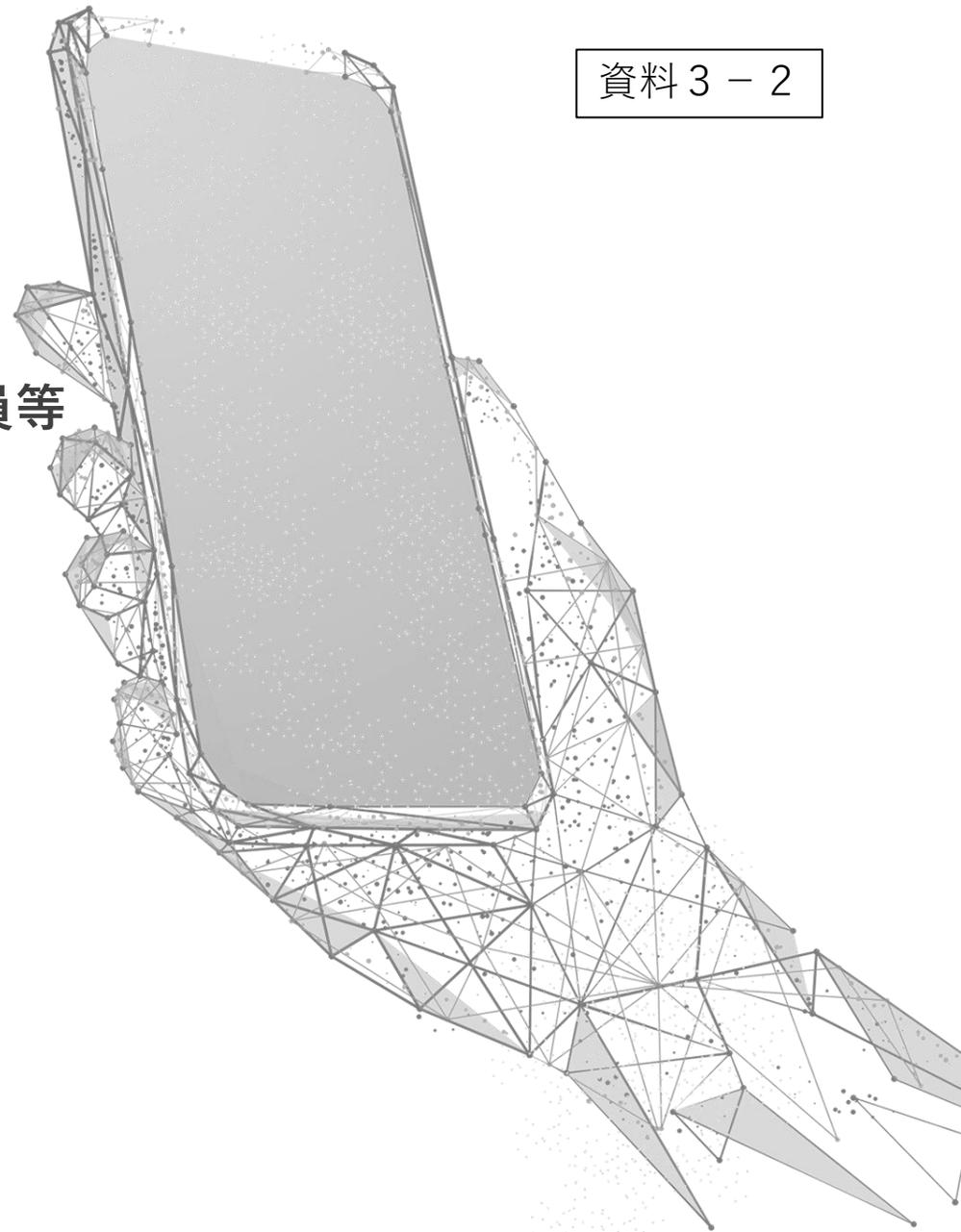


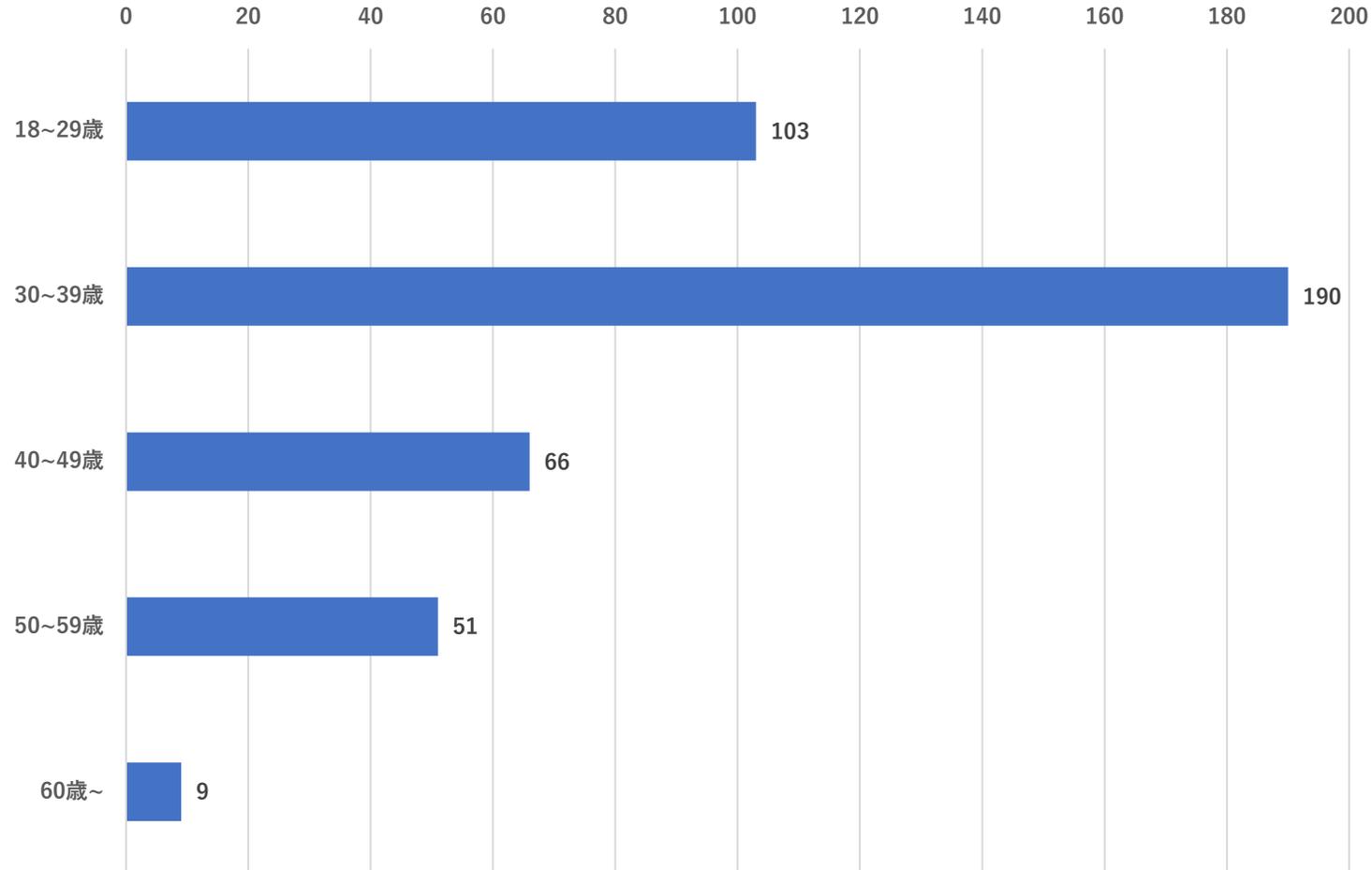
第3回 ユーザーアンケート結果詳細

- ・ 実施期間：令和7年7月15日～8月1日
- ・ 対 象：実証実験参加消防機関の救急隊員
実証実験参加医療機関の医師、看護師、事務職員等
- ・ 実施方法：WEBフォーム
- ・ 回答者数：消防機関 421
医療機関 237
- ・ 実施主体：広島県
- ・ 発出取纏：TXP Medical株式会社



第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

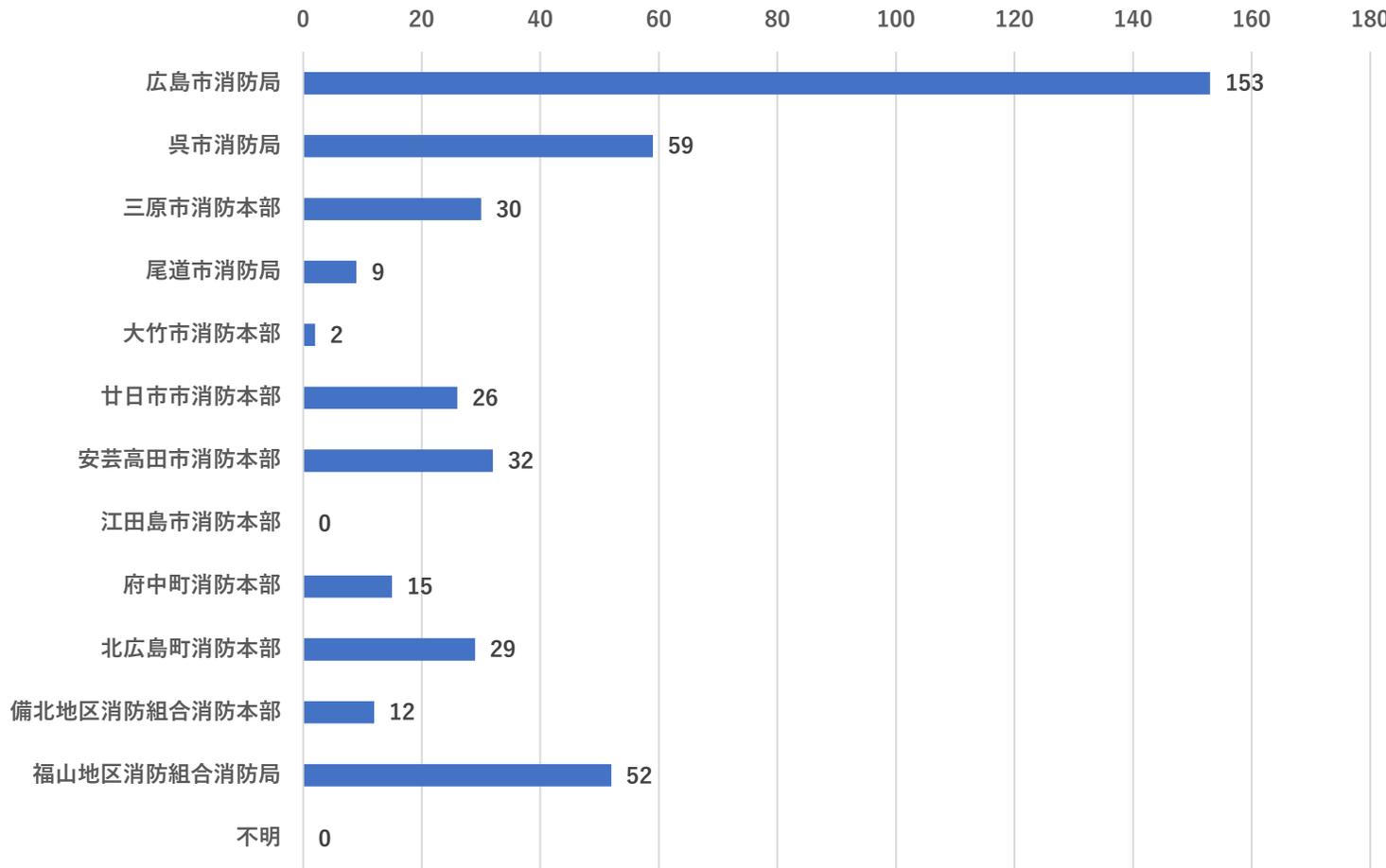
質問	回答数	回答要領
【質問1】 あなたの年齢を選んでください。	419	択一式



選択肢	回答
18~29歳	103
30~39歳	190
40~49歳	66
50~59歳	51
60歳~	9

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問2】 あなたの所属する消防本部（局）を選んでください。	419	択一式



選択肢	回答
広島市消防局	153
呉市消防局	59
三原市消防本部	30
尾道市消防局	9
廿日市市消防本部	2
大竹市消防本部	26
安芸高田市消防本部	32
江田島市消防本部	0
府中町消防本部	15
北広島町消防本部	29
備北地区消防組合消防本部	12
福山地区消防組合消防局	52
不明	0

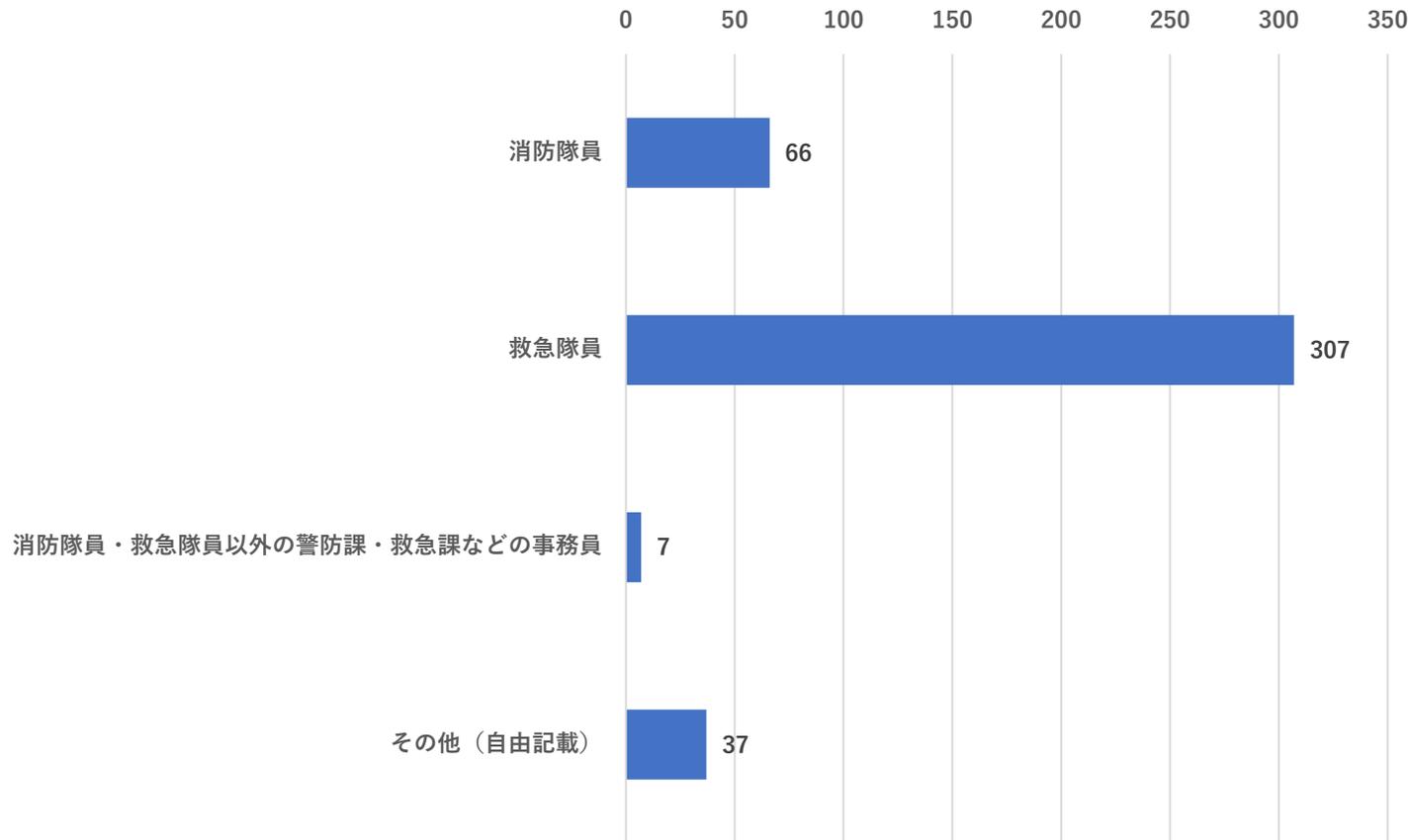
第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問3】 あなたの勤務先（消防署（出張所））をご記載ください。	327	自由回答

阿賀北出張所	宇品出張所	佐伯署海老園出張所	上安出張所	川尻出張所	尾道消防署
芦品消防署	温品	佐伯消防署	深安	倉橋出張所	尾道消防署向島分署
安芸高田市消防本部	蒲刈出張所	佐伯消防署海老園出張所	深安消防署	大朝出張所	尾道西消防署
安芸高田消防署	基町出張所	佐伯消防署石内出張所	深安消防署安田出張所	大野消防署	府中署
安芸高田消防署北部分駐所	祇園出張所	佐伯消防署湯来出張所	仁方出張所	大和出張所	府中消防署
安芸署瀬野川出張所	久井出張所	佐伯消防署八幡出張所	水上出張所	中消防署	府中消防署小塚出張所
安芸消防署熊野出張所	宮島消防署	坂出張所	水上消防署	中消防署白島出張所	府中町消防署
安芸消防署矢野出張所	郷原出張所	三原消防署	世羅署防署	東署戸坂出張所	府中町消防本部
安芸太田出張所	熊野出張所	三原西消防署	世羅消防署	東消防署	豊平出張所
安佐出張所	芸北出張所	三次消防署 口和出張所	世羅西出張所	東消防署 戸坂出張所	北
安佐南署祇園出張所	呉市消防局昭和分署	三次消防署吉舎出張所	瀬戸田分署	東消防署郷原出張所	北広島町消防署
安佐南署沼田出張所	呉市消防局西消防署南出張所	三次消防署三和出張所	瀬野川出張所	東消防署戸坂出張所	北広島町消防署 芸北出張所
安佐南消防署	呉市西消防署 昭和分署	三篠出張所	西消防署	東消防署福田出張所	北広島町消防署 本署
安佐南消防署祇園出張所	呉市西消防署南出張所	似島出張所	西消防署 狩留賀出張所	東城消防署	北広島町消防署(大朝出張所)
安佐南消防署祇園出張所祇園救急隊	呉市東消防署 郷原出張所	狩留賀出張所	西消防署井口出張所	湯来出張所	北広島町消防署大朝出張所
安佐南消防署沼田出張所	呉市東消防署郷原出張所	出張所	西消防署音戸分署	南出張所	北広島町消防署豊平出張所
安佐南消防署上安出張所	呉市東消防署仁方出張所	小塚出張所	西消防署己斐出張所	南消防署	北広島町消防本部
安佐北高陽出張所	向島分署	庄原署	西消防署三篠出張所	南消防署宇品出張所	北広島町消防本部 本署
安佐北消防署	広島市消防局東消防署	昭和	西消防署昭和分署	南消防署東本浦出張所	北消防署
安佐北消防署 可部出張所	広島市中消防署	昭和分署	西消防署沼隈内海出張所	廿日市市佐伯消防署	北消防署駅家分署
安佐北消防署安芸太田出張所	広島市東消防署	消防署	西消防署猪口出張所	廿日市市消防本部廿日市消防署西分署	本署
安佐北消防署白木出張所	広島市東消防署 温品出張所	消防署(本署)	西分署	廿日市消防署	
安田出張所	庚午出張所	消防総務課	西本署	廿日市消防署西分署	
井口	江波出張所	消防本部	石内出張	白木出張所	
因島消防署	佐伯 八幡	消防本部消防総務課	石内出張所	八幡出張所	

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

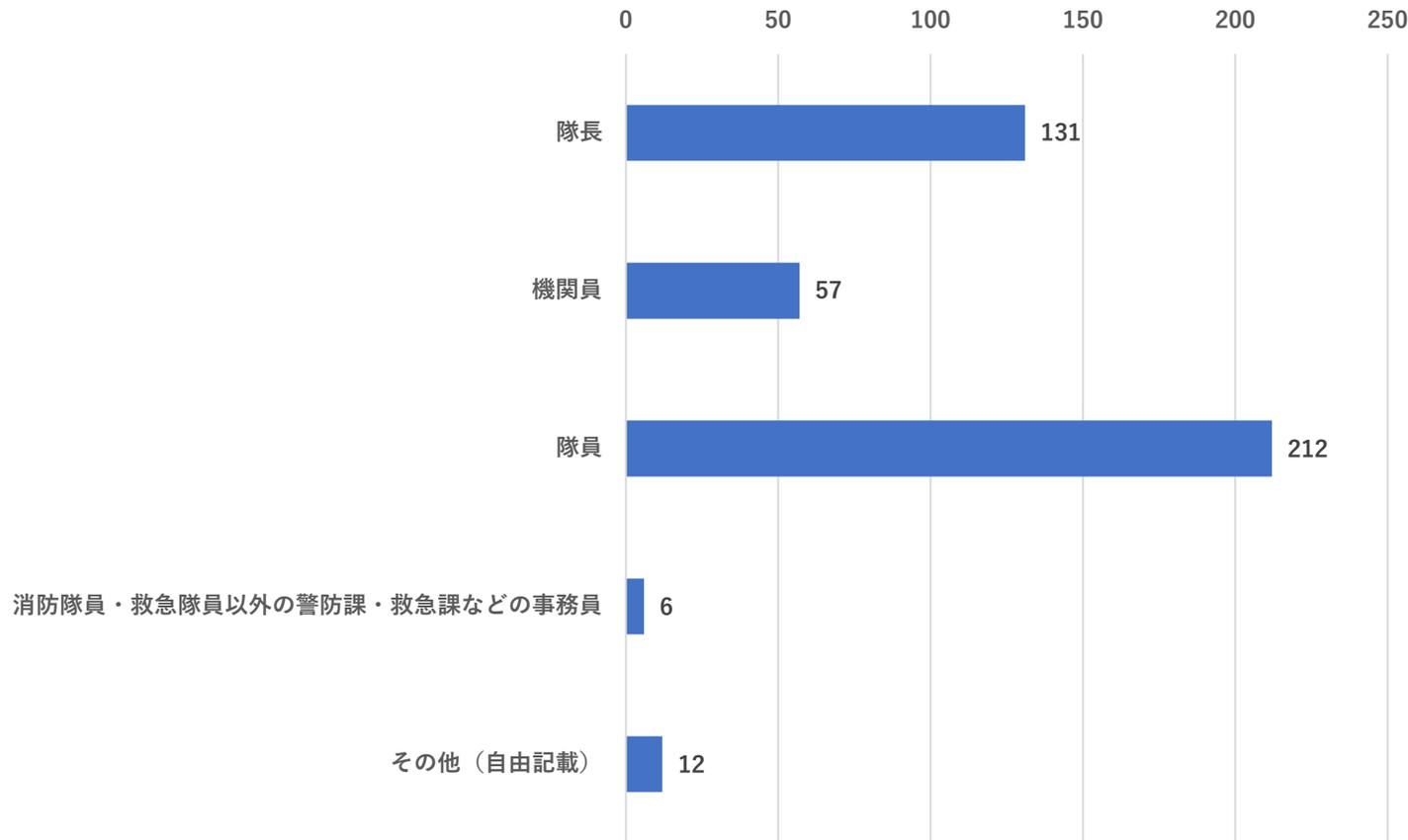
質問	回答数	回答要領
【質問4】 あなたの職域を選んでください。	417	択一式



選択肢	回答
消防隊員	66
救急隊員	307
消防隊員・救急隊員以外の警防課・救急課などの事務員	7
その他（自由記載）	37

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

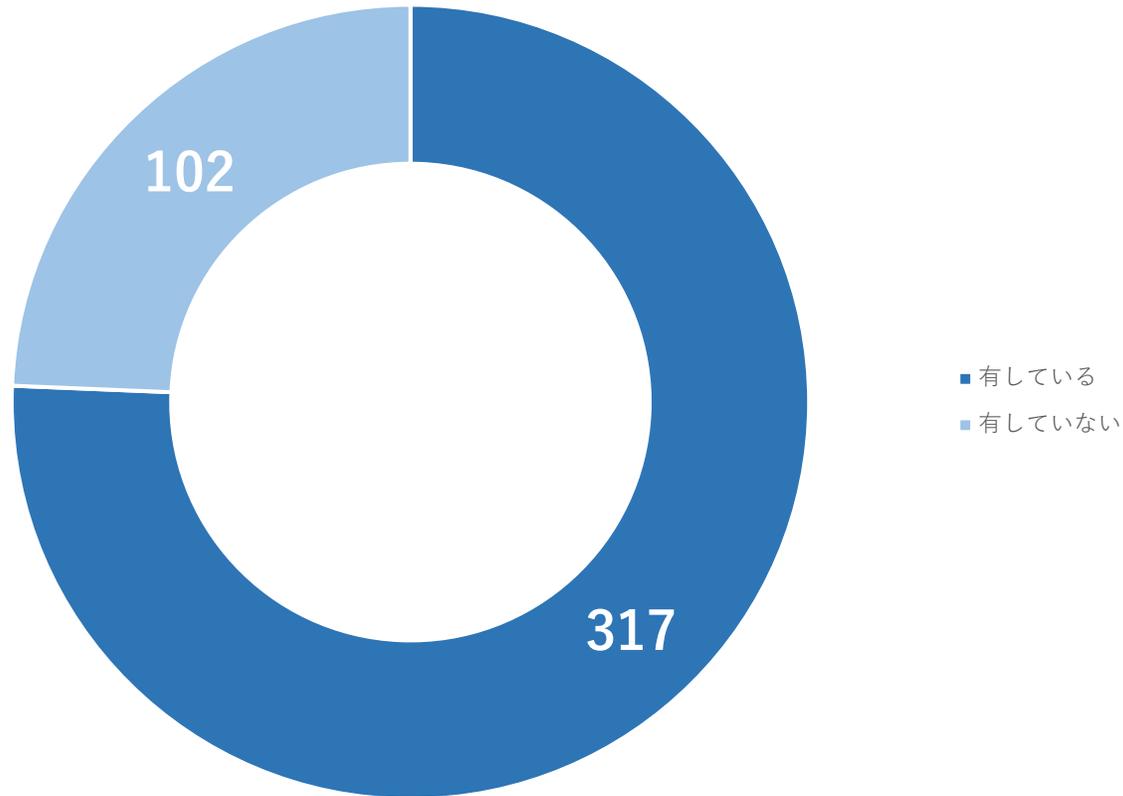
質問	回答数	回答要領
【質問5】 あなたに当てはまるものを選んでください。	418	択一式



選択肢	回答
隊長	131
機関員	57
隊員	212
消防隊員・救急隊員以外の警防課・救急課などの事務員	6
その他（自由記載）	12

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

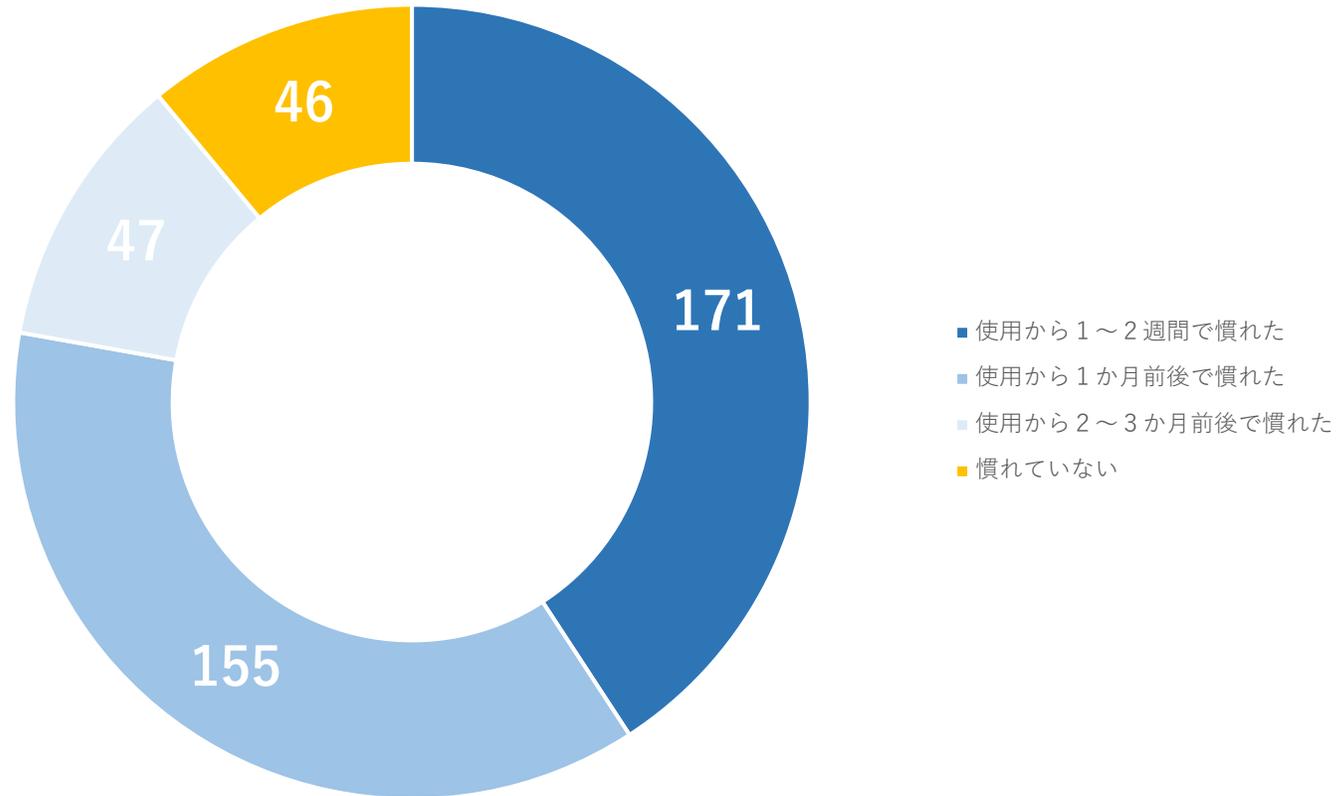
質問	回答数	回答要領
【質問6】 あなたは救急救命士の資格を有していますか。	419	択一式



選択肢	回答
有している	317
有していない	102

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

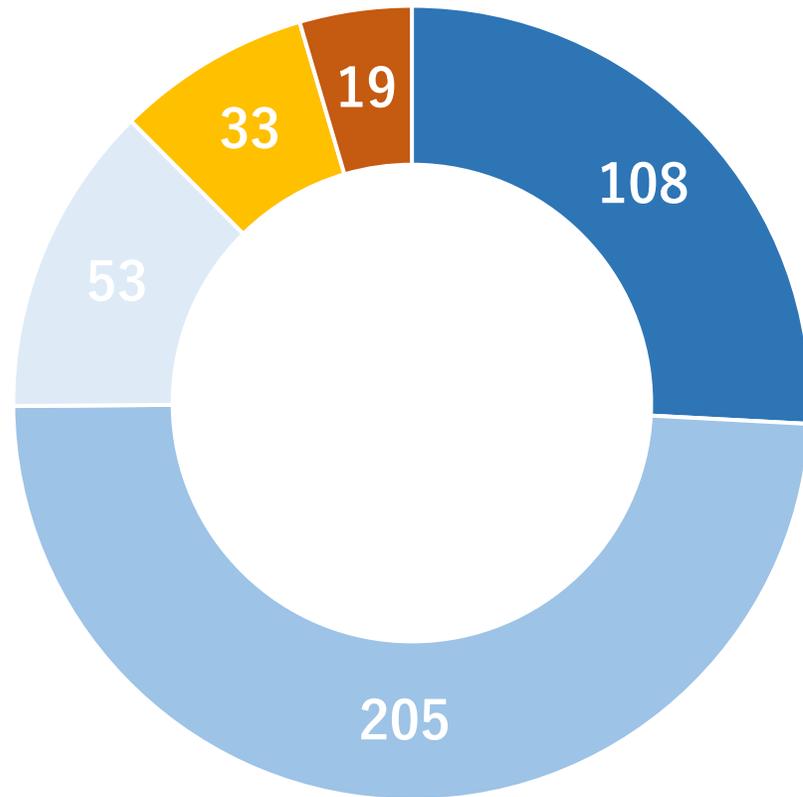
質問	回答数	回答要領
【質問7】 救急隊アプリへの情報入力に慣れるまでにどれくらいの時間がかかりましたか。	419	択一式



選択肢	回答
使用から1～2週間で慣れた	171
使用から1か月前後で慣れた	155
使用から2～3か月前後で慣れた	47
慣れていない	46

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問8】 救急隊アプリへの入力はスムーズにできますか。	418	択一式

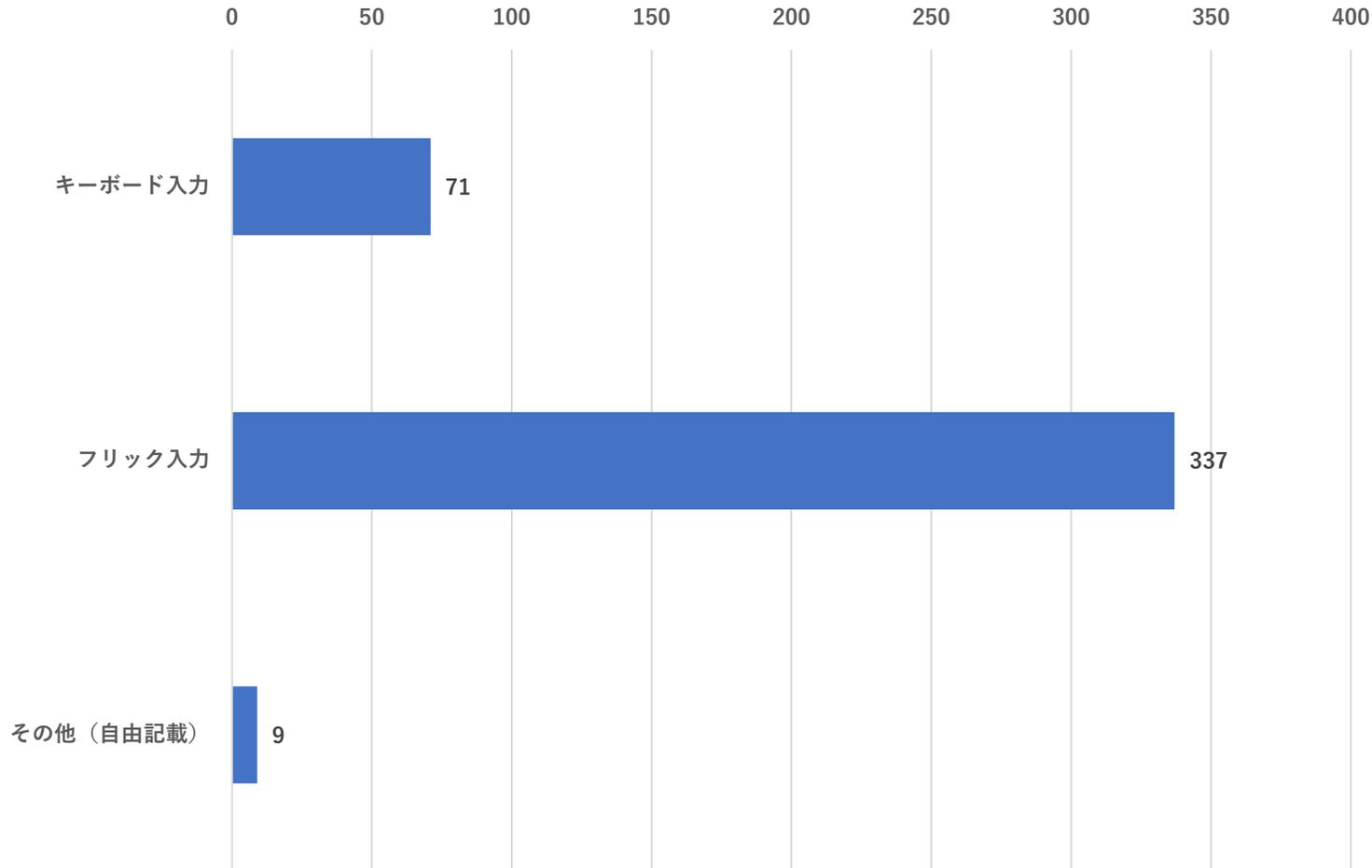


- スムーズにできる
- まあまあスムーズにできる
- どちらともいえない
- あまりスムーズにできない
- スムーズにできない

選択肢	回答
スムーズにできる	108
まあまあスムーズにできる	205
どちらともいえない	53
あまりスムーズにできない	33
スムーズにできない	19

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

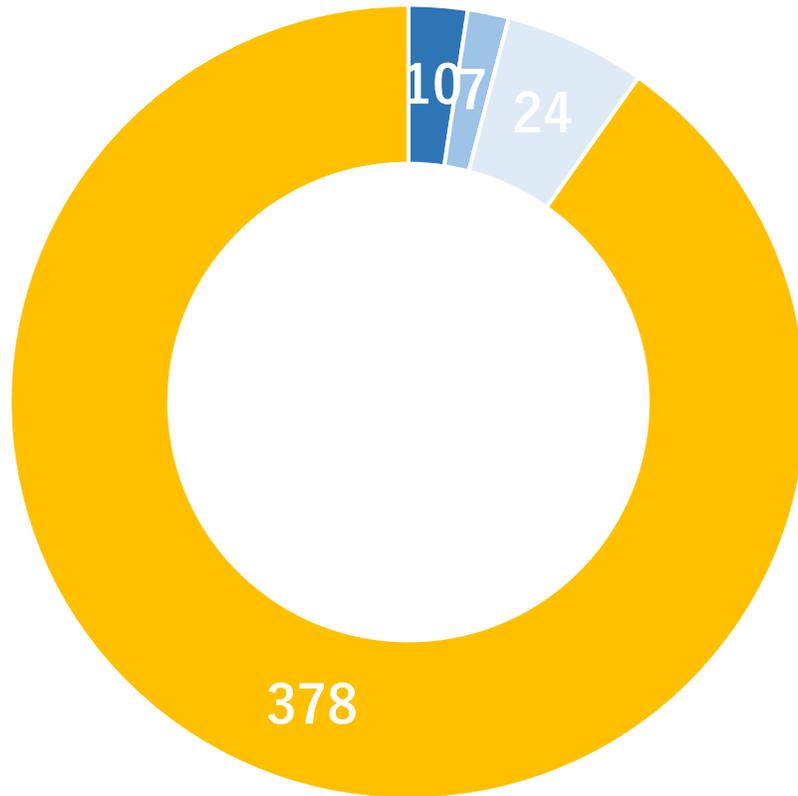
質問	回答数	回答要領
【質問9】 救急隊アプリへの入力方法を教えてください。	417	択一式



選択肢	回答
キーボード入力	71
フリック入力	337
その他 (自由記載)	9

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問10】 入力補助機能として、音声入力機能をどの程度使用しますか。	419	択一式

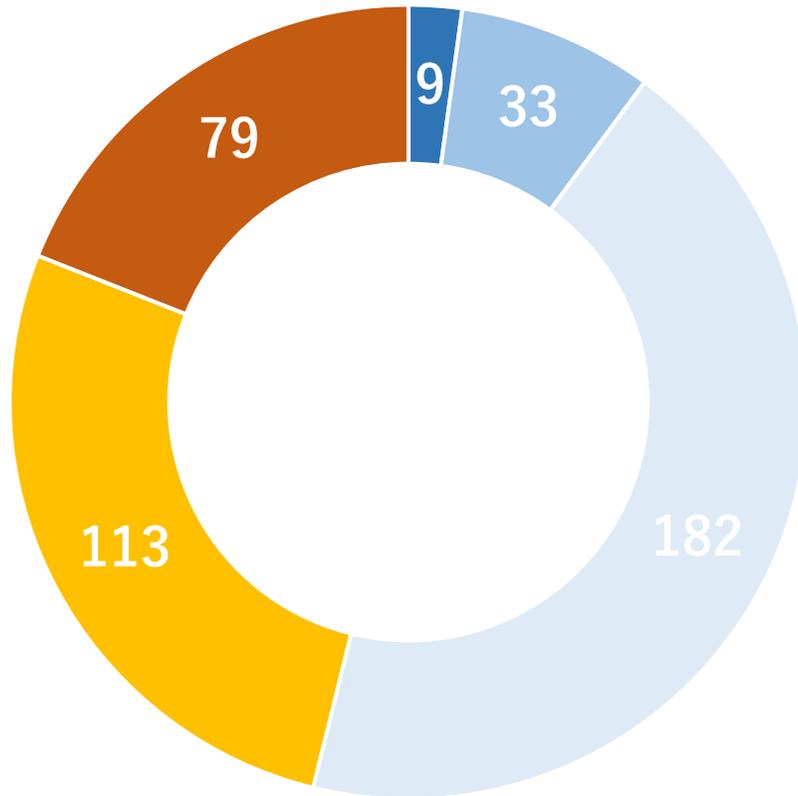


- 毎回
- 1～2週間に数回程
- 1か月に数回程
- 使用しない

選択肢	回答
毎回	10
1～2週間に数回程	7
1か月に数回程	24
使用しない	378

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問11】 入力補助機能として、音声入力ほどの程度有効ですか。	416	択一式

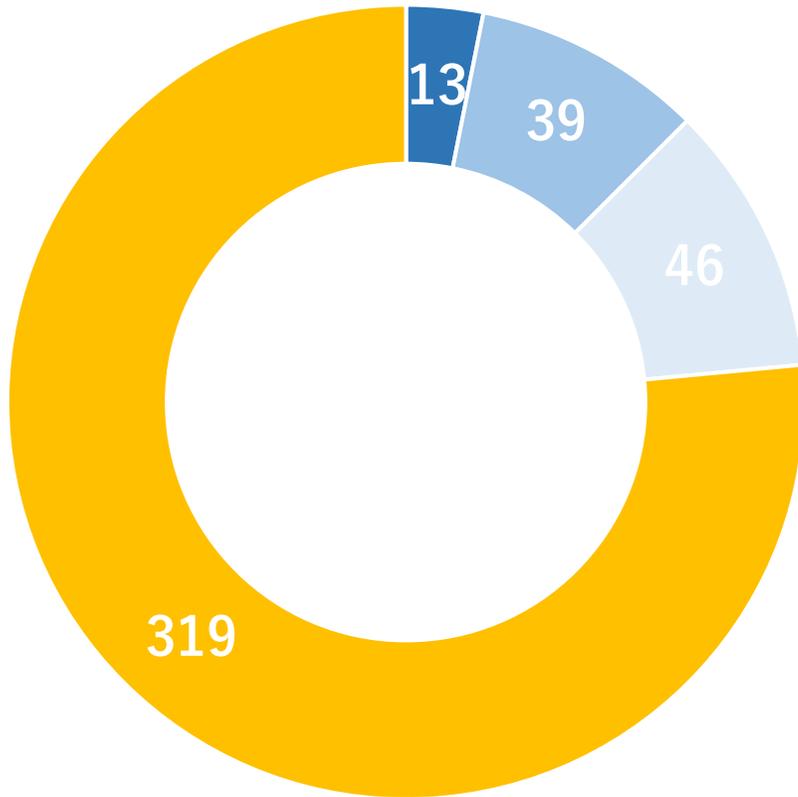


- 非常に有効である
- まあまあ有効である
- どちらともいえない
- あまり有効ではない
- 全く有効ではない

選択肢	回答
非常に有効である	9
まあまあ有効である	33
どちらともいえない	182
あまり有効ではない	113
全く有効ではない	79

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問12】 音声入力機能について、当てはまるものを選んでください。	417	択一式



- 救急車のサイレンが鳴っていたり、人通りや交通量の多い騒音環境下でも音声入力できた
- 騒音が少なければ、通常搬送時にも使用できた
- 周りが静かな状況でなければ使用できない
- 使用しない

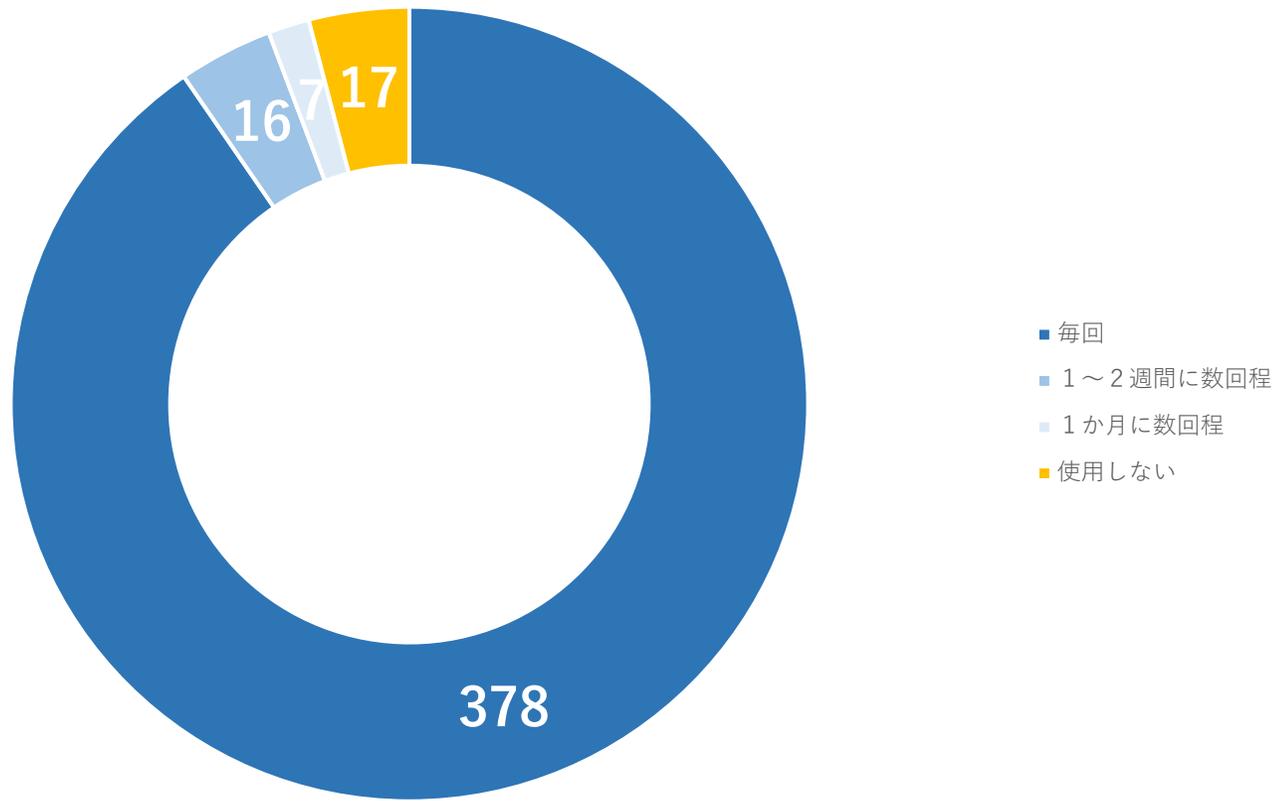
選択肢	回答
毎回	13
1〜2週間に数回程	39
1か月に数回程	46
使用しない	319

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問13】 音声入力の有効な状況や、使いづらい状況、使用しない理由について教えてください。	255	自由回答
<p>情報聴取後、まとめて声に出すだけで長文を入力完了できる。</p> <p>音声入力をしていると、救急隊員の音声入力の言葉を聞いた傷病者が、自分の情報を客観的に認識し、話せていなかった情報を改めて提供してくれる。</p>	<p>周りが会話していると、さすがに認識変換できていない。</p> <p>医療用タブレットなのに、医療用語を変換できていないことが多い。</p> <p>OCR音声取り込みについては、タイムロスが大きいため全く使用していない。</p> <p>短い単語については、音声だと誤変換が多いため、手入力のほうが早い。</p> <p>経過を記入する上で定型文を入力するわけではないので、使いづらそう。</p> <p>いちいち通信するので、電波状態の良くない山間部では使い物にならない。</p> <p>キーボードまたはフリック入力方法が慣れているため。</p> <p>音声だと問診と声が被るため。</p> <p>音声で傷病者の方にも伝わったりするため。</p> <p>精度が悪いため。iPadの音声入力の方が優秀なため。</p> <p>発生場所入力時、音声入力を一回キャンセルしてからでないと入力できない。</p> <p>以前は使用できたが、現在、システム上なのか、使用できない。改修を願う。</p> <p>必要がない。</p>	

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

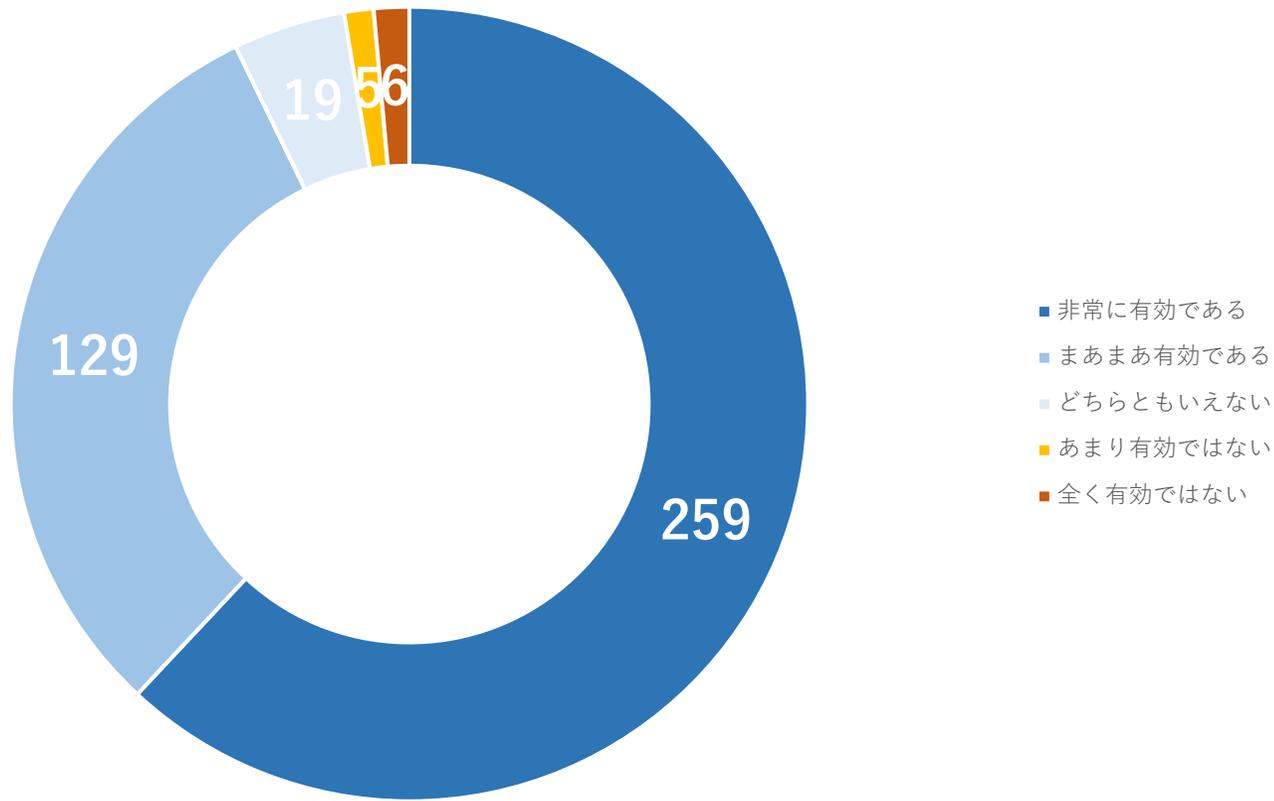
質問	回答数	回答要領
【質問14】 入力補助機能として、画像OCR機能*をどの程度使用しますか。 (*バイタルモニター・お薬手帳の写真から、数字や文字をテキストとして出力する機能)	418	択一式



選択肢	回答
毎回	378
1～2週間に数回程	16
1か月に数回程	7
使用しない	17

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

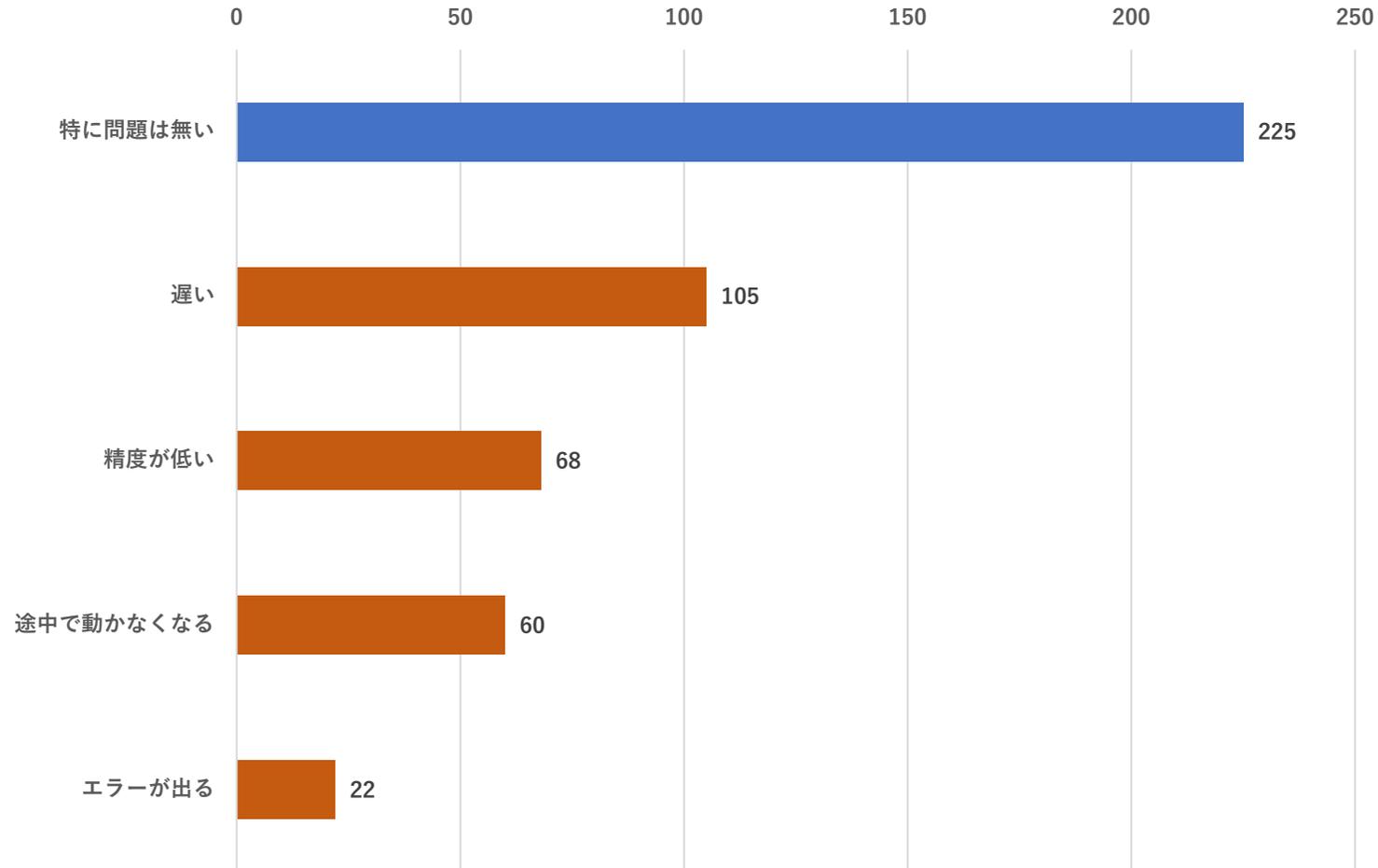
質問	回答数	回答要領
【質問15】 入力補助機能として、画像OCR機能はどの程度有効ですか。	418	択一式



選択肢	回答
非常に有効である	259
まあまあ有効である	129
どちらともいえない	19
あまり有効ではない	5
全く有効ではない	6

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問16】 画像OCR機能について、当てはまるものを選んでください。（複数回答可）	480	複数選択



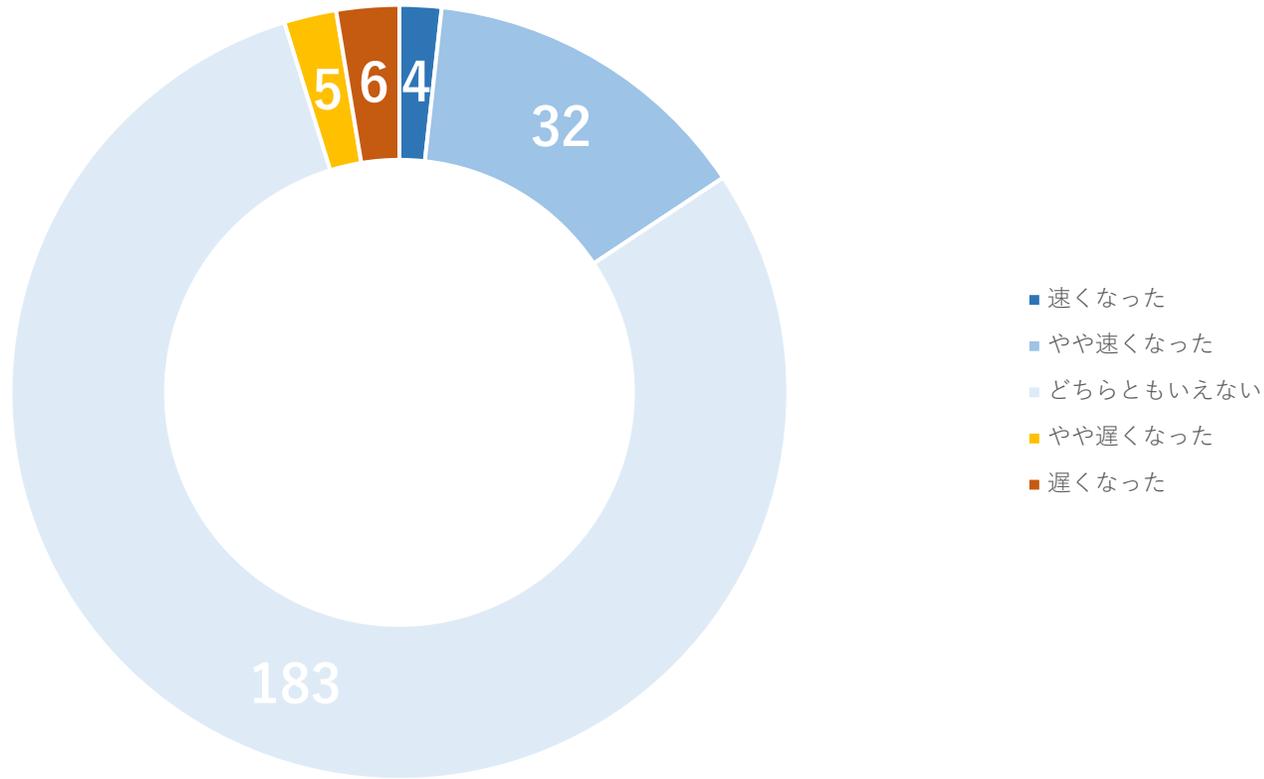
選択肢	回答
特に問題はない	225
遅い	105
精度が低い	68
途中で動かなくなる	60
エラーが出る	22

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問17】 画像OCR機能が有効な状況や、使いづらい状況、使用しない理由について教えてください。	193	自由回答
お薬手帳等の情報量が多いときは、入力よりも有効であると感じる。		
12誘導心電図の画像送信。創傷や負傷部位の画像送信。発生場所の状況や救急隊接触時の状況写真。送信できることで医療機関に理解を得られやすい。		
お薬手帳、バイタル、現場の状況等、医療機関に伝えやすいため、非常に有効。		
お薬手帳、保険証、事故現場や外傷の写真などを撮影している。有益に感じている。		
バイタル入力の時短となる。		
何の薬を飲んでるのか正確な情報を搬送先の病院に送ることができ便利。		
外傷、12誘導心電図、身分証明書などでとても有効。		
外傷部位の評価はかなり有効で12誘導心電図も解析結果では洞調律と出たが、そうとは思わない場合、モニターの写真を送り相手と話す事で信憑性が高くなる。		
言葉で説明するより外傷、心電図が目視できる点が有効である。		
氏名、住所、生年月日が一度に入力できる。		
文字数が大量にある、お薬手帳で画像OCR機能が有効であると感じる。		
免許証や保険証が直接反映されるので時短になるが、今後増えるであろうマイナンバーカード等にも対応してもらいたい。		
予想以上の精度で満足している。		
		読み取った結果正しく反映されず入力しなおす必要がある。読み仮名、住所が一枚の写真にならない場合は書いていない場合は結局手入力になる。
		モニターのバイタルサインなどは誤りが多い上に読み込みが遅い。
		ダウンロードが遅い。
		山間部では電波状況が悪いため読み込みに時間を要することがある。
		読み込みに時間がかかり、早期に現場離脱したい場合に苦慮することがある。
		データ更新が遅い、画面が固まるなど使いづらく、入力の方が早い。
		モニターを心電図表示画面にした際に、バイタルの文字が小さくなった時、読み取りが不安定になる。
		氏名や生年月日等を読み込もうとした際に、誤って読み込む事が多々ある。毎回、確認しないと精度が低くなる。
		やや誤変換が目立つ（特にふりがな、住所変更があった際に旧住所が入力される）。
		病院側からの依頼で使用しているが、名前等の旧字体などは読み込めないため手書きにも対応できるようにして頂きたい。
		読み取り機能により個人情報の入力簡素化されるが、保険証などラミネートされている場合、反射により読み取り困難となる。
		搬送中などの振動により、ブレが生じて写真が撮りにくい。光の反射などの環境下では、写真が撮りにくい。
		保険証は読み取るが生活保護の受給者証を読み取らない。

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

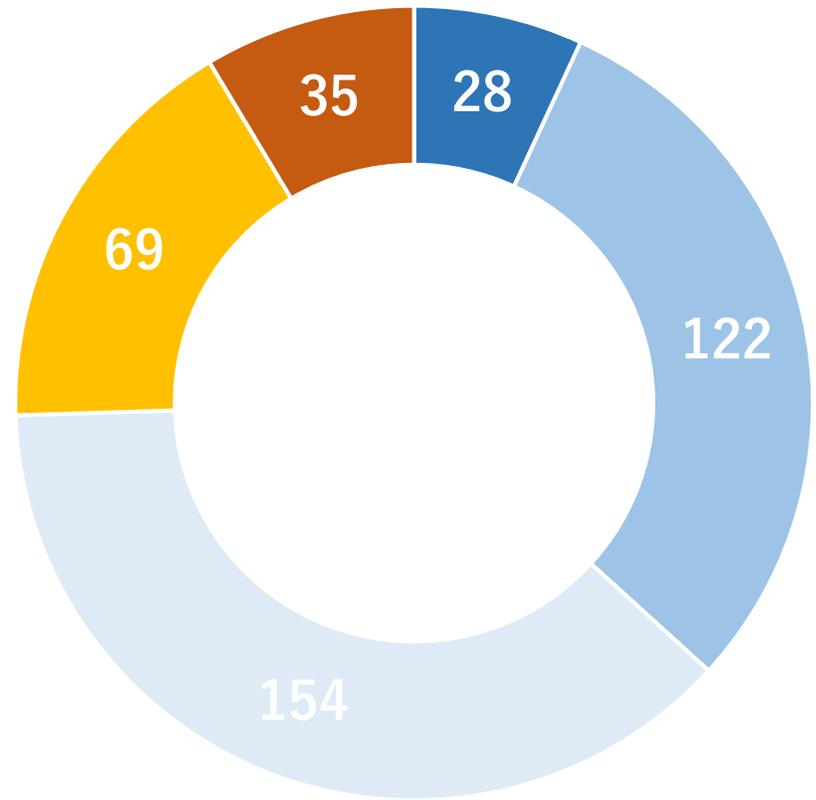
質問	回答数	回答要領
【質問18】 iPad8（若しくはiPad9）を使用された方にお伺いたします。従来の端末と比較して通信・処理速度は速くなりましたか。	230	択一式



選択肢	回答
速くなった	4
やや速くなった	32
どちらともいえない	183
やや遅くなった	5
遅くなった	6

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問19】『1回目の交渉で受け入れ先の病院が決まるケース』でアプリを使用した場合、②⇒③にかかる時間が短縮したと感じますか？	408	択一式



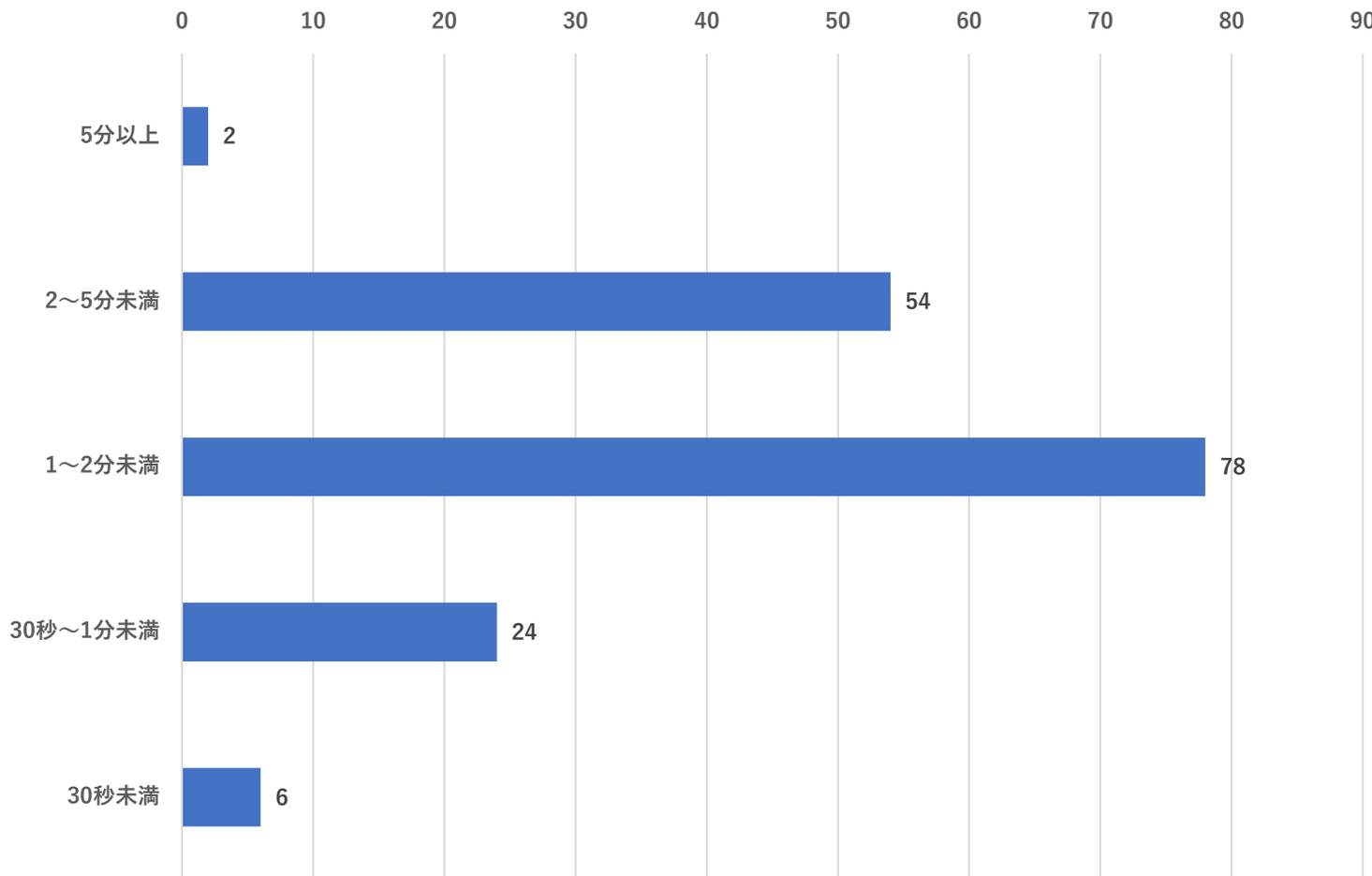
- 短縮した
- やや短縮した
- 今までと変わらない
- やや延伸した
- 延伸した



選択肢	回答
短縮できる	28
やや短縮できる	122
今までと変わらない	154
やや長くなる	69
長くなる	35

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

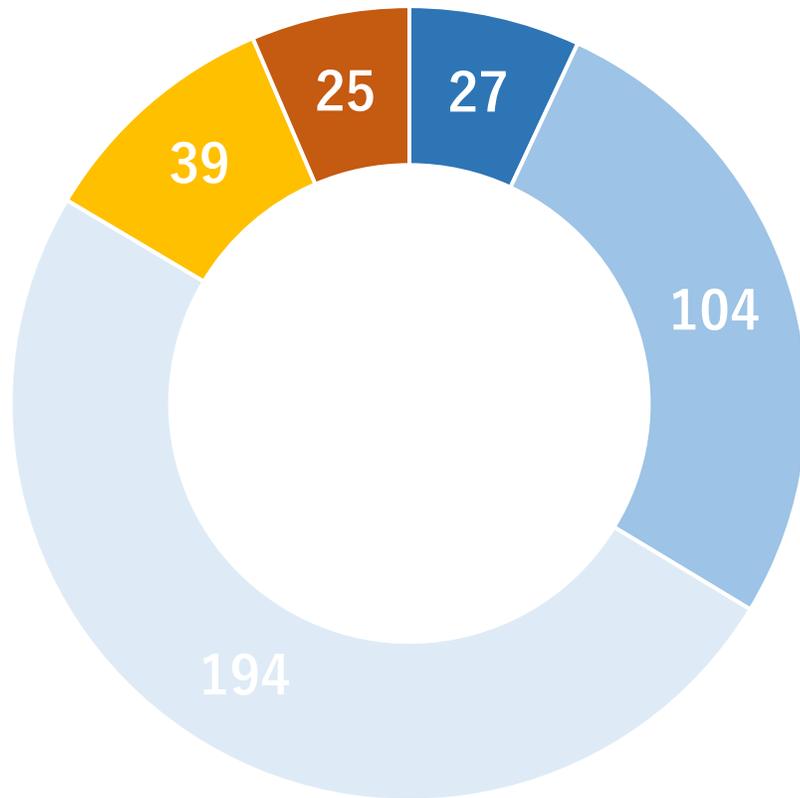
質問	回答数	回答要領
【質問20】 質問19で『1回目の交渉で受け入れ先の病院が決まるケースが短縮した』とご回答された方へご質問です。どのくらい短縮したと感じますか。	164	択一式



選択肢	回答
5分以上	2
2~5分未満	54
1~2分未満	78
30秒~1分未満	24
30秒未満	6

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問21】『2回以上の交渉で受入先の病院が決まるケース』で、アプリ情報を複数病院へ送った場合、②⇒③にかかる時間が短縮したと感じますか？	389	択一式



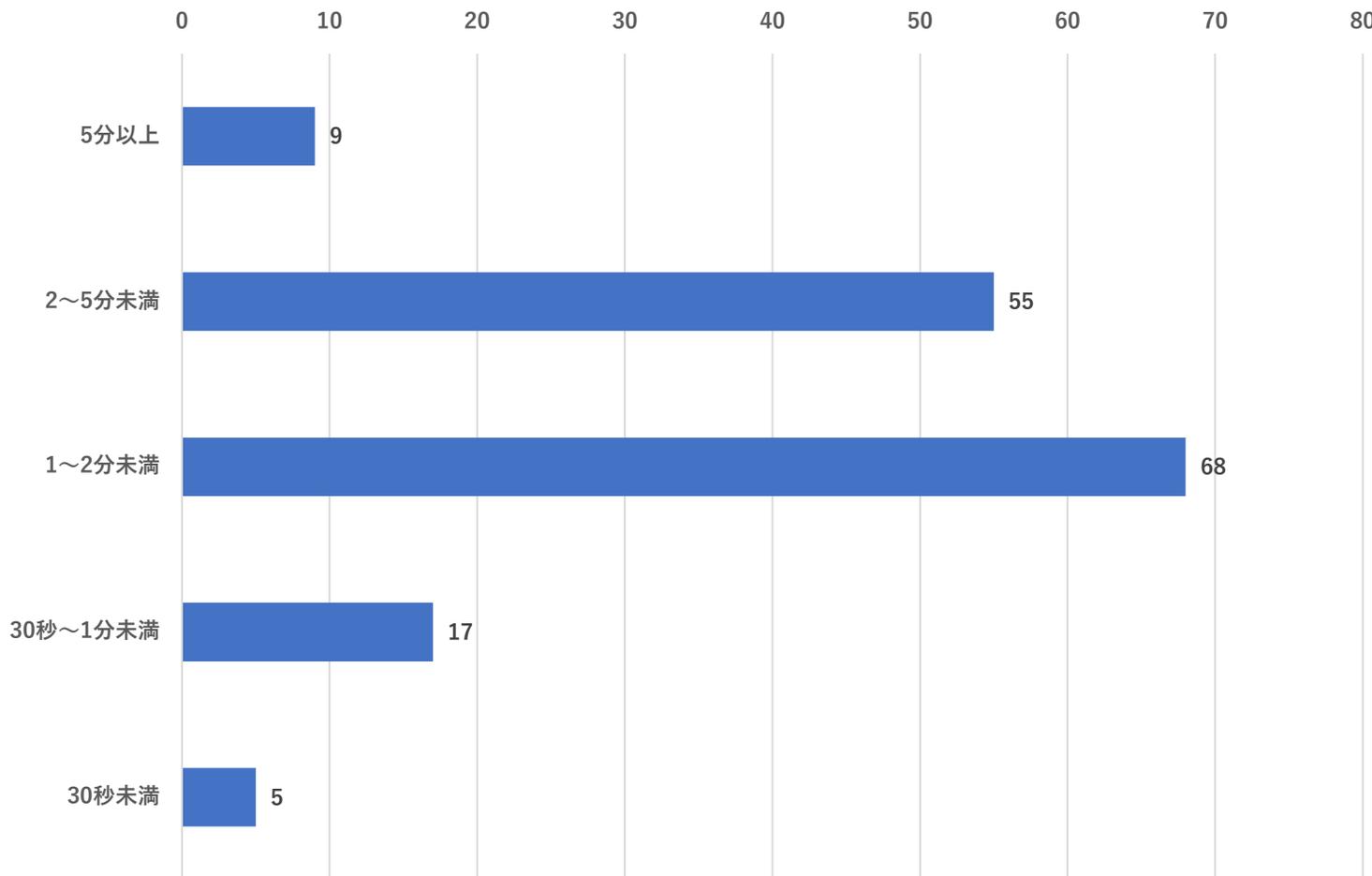
- 短縮した
- やや短縮した
- 今までと変わらない
- やや延伸した
- 延伸した



選択肢	回答
短縮した	27
やや短縮した	104
今までと変わらない	194
やや延伸した	39
延伸した	25

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

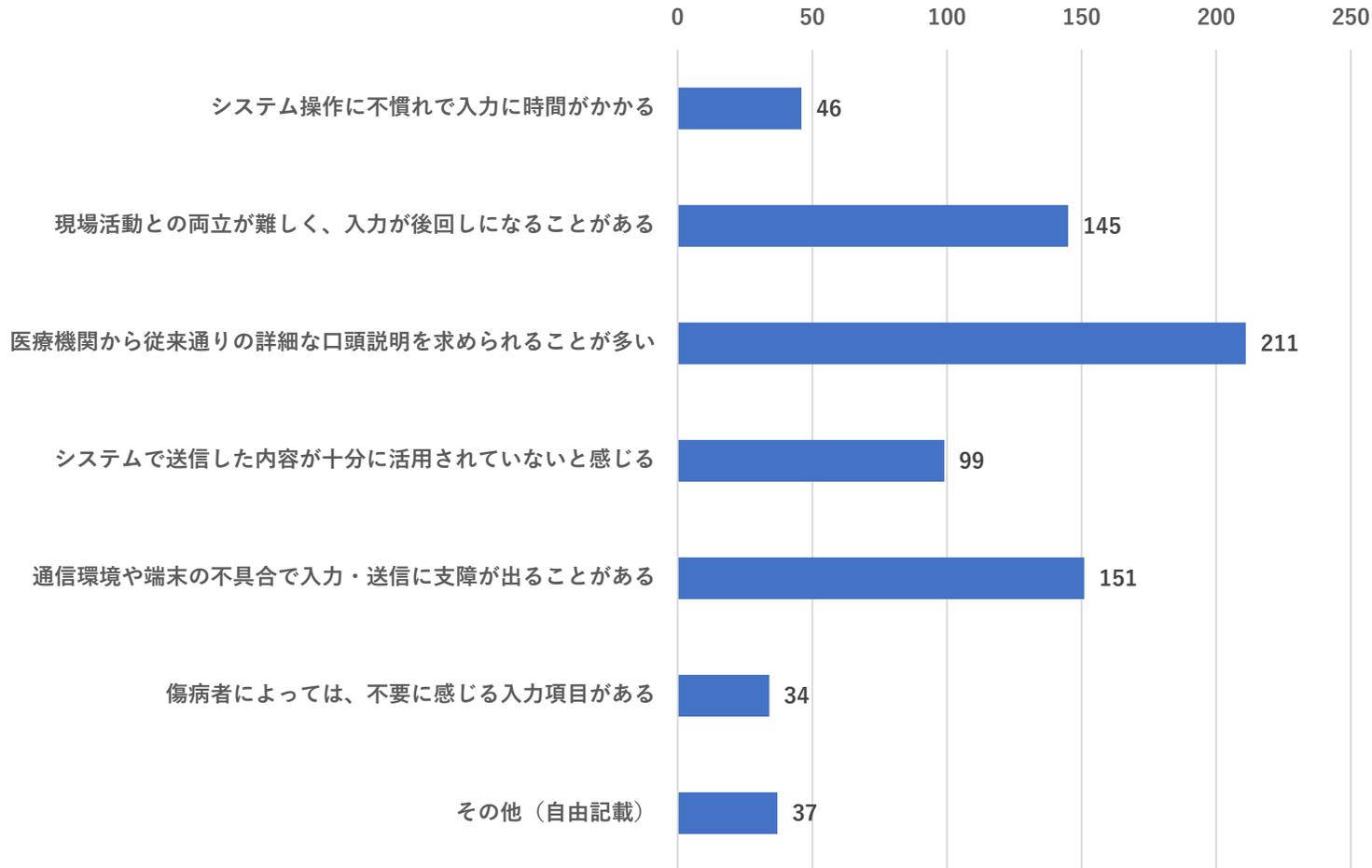
質問	回答数	回答要領
【質問22】 質問21で『2回以上の交渉で受入先の病院が決まるケースで短縮した』とご回答された方へのご質問です。どのくらい短縮したと感じますか。	154	択一式



選択肢	回答
5分以上	9
2~5分未満	55
1~2分未満	68
30秒~1分未満	17
30秒未満	5

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

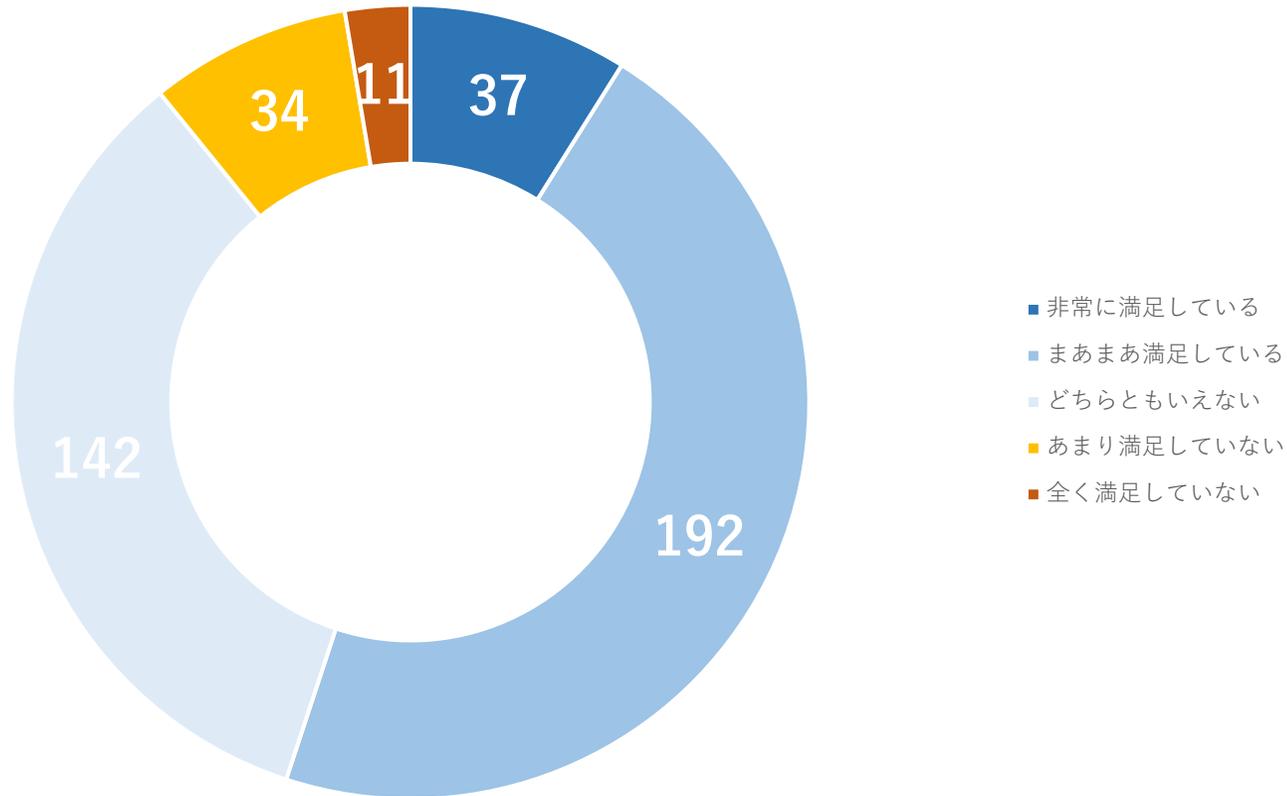
質問	回答数	回答要領
【質問23】 質問19、21で『今までと変わらない/やや延伸した/延伸した』とご回答された方へ、救急隊としてのどの部分が影響していると感じますか。（複数回答可）	723	複数選択



選択肢	回答
システム操作に不慣れで入力に時間がかかる	46
現場活動との両立が難しく、入力が後回しになることがある	145
医療機関から従来通りの詳細な口頭説明を求められることが多い	211
システムで送信した内容が十分に活用されていないと感じる	99
通信環境や端末の不具合で入力・送信に支障が出ることもある	151
傷病者によっては、不要に感じる入力項目がある	34
その他（自由記載）	37

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問24】 病院との情報共有機能について、満足度をお聞かせください。	416	択一式



選択肢	回答
非常に満足している	37
まあまあ満足している	192
どちらともいえない	142
あまり満足していない	34
全く満足していない	11

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

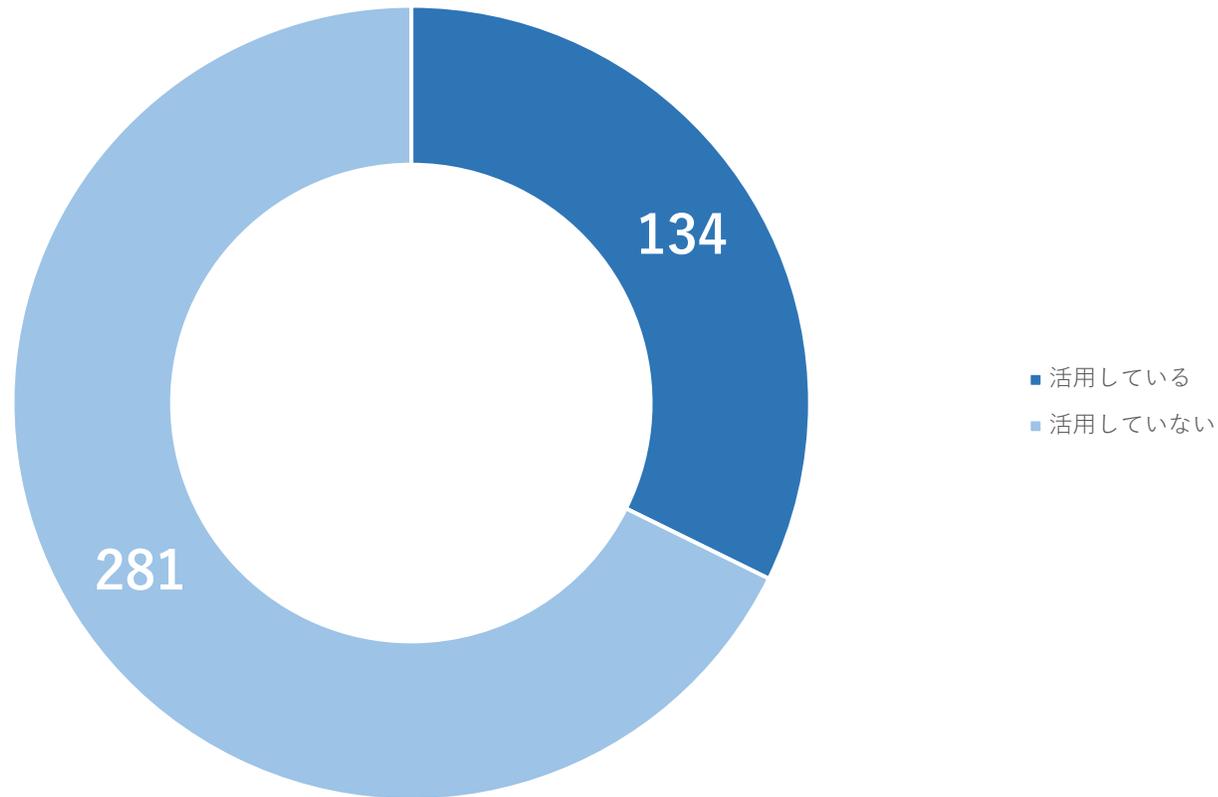
質問	回答数	回答要領
【質問25】 質問24で『非常に満足している/まあまあ満足している』とご回答された理由をお聞かせください。	168	自由回答
電話連絡時に伝える時間を短縮出来るため。		患者の取り違いがなくなったと評価された。
入力内容を見て判断してもらえるので、通話時間が短縮される。		口頭で説明しにくい状況や負傷状況を写真で送信することで誤解を生みにくいと感じる。
タブレットに入力した情報をもとに補足が行える。		今まではバイタルを全て読み上げていたが情報を送ることで、省くことができた。
タブレットへの記載内容を見ってくれる医療機関が多いので、病院連絡の際に話すことが少なくなった。		今後、必ず必要になると感じる。通信速度アップデートに期待している。
タブレット端末で外傷部位などを撮影することで病院側に外傷程度を確認してもらうことができ、その後の迅速な対応に繋がる。		使用医療機関も、徐々に増えてきているので、使いやすさは上がっていくと思うため。
バイタルや画像で病院交渉の時間が短くなることがあるため。		支障なく使用できているため。
バイタル等の口頭説明の時間が省ける。画像で状況がよく伝わる。		紙を使わなくて良くなった。
医療機関との連携には、傷病者情報、その他様々な情報の即時共有が有効であると考えため。		傷病者の身元情報が、保険証などで写真送信で医療機関に提供できるため、情報の正確性は確かなものであると感じるため。
一括で情報を送信でき、病院側に目で見てもらえるため。		電話交渉時に伝える内容が少なくて済む。
院内での引き継ぎが省略できる。		同じものを見た状態で交渉ができるため、相手側の理解がしやすい。
画像による心電図や外傷、事故現場等を共有できるのは非常に良いと感じる。		負傷部位の写真が送れることで、言葉で説明が難しい場合も、写真のとおり。の一言で伝わる。
怪我の状況や12誘導心電図を共有できるのは非常にありがたい。		名前などの伝達ミスがなくなった。
外傷等の説明が写真で出来るため便利、病院によっては口頭で説明することなく、受入可能との回答がある。		画像OCR機能や音声機能は画期的で精度を高めていけば、よりよい形になると考える。

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
<p>【質問26】 質問24で『どちらとも言えない/あまり満足していない/全く満足していない』とご回答された理由をお聞かせください。</p>	107	自由回答
<p>入力した内容で病院受入承諾が早くなった実感がない。</p>		
<p>タブレットに入力しても、多忙な医師はタブレットを見る環境にない。</p>		
<p>一斉受け入れ要請機能がない。1つの病院ごとに医療機関を入力しなおすのは無駄な時間である。</p>		
<p>1台の救急車で複数傷病者の搬送でも、病院側はタブレット入力を要望してくる。タブレットが1台しか救急車にないので、データを入力し終わるまでに通常の倍以上の時間を要す。</p>		
<p>「タブレットが手元にない。」と答える医者が、一定数いる。</p>		
<p>アプリ入力に対して、救急隊と病院側で意識の差がある。</p>		
<p>きちんと病院側に評価され、時間短縮やメリットについての情報がないためわからない。</p>		
<p>こちら側の入力が全て届いていないのを知りました。</p>		
<p>サクサク動かないから結局入力に時間がかかってしまう。</p>		
<p>タブレット入力はどうしても、口頭よりも時間がかかる。緊急性がある時まで、完全な入力を救急隊に求めるのはやめて欲しい。</p>		
<p>データが確認できないと話が始まらなかったり、入力していても、細かいことを聞かれるため、余り有用性は感じない気がする。</p>		
<p>データを見ている病院と見ていない病院がある。タブレットを使用しない方が患者接触から病院到着までの時間が短くなる。</p>		
<p>医療機関が全ての情報を確認しているとは思えない。重要となるエピソード等は口頭で確認するため、結局、入力時間が現場滞在時間を延長させていると感じる。</p>		
		<p>回線が遅い。</p>
		<p>外傷の状態やお薬手帳など有用な情報共有ができて助かることも多いが、読み込みに時間がかかることがある。</p>
		<p>観察後、バイタル計測と併行して、病院連絡が出来なくなった。 全て入力し送信後に連絡する必要があるため。</p>
		<p>結局病院側から口頭での報告を求められるため時間短縮に寄与していない。また、電波環境により現場で使用できず、入力自体が後回しになってしまうケースが多々ある。</p>
		<p>手書きの方が交渉がはやい。</p>
		<p>処理待ちで操作出来ない時間が長過ぎる。そのタイミングも多過ぎる。電波の影響を受ける。</p>
		<p>当該地域の医療機関側でシステムを活用した受入体制が確立されていない。</p>
		<p>入力できていない時の医療機関側の対応が微妙、入力できて当たり前と思わないでほしい。入力していないときは口頭で伝えさせてほしい。</p>
		<p>病院は、楽になっていると思われるが、救急隊は手間。</p>
		<p>病院側のタブレットの活用が無い。地区の医療圏域を超えての受け入れ要請について交渉履歴や患者情報を元にもっと慣用になっていただきたい。</p>
		<p>病院連絡時に医者看護師の方がタブレット情報を見られず救急隊に従来通り質問されて病院が決まるためあまり時間の短縮につながっていないと感じる。</p>
		<p>夜間医師は見えない。</p>
		<p>有効活用している医療機関が少ない。</p>

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

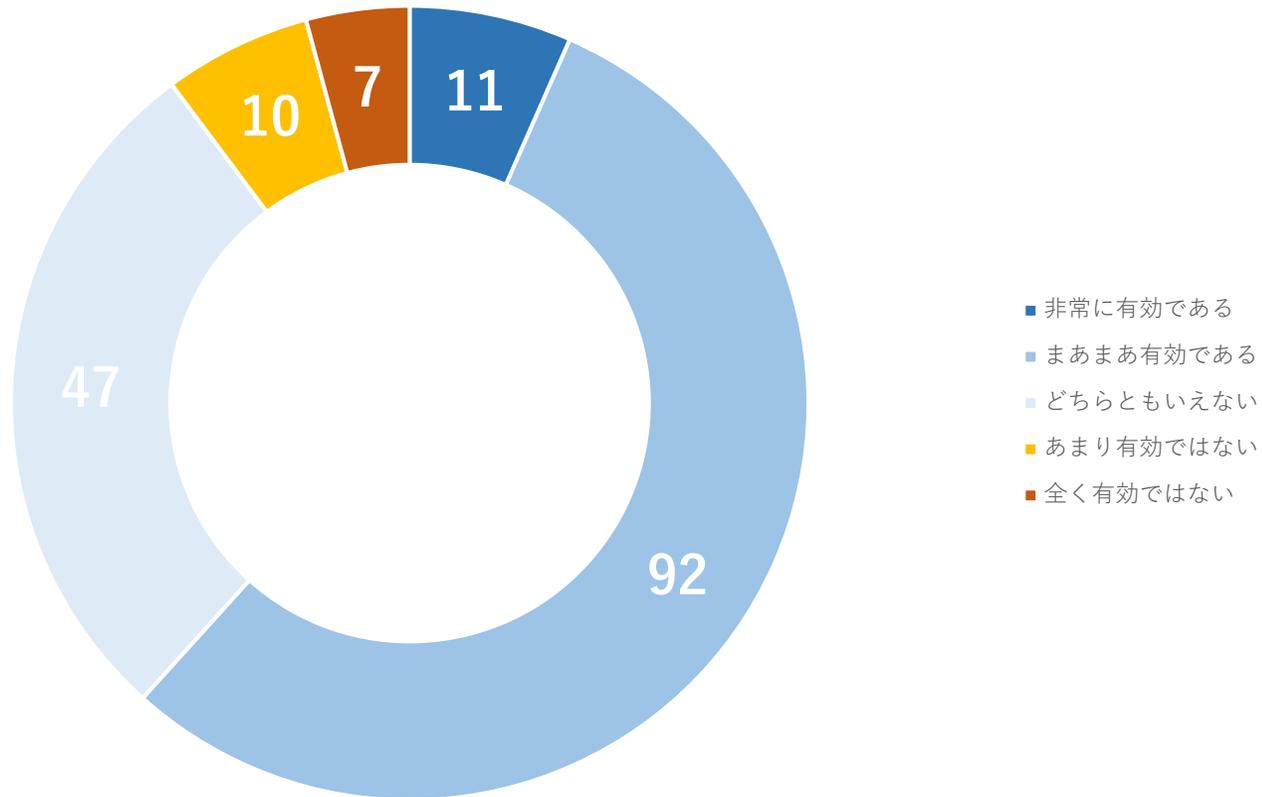
質問	回答数	回答要領
【質問27】 病院選定の際、病院の受入状況や受入交渉・応需履歴の可視化機能を活用していますか。	415	択一式



選択肢	回答
活用している	134
活用していない	281

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

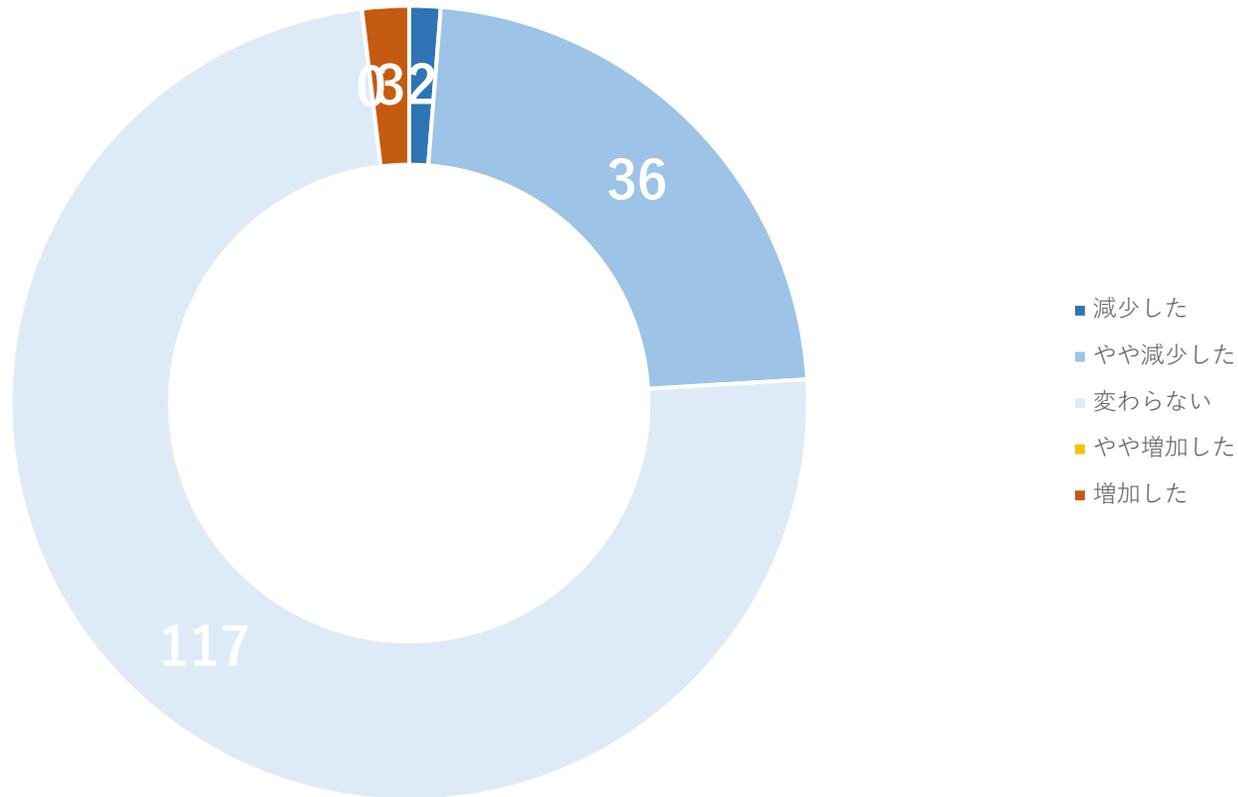
質問	回答数	回答要領
【質問28】 質問27で『活用している』とご回答された方へ、病院選定の際、病院の受入状況や受入交渉・応需履歴の可視化機能は有効でしょうか。	167	択一式



選択肢	回答
非常に有効である	11
まあまあ有効である	92
どちらともいえない	47
あまり有効ではない	10
全く有効ではない	7

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

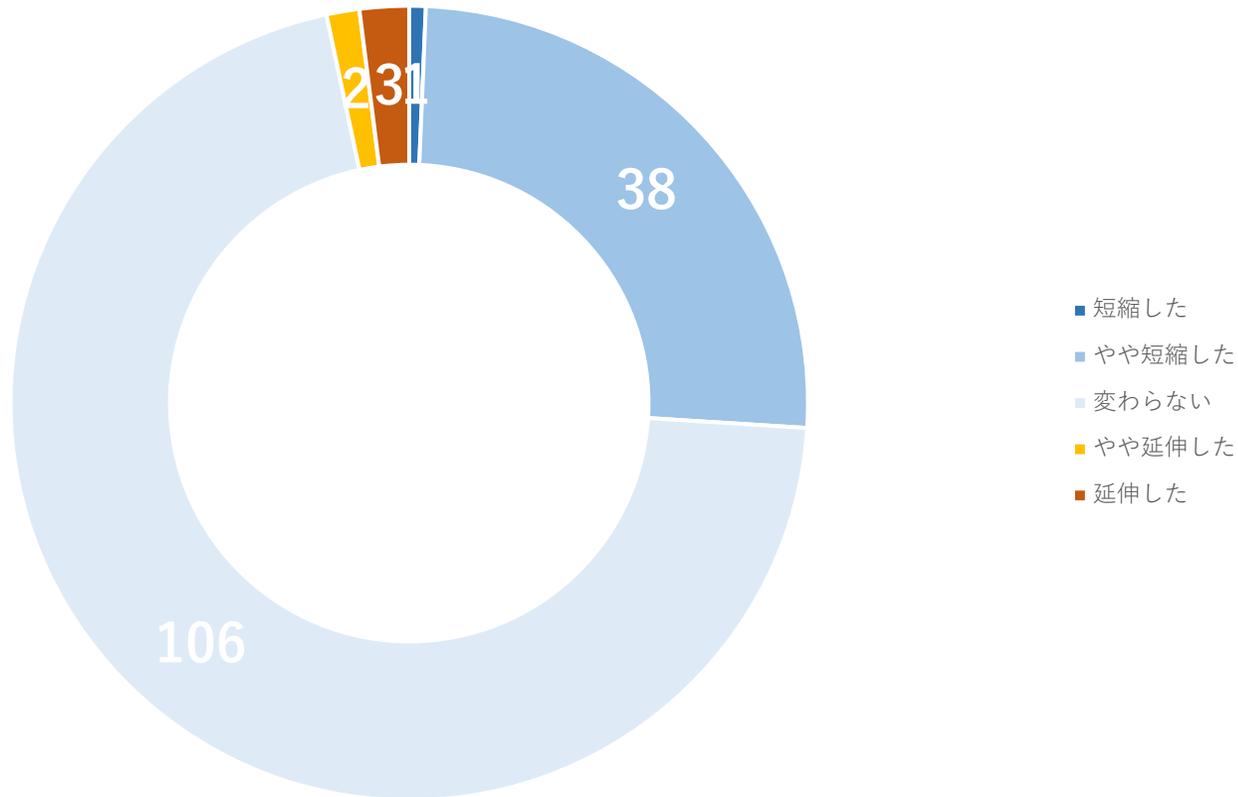
質問	回答数	回答要領
【質問29】 質問28で『活用している』とご回答された方へ、病院の受入状況や受入交渉・応需履歴の可視化機能を利用することで、「交渉回数」は減少したと感じますか。	158	択一式



選択肢	回答
減少した	2
やや減少した	36
変わらない	117
やや増加した	0
増加した	3

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

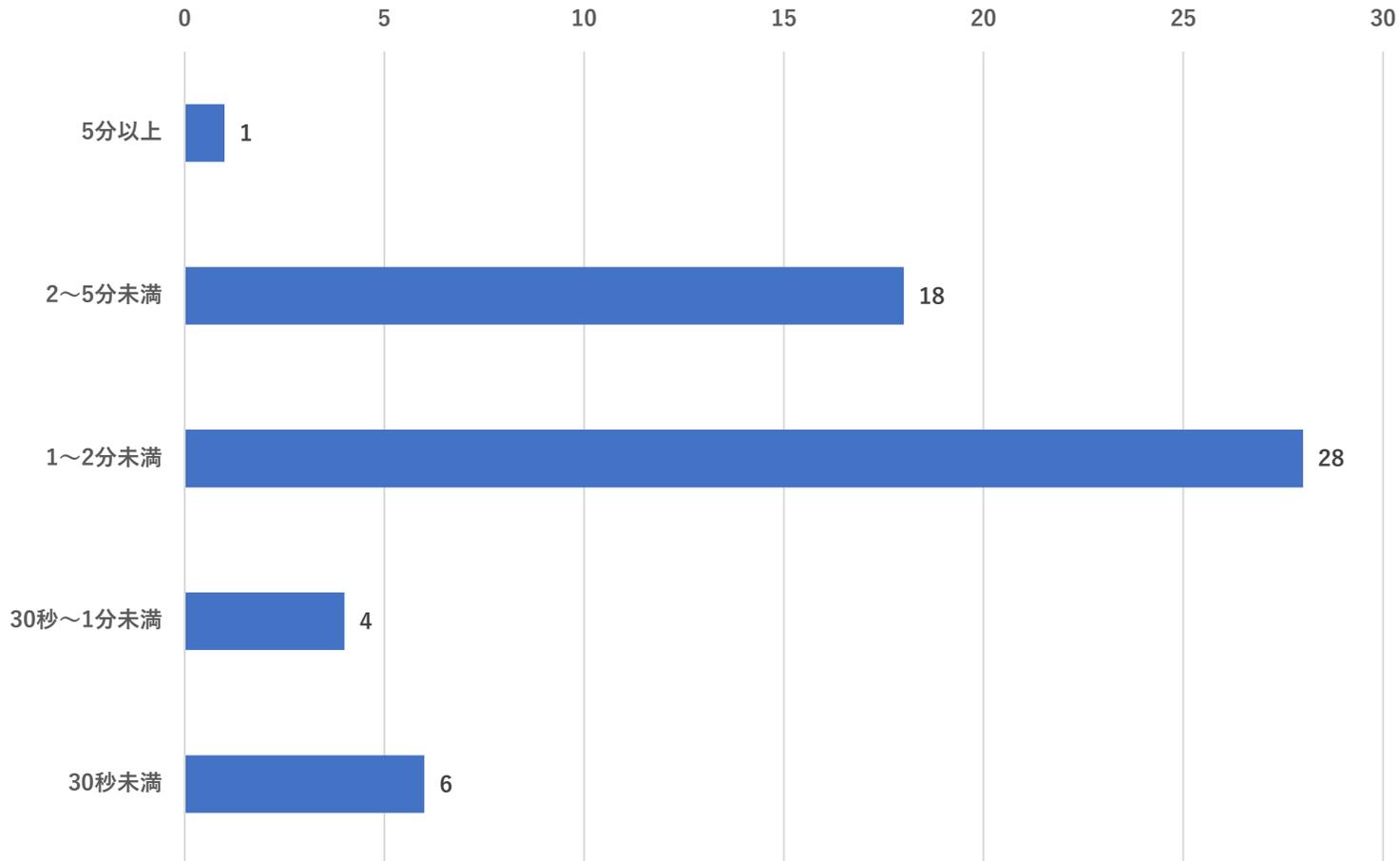
質問	回答数	回答要領
【質問30】 質問28で『活用している』とご回答された方へ、病院の受入状況や受入交渉・応需履歴の可視化機能を利用することで、「病院選定に要する時間」は短縮したと感じますか。	150	択一式



選択肢	回答
短縮した	1
やや短縮した	38
変わらない	106
やや延伸した	2
延伸した	3

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問31】 質問30で『短縮した』ご回答された方へ、「病院選定に要する時間」はどのくらい短縮したと感じますか。	57	自由回答



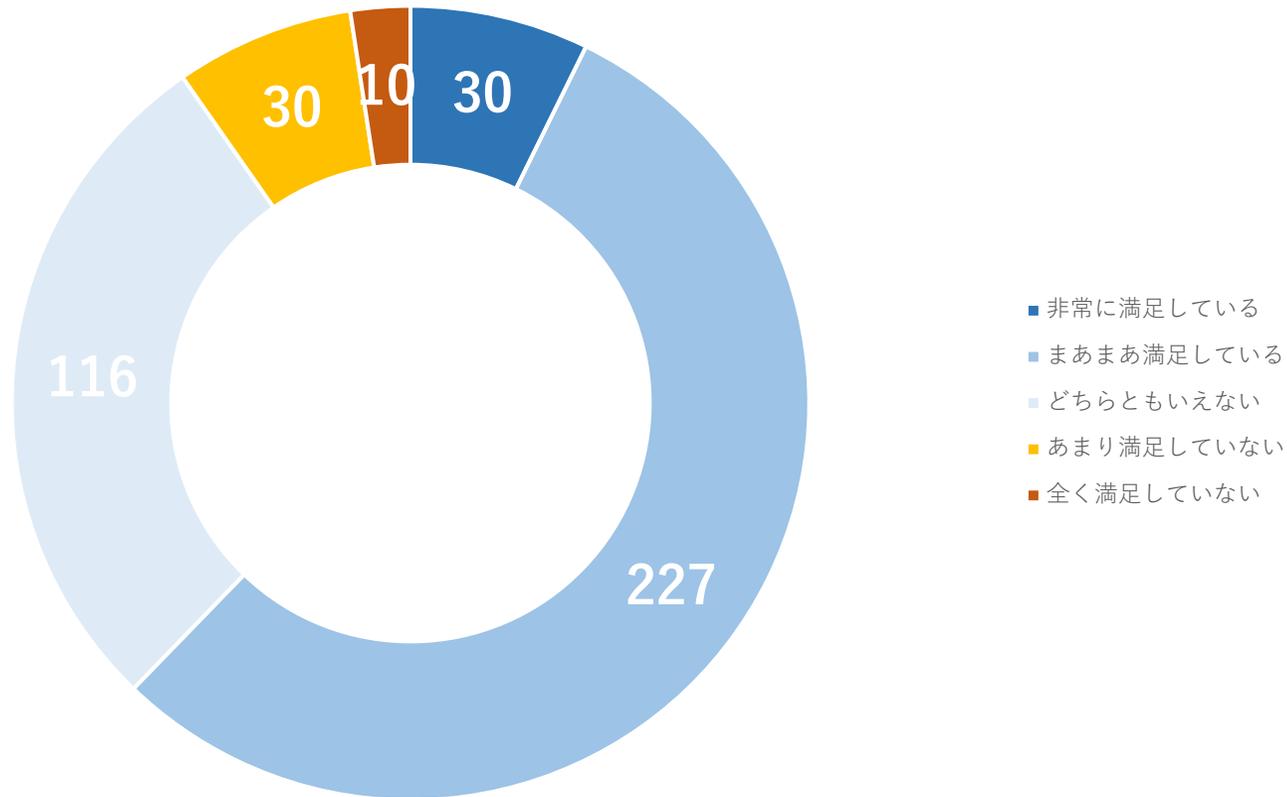
選択肢	回答
5分以上	1
2~5分未満	18
1~2分未満	28
30秒~1分未満	4
30秒未満	6

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
<p>【質問32】機能の活用有無に関わらず、病院の受入状況や受入交渉・応需履歴の可視化機能についてご意見をお聞かせください。</p>	153	自由回答
<p>複数の病院へ連絡した際、どこに掛けたか一目瞭然になって分かりやすい。</p>		
<p>2つ以上の病院で対応可能と考えている際、応需履歴を見て交渉順位を考えることもある。</p>		
<p>これが、見れることはありがたいが、あくまで参考で、実際は一旦コールして聞いてみるになるので、実質時間はかわらないかもしれない。</p>		
<p>コロナが流行り病床が切迫した際には有用であった。</p>		
<p>タブレット端末に使用する双方が使用方法を理解することでより効率の良い運用方法になると思う。</p>		
<p>医療機関が毎回見ていれば交渉がスムーズに進む。</p>		
<p>医療機関に交渉時、よく他の救急隊を受け入れたばかりだからと言って断られることがあるが、可視化機能によって、それらが嘘である場合が散見されることが分かった。</p>		
<p>医療機関も他医療機関の受け入れ状況が気になる。病院側端末でも確認出来るとよい。</p>		
<p>可視化できていることにより、次に交渉する病院に、病院交渉が難航していることが理解してもらえるので良いと思う。</p>		
<p>画面がワンクリックでサクサク動けば活用したい。</p>		
<p>自分で観察したことを文字にすることで、交渉が楽になり、相手にも伝わりやすいと思う。</p>		
<p>受け入れ交渉をした細かい時間までわかれば有効。</p>		
<p>受入が集中している医療機関への交渉を後回しにできたりするので双方メリットがらあると感じる。</p>		
		<p>同じ救急事案はないので自隊の事案の受け入れ可否が他の隊の受け入れ可否に強く関連するものではないと思っている。</p>
		<p>1回以上病院交渉するほとんどのケースが、病院側へ送信する際の通信速度が遅く、他の操作ができないため、活用したことがない。</p>
		<p>あまり見る機会はない。繋がらない時に確認することはある。たとえ確認し受け入れ不可が続いていても傷病者に適した病院を選択する。</p>
		<p>そもそも利用していない病院があるため。</p>
		<p>もっと見やすくなれば。</p>
		<p>医師の意向や、ローカルルールなどがあり、地方の病院で機能するか不安と疑問がある。</p>
		<p>医療体制の都合上、搬送先が限られており、病院側の事情を考慮せずまずは交渉するしかない、というケースが多い。</p>
		<p>応需履歴よりも、病院の受入可否やベッドの空き状況がわかる方がいい。</p>
		<p>応需履歴を見れるのに、通信速度の関係で開くのが遅い時がある。</p>
		<p>救急隊による入力タイミングがずれることで、その情報の正確性は劣ると思われる。</p>
		<p>救急隊のタブレットでは、全病院が出ないため、困ることがある。</p>
		<p>交渉病院を選択した時点で自動表示されないと、わざわざ手間かけたりしません。</p>
		<p>受入は病院側の問題。コールした救急隊名が出る方がいい。</p>

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問33】 救急隊アプリの傷病者情報入力画面の満足度をお聞かせください。	413	択一式



選択肢	回答
非常に満足している	30
まあまあ満足している	227
どちらともいえない	116
あまり満足していない	30
全く満足していない	10

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

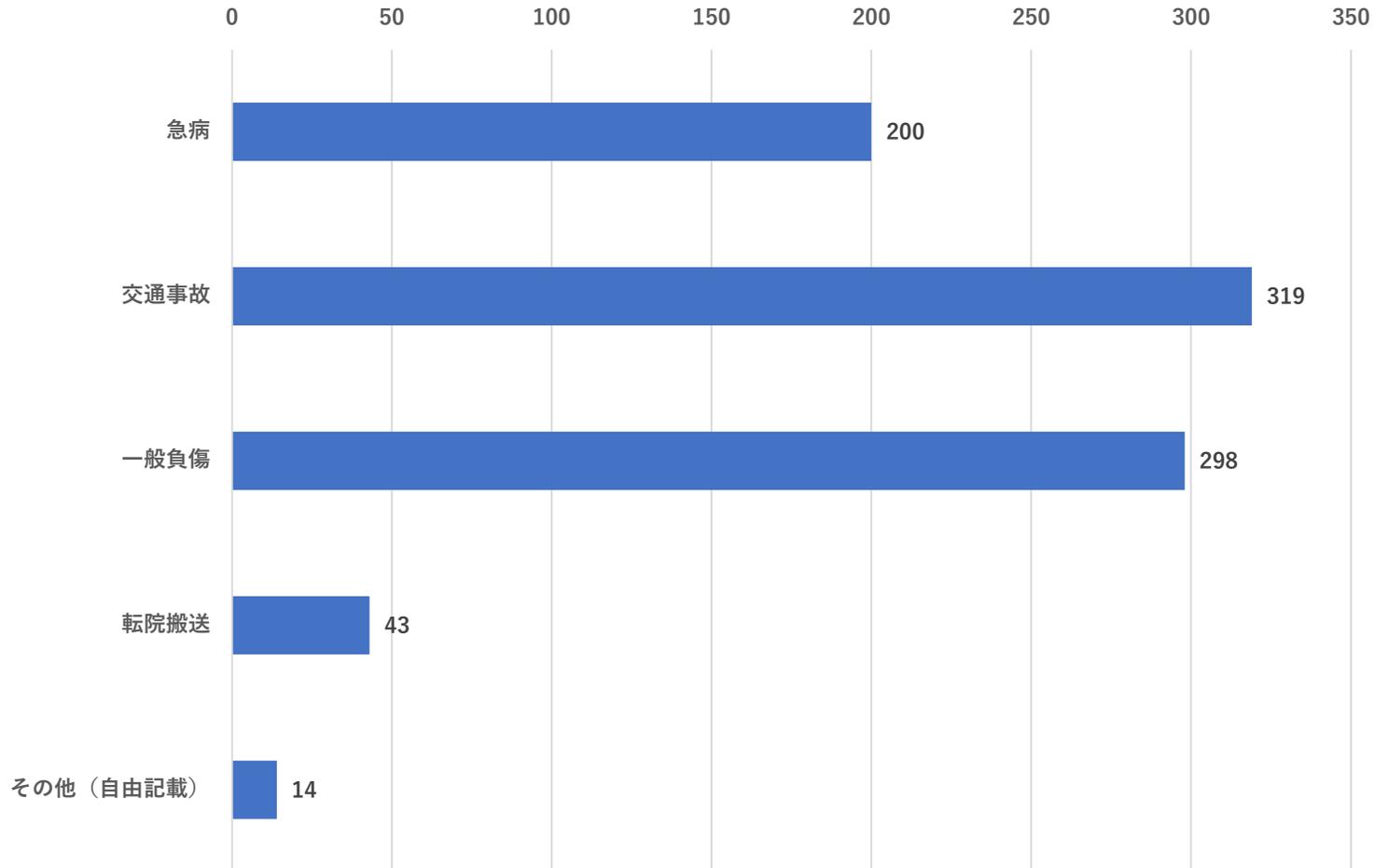
質問	回答数	回答要領
【質問34】 質問33で『非常に満足している/まあまあ満足している』とご回答された理由をお聞かせください。	140	自由回答
編集が容易、画像で伝わる。		画像の読み取りで事が終わるのは非常に助かっている。旧字問題や反射で映りにくかったり、読み仮名が違うなど、そういったところは小さな問題かと思う。
1番は現場写真を病院側へ送れること。また紙の費用削減。		画像取り込み機能により入力するのが楽になった。現場の写真も送れるため病院側に状況を伝えやすくなった。
OCRで簡単に入力できる。		外傷症例、複雑な現場などでは画像での情報共有が非常に有効である。
アップデートを重ねて比較的使用しやすい物になっていると感じる。後は使う側の問題かと思う。		活動に必要な項目がコンパクトにまとめられていて便利だと思う。
お薬手帳や人定入力が容易。		慣れるまでは時間がかかるが、慣れるとスムーズになり現場滞在時間を短縮できる。
このアンケートで改善がよくされており非常に良い。実証実験が終わりiPadを最新、キャリア変更し速度が上がればとても良いものとなる。		観察が不慣れな隊員でも入力項目に沿って観察をすることである程度の活動ができる。
あとは病院側の利用の仕方の改善、病院と消防との連携、意見が伝われば良いと思う。お互い思いがあると思うので。		救急隊の要望があるたびに、改善を心がけて下さっており、非常にありがたく感じている。今後も救急隊が意見や提案を伝えることで協力し、操作性向上につながると期待している。
シンプルでよいと思う、ただ、シェーマも標準で画面表示入力できるようにしてほしい。		見ながら必要な情報を傷病者本人や家族から聞くこともあるし、聞き漏れも予防できる。
たまにエラーで入力場所の色分けがずれるが、基本的には問題なく使える。		使用しやすく、最終食事、アレルギー等の記入欄があるため、抜けなく情報収集ができる。
メモとしての機能が有用。		紙に手書きするのに比べて、修正がしやすく、申し送り票の作成に自由度があるのがメリットに感じている。
医者が必要としているであろう情報が入力画面で大方カバーできていると思うから。		写メが数値に変換するスピード感とバイタル数値が一目瞭然で病院に表示されるため。
医療機関と情報を共有できること。		保険証等を撮影するだけで傷病者情報が反映されるのはフリック入力の必要がなく、活動を円滑にする。
夏場の汗が多い時でも、入力出来る。（紙だと濡れて入力が難しい。）画像OCR機能は有効。特に、内服薬情報がわかるのは非常にありがたい。		様々なフォーマットの本人確認書類を読み込みできるため。

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
<p>【質問35】 質問33で『どちらともいえない/あまり満足していない/全く満足していない』とご回答された理由をお聞かせください。</p>	74	自由回答
2名いる場合入力できない。		紙のようなさっさとメモが取れない。
アプリの動きが重いため、入力する箇所を変えるごとに読み込みに時間がかかり、スムーズに入力できない。		自由記載の欄が少ない。
このシステムが救急報告書作成に役立っていないため。つまり、このシステムとは全く別で初めから救急報告書を作成しなければいけない手間があるため。		傷病者側からしたら入力作業が「モタモタしている」と思われる。
タブレットがよく固まる。		消防署に帰ってからの事務整理も入ってきたら、なお良いと感じるため。
タブレットの反応が悪かったり逆に反応が良すぎて押しではいけない場所にあたり時間を要する。		人名や地名等の特殊な変換が必要な場合には非常に手間がかかる。また、人名の振り仮名が自動入力されるが、予め入力していたデータが誤った自動認識によるデータで上書きされる。
バイタル画面が詳細ではない（呼吸、瞳孔、脈拍）。		全体的に動作、読み込みが遅い。受け入れ要請や医師のサインの際にフリーズする。戻るボタンが他のボタンに近く、誤操作の原因となる。
プリントアウトした際に、薬や現病歴、交渉病院が入りきらない。		打ち込みに集中して、傷病者を見ない時間が生じる隊員もいる。
印刷画面とのリンクがない。あの画面この画面にしないといけず手間。		電波状態にかなり影響される。
活動との両立が難しい。		入力する時間が必ずかかる。従来のように車内収容し必要な事を聞いたらずぐに電話連絡することができない。
漢字やフリガナの変換ミスが多い。		入力画面が勝手に切り替わるのが面倒。数字、英語入力、変換に手間がかかりストレスを感じる。
関係者の連絡先の枠を増やしてほしい。		入力項目を簡単にしてほしい。交渉履歴等、簡単に修正できるようにしてほしい。
救急隊入力画面と医療機関表示画面が違うため、どこが医療機関表示画面に表示されるか分かりやすくしてほしい。		病院に届く情報入力だけ色が違うとか、必要な入力場所がわかればよりいいと思う。
見ていない病院がある。		老眼がひどくなると字が見にくい。

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

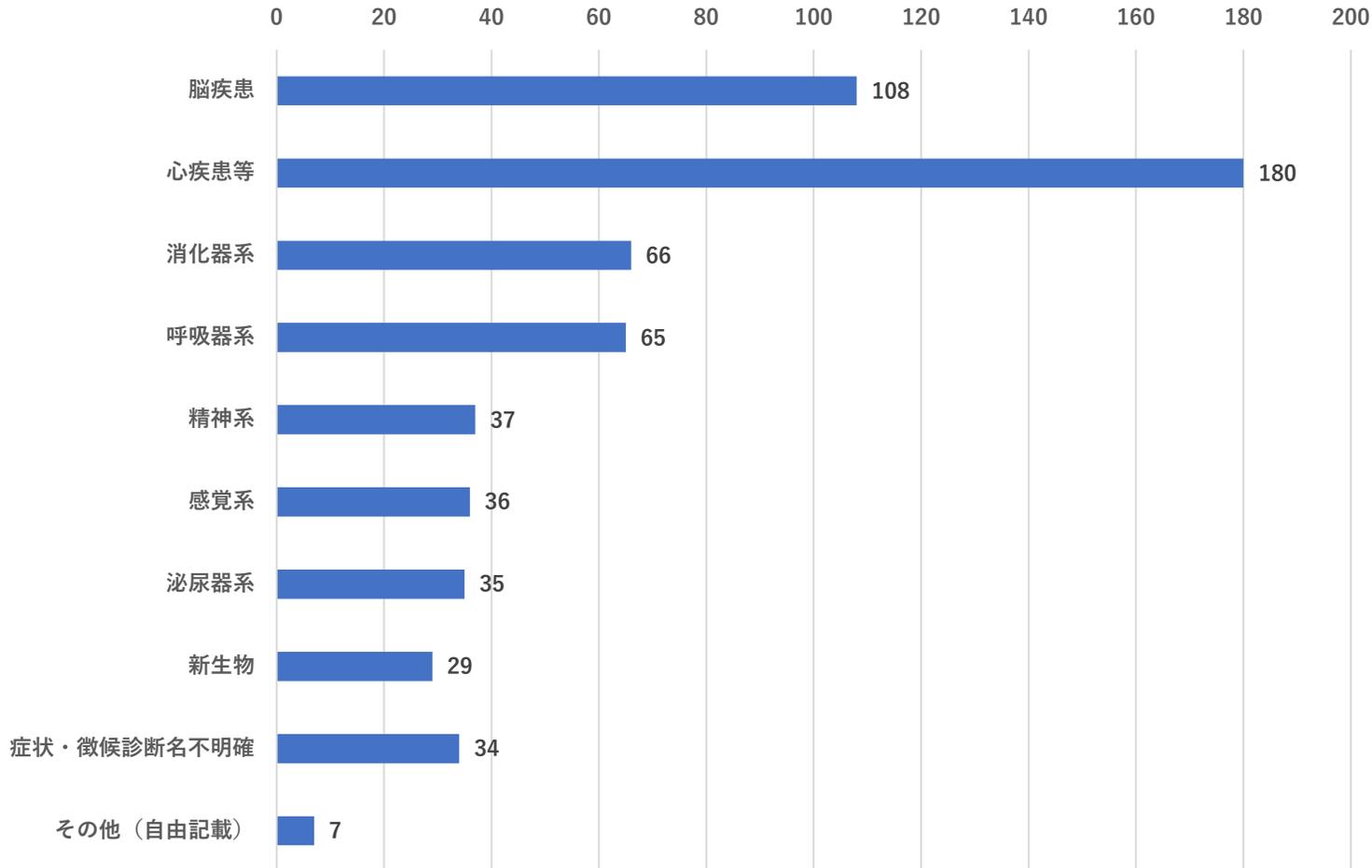
質問	回答数	回答要領
【質問36】 救急隊アプリはどのような症例（事故種別）で有効に利用できましたか。（複数回答可）	874	複数選択



選択肢	回答
急病	200
交通事故	319
一般負傷	298
転院搬送	43
その他（自由記載）	14

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

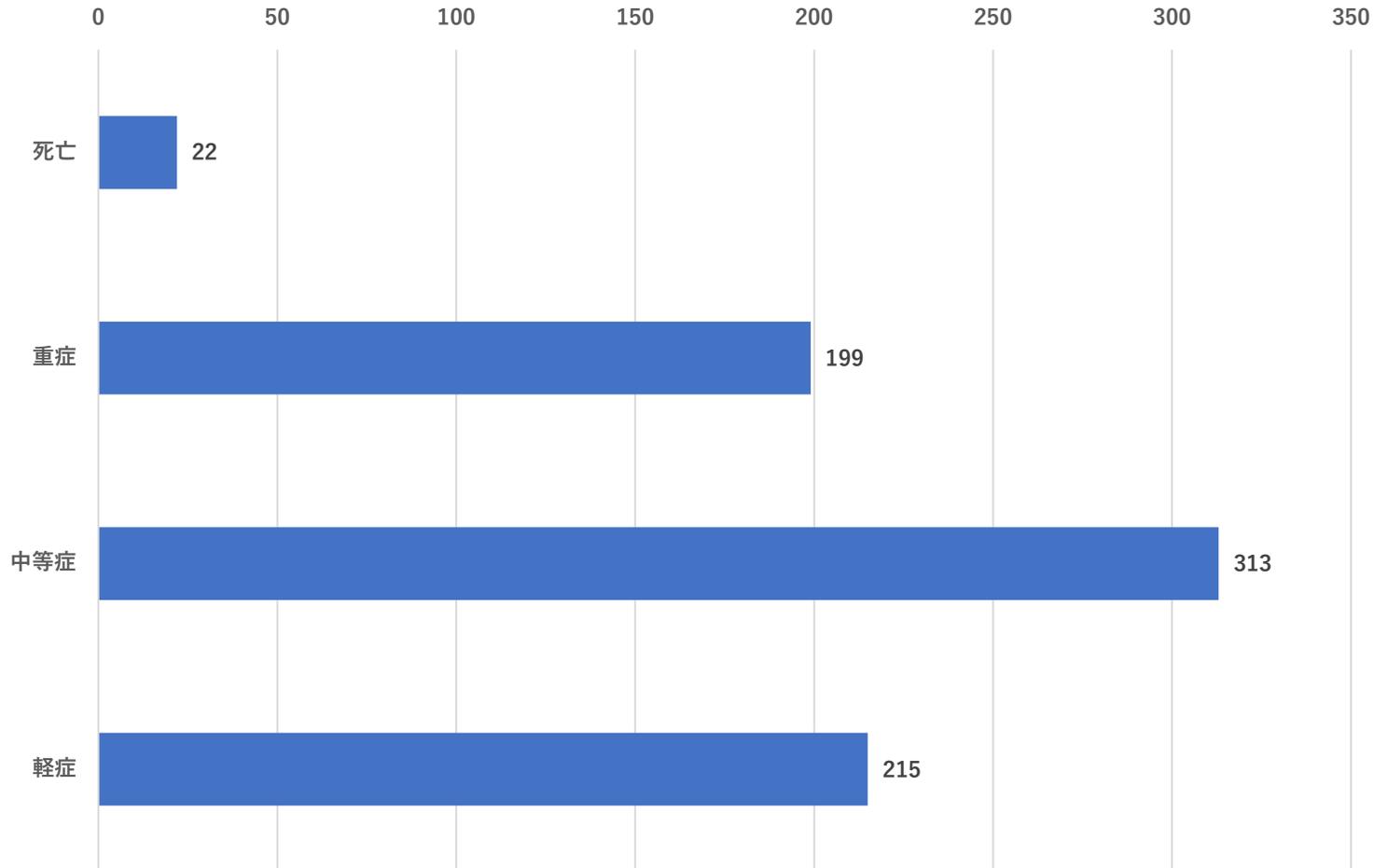
質問	回答数	回答要領
【質問37】 質問36で『急病』とご回答された方へ、当てはまるものを選んでください。（複数回答可）	597	複数選択



選択肢	回答
脳疾患	108
心疾患等	180
消化器系	66
呼吸器系	65
精神系	37
感覚系	36
泌尿器系	35
新生物	29
症状・徴候診断名不明確	34
その他（自由記載）	7

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問38】 救急隊アプリはどのような傷病程度で有効に利用できましたか。（複数回答可）	749	複数選択



選択肢	回答
死亡	22
重症	199
中等症	313
軽症	215

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

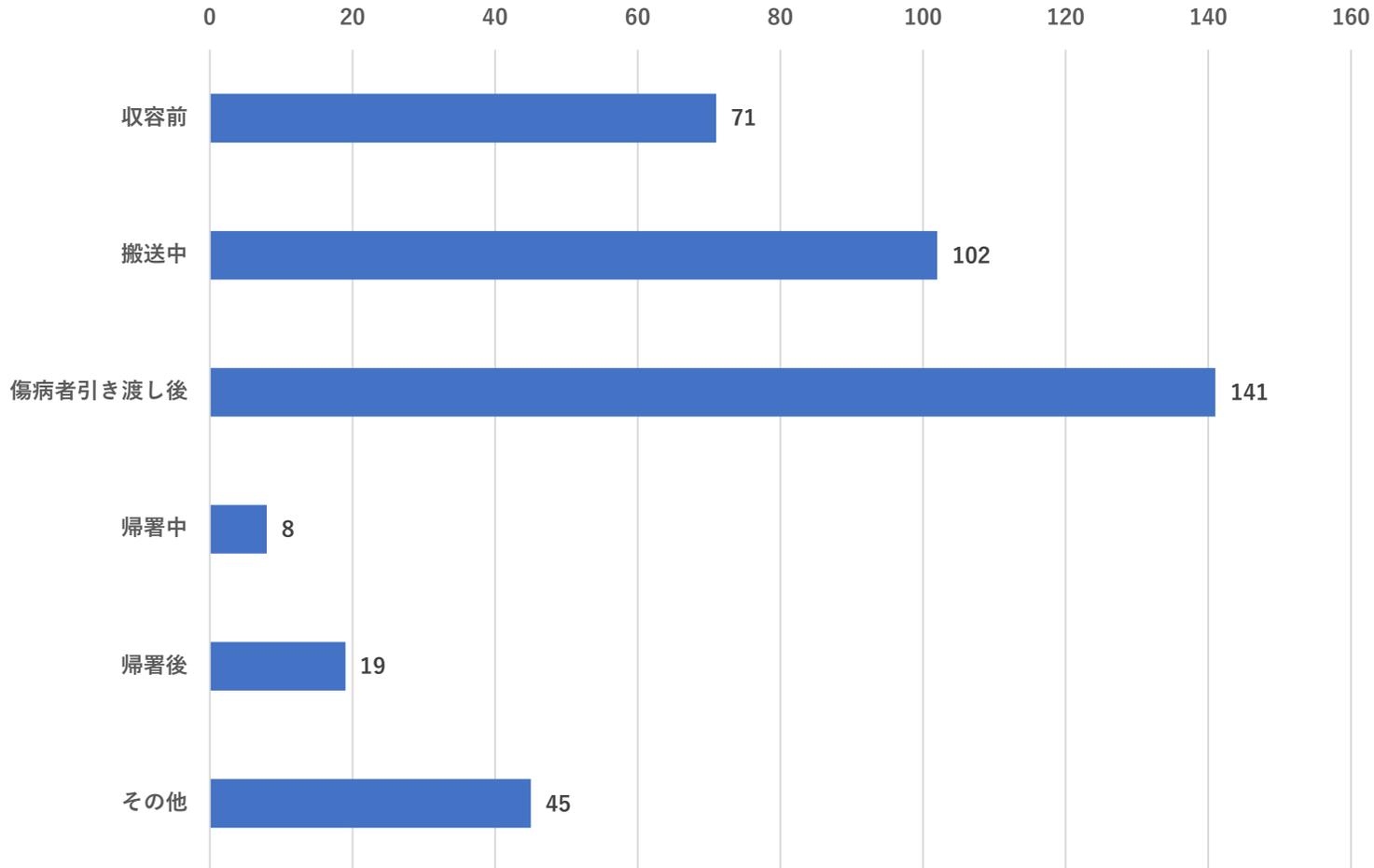
質問	回答数	回答要領
【質問39】 救急隊アプリはどのような症例に有効だと思いますか。理由と併せてお聞かせください。	214	自由回答
12誘導の共有が必要な場面。外傷部位の共有。		急性冠症候群の心電図の共有、外傷についての部位、受傷程度の共有。
12誘導心電図の共有、切断？って迷う時、言葉で外傷状況伝えにくいとき。		軽傷から中等症までの時間的猶予のある症例において、医療機関との情報共有が円滑に行える。
CPAの人定の状態共有、外傷や受傷機転の画像の情報共有。		交通事故や労働災害の際に、写真付きで病院に送れる点が有効だと思う。
ST変化を認める循環器疾患。		交通事故等で車両の破損とかを添付することで受傷機転を伝えやすい。
ショック、脳疾患や心疾患、外傷。(写真が撮れるため)		自覚症状も今ひとつで、ST変化が明らかでないとき。外傷所見を送れる。
データ入力が可能で、わりと対応に余裕がある中等症以下の症例。		社会的背景で受入困難な患者。理由は交渉時間が長くなること及び患者の前で説明しにくい。
ほぼ全症例。		傷病者の身体初見を医師へ伝えたい症例。
画像が現場状況をよく把握できる症例。		心疾患や脳血管障害など急を要する症例。ただし、医療機関がしっかり情報を受け取る体制を取っていた場合に有効。
画像でどの程度負傷しているのか伝えたい症例。		ドクターヘリ事案。無線交信が難しいので、データで共有出来るため。
外傷、脳血管疾患(瞳孔所見など)、心疾患(心電図の確認)。		脳血管障害の判断や心疾患の判断、外傷等に有効。
外傷、薬物中毒、心電図の転送、概要を文字で伝えられるところ。		皮膚所見や外傷の確認。
外傷や皮膚疾患。		病院選定が、困難な症例に有効と思う。
外傷症例、交通事故。		薬物中毒では、服用した薬等が写真で送信できる。外傷では、損傷の程度や状態が送信できる。

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問40】 救急隊アプリが有効に利用できた具体的な事例があればお聞かせください。	112	自由回答
交通の現場写真を送信することで、事故の形態、程度が一瞥できる。		
12誘導心電図を医師に確認していただいたり、外傷の程度を確認していただける。		
12誘導心電図を写真で送り、循環器医師に確認してもらえ、受け入れがスムーズだった。		
OCR機能。		
セカンドコール時に情報を渡せたこと。		
バイタルを口で伝える手間が省けた。		
医療機関側で、治療の準備やカルテの準備などができるため、治療開始の時間短縮になっていると想像している。		
救急隊側では、負傷部位の写真を送ることで、口頭での説明を省くことができるので、受け入れ説明の時間短縮になっていると感じている。		
外傷の事案全般、画像があることで受け手側が理解しやすい。		
外傷の写真を、送る事でいまでは断られていた事案が写真で判断してもらえるので、収容率が上がった。心電図も確認してもらえるため、循環器対応が早くなった。		
救急車内での心電図を医師と共有できることで、病着後すぐに心カテなどに移行できたと伺った。		
救助事案で画像送信を行うことで現場の状況、傷の状況を病院側が確認し、病着後の処置がスムーズであった。		
交渉件数が増加してきた時期は、説明が楽になる。		
交通現場（ロード&ゴー）で事故状況と傷病者の写真を素早く撮影して医療機関へデータ送信し、電話交渉を開始した瞬間に、医師から、「送られてきた画像で概ねの状況は把握した。すぐに搬送してきてください。詳細な観察や情報は搬送途上の救急車内でセカンドコールしてください。」と回答を受け、早期搬送に繋がった事案がある。		
交通事案では車両の破損状況などから高エネルギーの判断の参考になり、医療機関側の準備にもつながるのでは。		
広島県ドクターヘリへの情報伝達。人員の少ない消防本部では現場情報をドクターヘリへ連絡するのが今までは無線頼りになり、救急知識の乏しいものが行っていた。		
タブレットを活用し救急隊のみで現場情報を正確に伝達することができるようになった。		
傷の画像を送ることで、病院側の傷病者状態把握がしやすく、受入の反応が上がった。		
心電図について詳しく説明できない場合に画像を送り、スムーズに受け入れ可能の回答を得ることができた。		
心電図波形を送信することで、循環器科の受入可能回答が早まり、早期搬送、早期治療に繋がった。外傷で縫合が必要な負傷部位を予め医療機関が確認できた。		
精神疾患系などの現病歴が複雑な事案の際に、口頭だと上手く伝えることが困難だが、文字に起こして情報を送信すると、伝わりやすい。		
切断指疑いで、近隣収容先がなくドクヘリ要請時に写真を共有して、ギリ切断ではなさそうということで近隣二次で対応できることになったこと。		
創処置の可否を確認してもらえることで、受け入れ率が上がった。		
頭部外傷で写真を救急隊アプリ経由で確認してもらい、ナートの必要性を考慮した病院選定に活用できた。		
負傷部位や深さ及び程度を伝えるのに有効。		

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

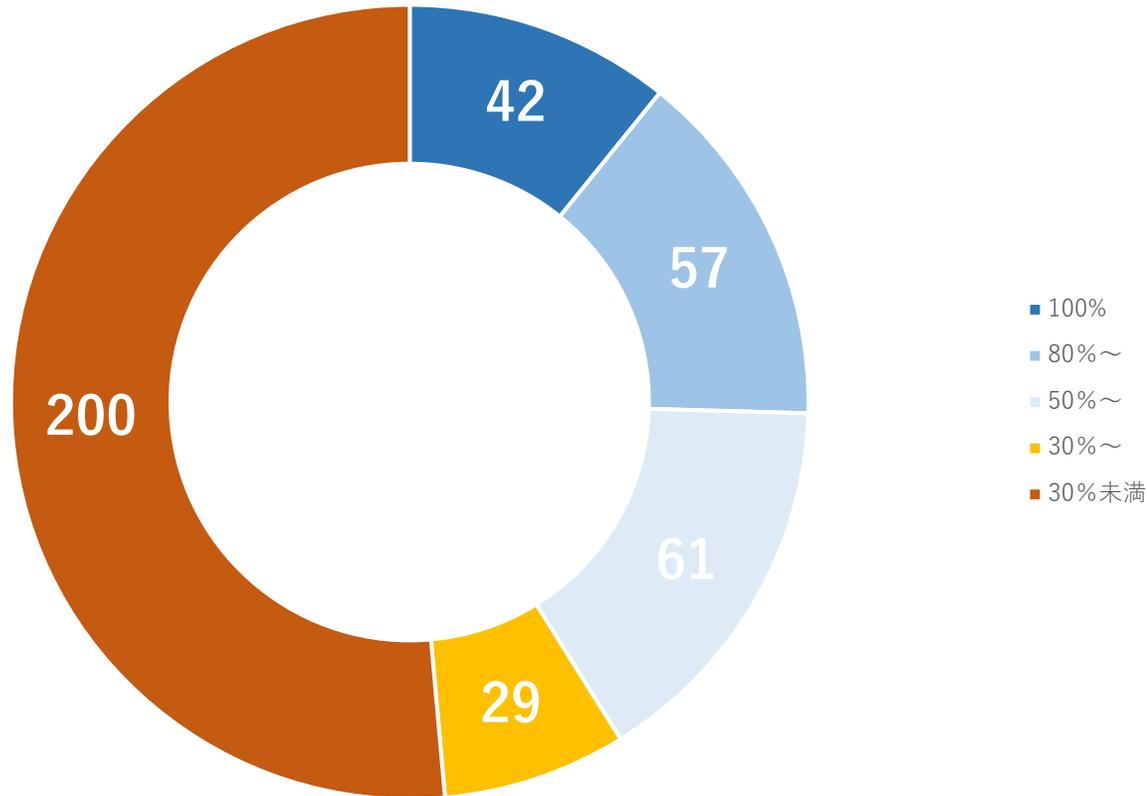
質問	回答数	回答要領
【質問41】 CPAモードについて入力されるタイミングはどのタイミングが多いでしょうか？	386	複数選択



選択肢	回答
収容前	71
搬送中	102
傷病者引き渡し後	141
帰署中	8
帰署後	19
その他	45

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

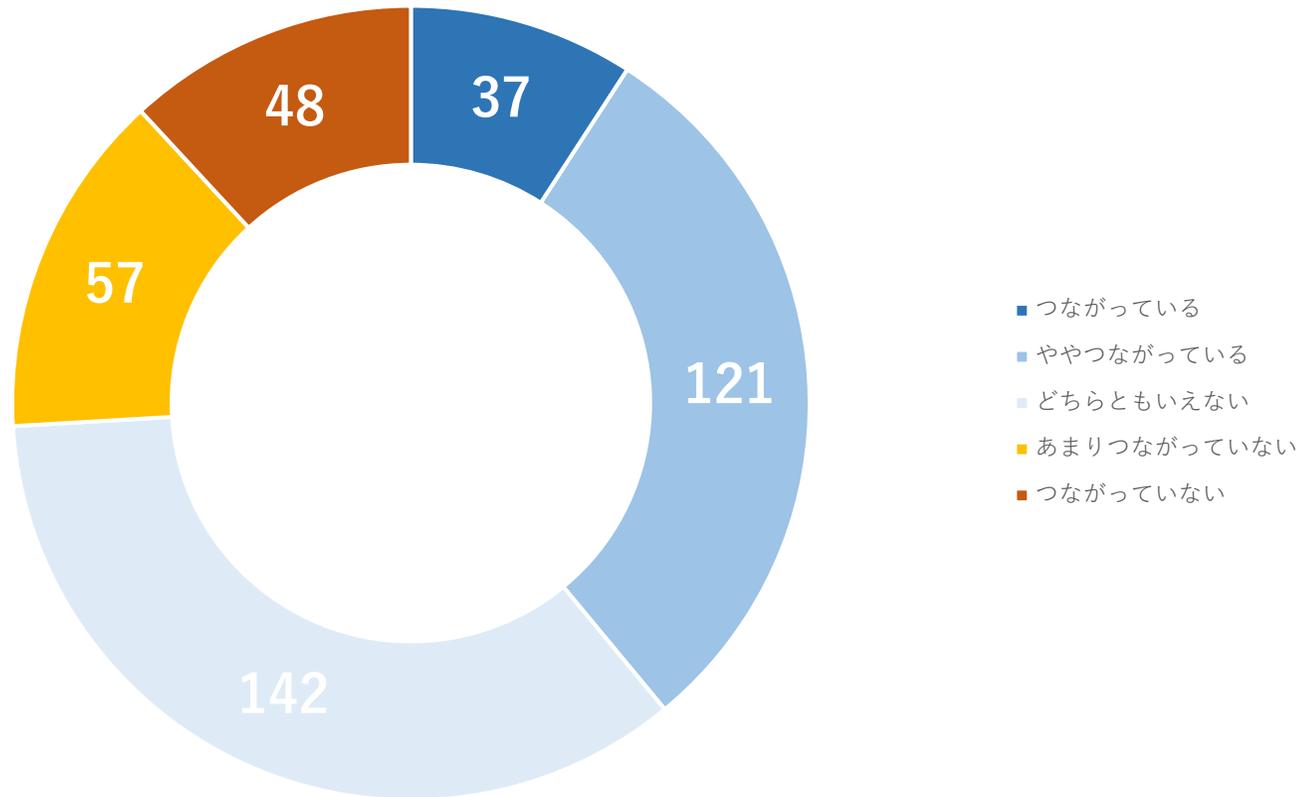
質問	回答数	回答要領
【質問42】 CPAモードの入力率は全CPA事案のうちどれぐらいの割合で入力されていますでしょうか？	389	択一式



選択肢	回答
100%	42
80%~	57
50%~	61
30%~	29
30%未満	200

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

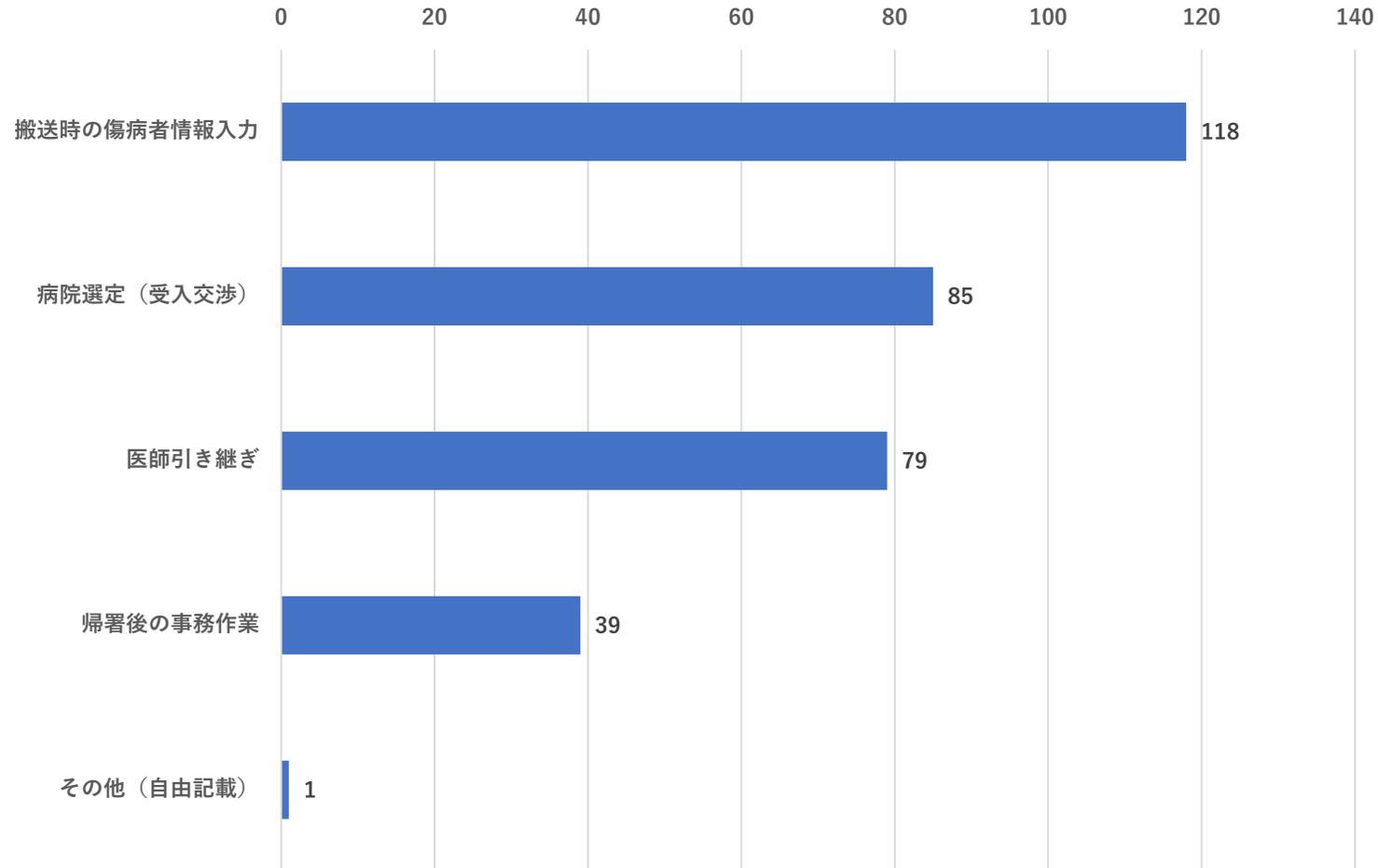
質問	回答数	回答要領
【質問43】 救急隊アプリの利用で救急業務に係る労務負担の軽減につながっていますか。	405	択一式



選択肢	回答
つながっている	37
ややつながっている	121
どちらともいえない	142
あまりつながっていない	57
つながっていない	48

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

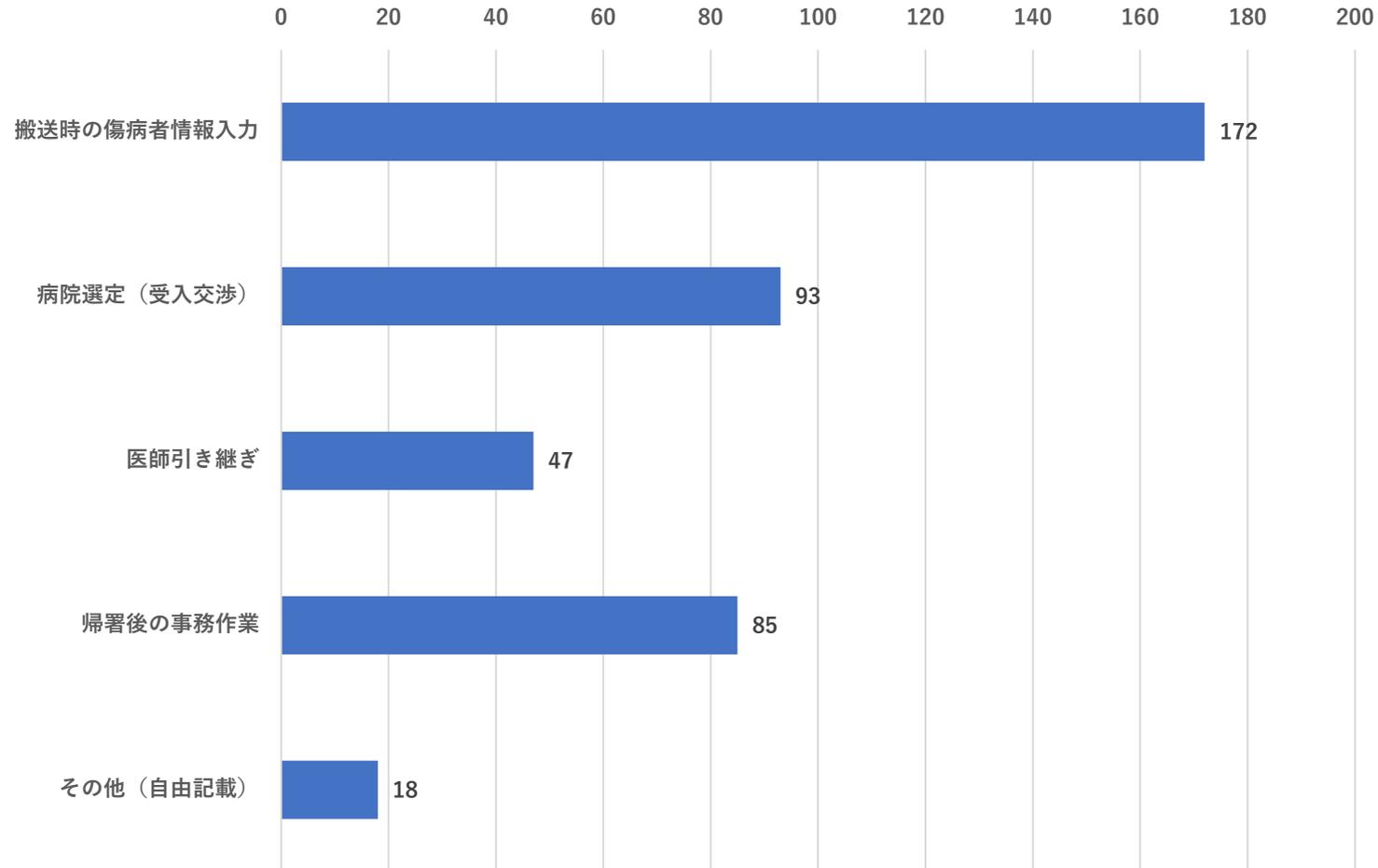
質問	回答数	回答要領
【質問44】 質問43で『つながっている/ややつながっている』とご回答された方へ、どの部分で労務負担の軽減を感じますか。（複数回答可）	322	複数選択



選択肢	回答
搬送時の傷病者情報入力	118
病院選定 (受入交渉)	85
医師引き継ぎ	79
帰署後の事務作業	39
その他 (自由記載)	1

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

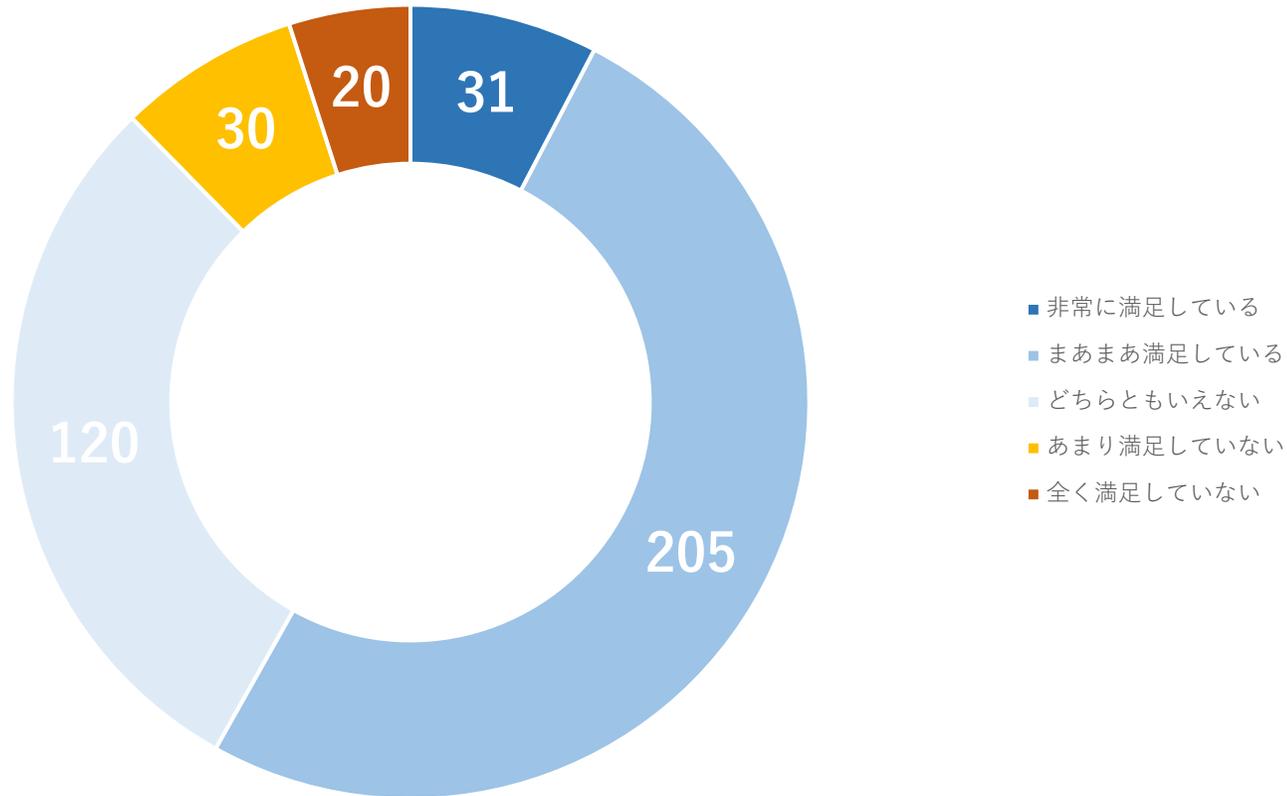
質問	回答数	回答要領
【質問45】 質問43で『どちらともいえない/あまりつながっていない/つながっていない』とご回答された方へ、どの部分で労務負担を感じますか。（複数回答可）	415	複数選択



選択肢	回答
搬送時の傷病者情報入力	172
病院選定 (受入交渉)	93
医師引き継ぎ	47
帰署後の事務作業	85
その他 (自由記載)	18

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問46】 救急隊アプリの総合的な満足度について当てはまるものを選んでください。	406	択一式



選択肢	回答
非常に満足している	31
まあまあ満足している	205
どちらともいえない	120
あまり満足していない	30
全く満足していない	20

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

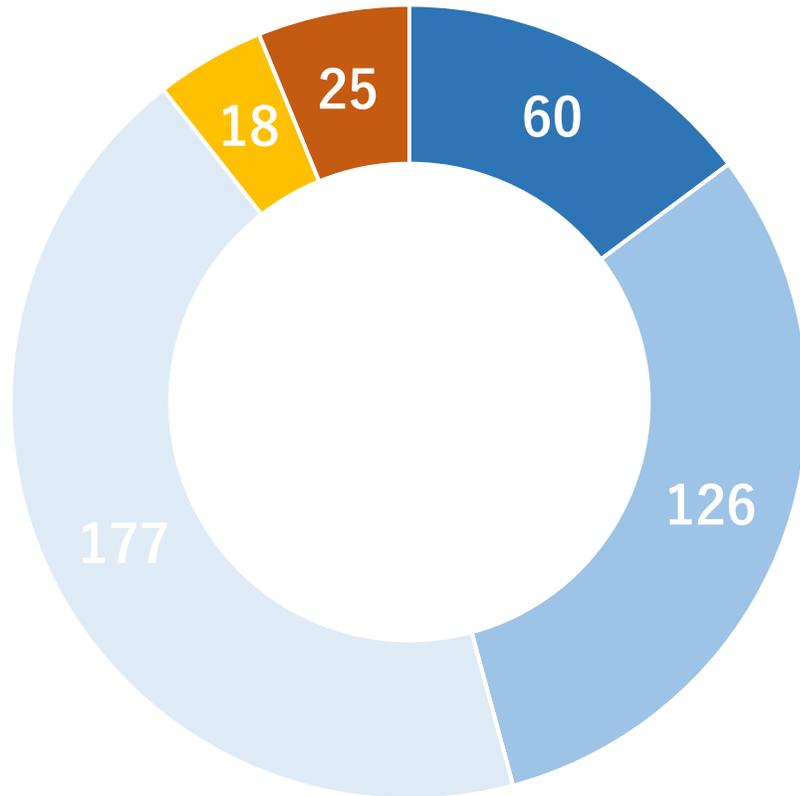
質問	回答数	回答要領
【質問47】 質問46で『非常に満足している/まあまあ満足している』とご回答された理由をお聞かせください。	118	自由回答
編集が容易、画像で伝わる。		
アップグレードを重ねてより使いやすくなっていると感じる。現在はタブレットを使用した活動が基本になっているので、これからも使い続けたい。		交通事故や、外傷関係で写真で情報共有ができること。また、心電図も写真で伝える事ができるので便利。
アプリを導入してから電話交渉や引き継ぎが楽になった。		口頭で説明する手間が省ける。怪我の程度や心電図波形を医師に直接判断してもらえる。
ある程度経過を入力していることで、複数回病院連絡を行う際、口頭で何度も説明しなくてよいこと。		紙と比べて楽。
バイタル、名前等はアプリで送っているため、連絡は早くなる。		自分で書くより字がキレイである。漢字の変換も助かる。
医師とのより内容の濃い引き継ぎ、電話連絡につながっていると思う。		写真を送信できる。保険証や免許証を送信できる。事故の現場状況を送信できる。
医療機関からも情報が明確で有り難いと言われた。		写真撮影だけでデータ入力出来て効率が良いため。
画像で情報が共有できたり、お薬情報が伝達しやすく、有用なところも多い。		従来の記載型であれば医療機関に伝わる情報も限定的であるため、データベースで相互に共有できることは、最終的に傷病者にとってもメリットになっていると感じる。
画像転送が最大の魅力。漢字ミスも起こりにくい。		全ての受け入れ交渉に使用できるため、全ての事案で時間短縮に繋がっていると感じている。
外傷や事故、心電図異常の場合には写真を撮れば、怪我や現場の状況がわかりやすい。		入力に慣れる事で時間短縮になっている。
救急活動の質が上がった。あとは報告書との連携。		必要な情報（特に画像や人定）が病院に送信できるので、病院からしつこく聞かれなくなった。もう少し読み込み速度の向上、誤変換しなくなればさらに有効かと思う。
病院側で事前に確認されているため、病院連絡時の時間が明らかに短縮している。誤解などが少なくなった。心電図が簡単に送れるので、医師と写真を確認しながら話が可能。		病院交渉や引き継ぎが以前に比べて円滑になった。
交渉がスムーズになったと実感する。ただ、有効に使用していない病院もあるので、すべての病院が有効に使ってほしい。		病院選定時の事案内容の復唱回数の減少、帰署後の事務作業の時間短縮。
		画像OCR機能や音声機能は画期的で精度を高めていけば、よりよい形になると考える。

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
<p>【質問48】 質問46で『どちらとも言えない/あまり満足していない/全く満足していない』とご回答された理由をお聞かせください。</p>	75	自由回答
CPAの場合、処置と入力で時間が取られて、入力が疎かになる。		緊急時にファーストコールの遅延が生じる
CPAモードがひどい。書きたい情報が概要でしか書けない。		緊急度が高い事案において、情報入力で時間を要す。
iPadが古い、新しいのにするべき。		結果的に救急活動中のストレスが増えた。
iPadの基本的な使い方を知らない私からしたら入力方法の変換や、入力途中にカーソルの位置の変更など、基本的なことのトリセツが無いことに不満あり。		現場出発の遅延。
アプリ入力が活動の主となっている隊員の患者観察が疎かになり、能力向上が認められない。		自身の管轄内に電波が入りにくい地域があるため、現場でタブレットが使えないこともあった。利点もあるが、不便な点もあるため。
あらゆる情報を写真などでも交渉中に送れるのはいいが、入力に時間を要したり、通信速度が遅いため、現場滞在時間は早くはなっていない。事務処理も増えている。		受け入れ交渉の回数が増えると固まる事が多い。
コストパフォーマンスが悪い。入力したのにデータ障害で送信できない。引き継ぎ後の事務処理が増える。		受入要請時の病院への説明が減った一方で、入力してから受入要請をするため、病院決定までの時間は短くなった感じはない。
デジタル化を推進する上では理解できるが、収容先の医療機関側の有効活用がなければ、意味がないと感じる。		正直、緊急性の高い事案は入力を後回しにせざるを得ない。逆にタブレットを触ると現場滞在は遅くなる。急がないのであれば、交渉時間が短縮される場面もある。
フリーズしたり、送信に時間がかかることがストレス。帰署後のOA入力と連動させるべき。		多数傷病者事案では、紙媒体のほうが早い。
もう少し直感的な入力にしてほしい。		通信速度について不満。救急現場で入力したものを、どの医療機関でも活用してもらわないと、現場の無駄な努力になってしまう。
ロードに時間がかかる、バグで内容が消える。		入力、病院選定、報告書作成までが統一されたものであれば負担軽減になるがそうではないので負担でしかない。
屋外で雨の日は気を使う、誤作動。		複数搬送した場合の複写機能をもっと充実させて欲しい。記入した情報の完全複写など。
帰所後の事務作業と連携して欲しい。		本部の書類作成と二度手間。

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問49】 このアプリを他自治体の救急隊員に勧めたいと思いますか。	406	択一式



- 勧めたい
- まあまあ勧めたい
- どちらともいえない
- あまり勧められない
- 勧められない

選択肢	回答
勧めたい	60
まあまあ勧めたい	126
どちらともいえない	177
あまり勧められない	18
勧められない	25

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

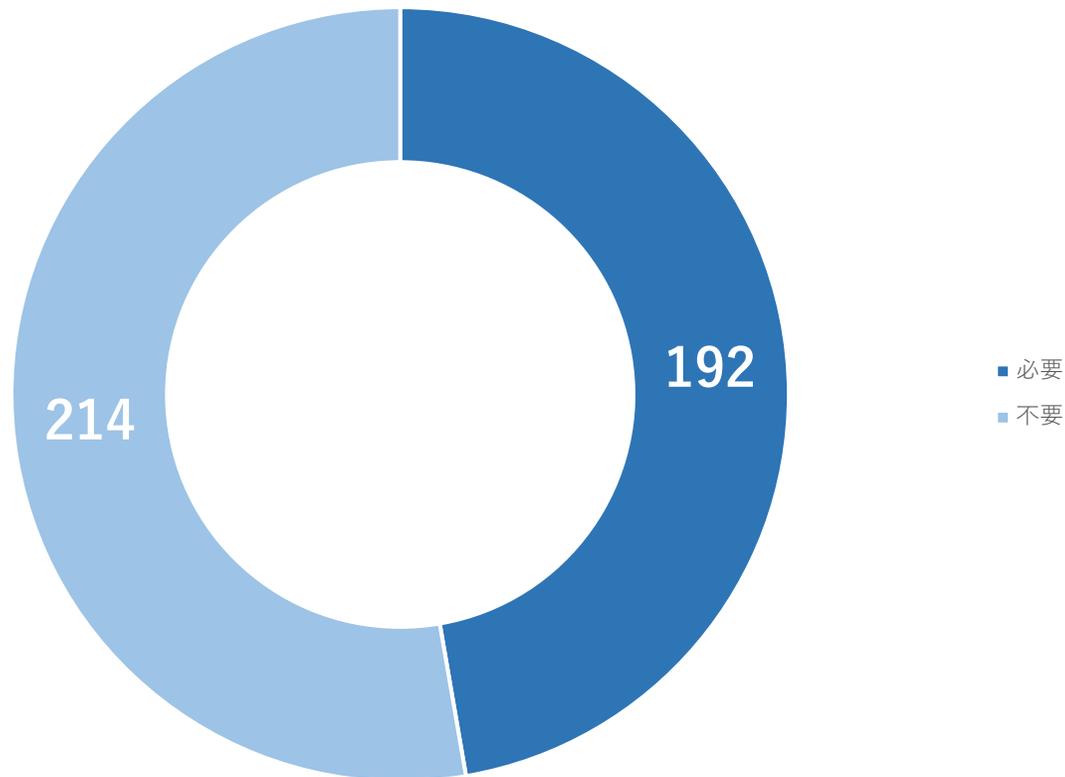
質問	回答数	回答要領
【質問50】 質問49で『勧めたい/まあまあ勧めたい』とご回答された理由をお聞かせください。（自由記載）	88	自由回答
負担軽減につながると思慮する。		救急医療DXだから。
1日に件数が多い部署ほど楽になる。		県内で統一されたのは素晴らしい。
OCR機能。		口頭で説明する手間が省ける。怪我の程度や心電図波形を医師に直接判断してもらえるため。
お薬手情報が分かりやすいのと、心電図などわかりにくいところを病院に相談できるところを勧めたい。		紙には戻れないし、これからOAと連携するならより業務の軽減に繋がる。マイナンバーカードとの連携に期待している。
お薬手帳の画像から、お薬説明が確認できるため検索の手間が省ける。		視覚情報を医療機関へ送信できる点においては、プレホスピタルにおいてはとても心強い。他自治体の使用感等も聞いてみたい。
バイタルサインの伝達が、文字情報として残るので、バイタルサインの変化が把握しやすいと思えるから。		実際に使う前と比較して、病院連絡、情報提供の正確さなどについて、明らかに良くなっていると感じるため。
医師が一目で情報を確認できるため。		手書きよりミスが少ないため。
医療機関の受け入れ体制が整っている市町村では有用だと思う。		手書きより効率が良いのと画像を病院と共有できるため。
画像や写真を上手に活用すれば、病院交渉のいいツールになる。		傷病者の情報を視覚で伝えることができるので、情報伝達に非常に有効である。
外傷や事故、心電図異常の場合には写真を撮れば、怪我や現場の状況がわかりやすい。		情報集約ツールとして有効であるため。
各地域の救急体制によって向き不向きがあるので、広島市と似たような状況なら勧めたいと思う。		電話交渉がスムーズに行える。
活動時間の短縮に繋がっているから、負傷部位や心電図の確認が容易だから。		導入してから少し労務負担が減少したため。
簡単で取り扱いやすいから。		文字が綺麗でよみやすいため。

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
<p>【質問51】 質問49で『どちらともいえない/あまり勧められない/勧められない』とご回答された理由をお聞かせください。</p>	93	自由回答
すぐに交渉できなくなる。現場滞在の延長につながる恐れがある。		救急報告書作成のNEFOAPと紐付いていないため、手間が増えたのみ。
せめて県内の消防期間、医療機関が統一したものであれば有効。		緊急時は使えていないのが現状。
その圏域の医療機関で合う合わないがありそう。		結局、上席者が、デジタル事務への移行を認めなければ意味がない。
タブレットを入力しなければならぬ使命感にかられる。		肩こりがひどい。
なれるまでに時間がかかる。動作が遅いことがある。		現場に持って行くので様々な問題が発生するため。
もっと改善の余地があるのと、地域の医療機関での活用が進まないという意味がない。		広島市は交渉する病院の数が多いので有効な場面が多々あるが、搬送する病院がそもそも少ない本部では電話だけの方が楽だと思う。
もっと反応が早く、通信速度が速くフリーズが無くなると、勧めにくい。		事後の事務処理までつなげられるシステムを使用している自治体があるため。
医師が必要としているかが問題。どちらでもいいのなら、このアプリにこだわる必要はない。従来通りでいい。		全国のシステムの統一が図られていない中では判断しかねる。
医療機関側にメリットはあるが、当局では消防O Aとの連携がまだのため現状ではどちらともいえない。		地域性による。搬送先病院が1、2件の地域であれば電話交渉の方が効率的と思う。
医療機関側のメリットは大きいですが、消防側は現場負担が大きい。負担軽減のためにはマルチステーションの救急業務報告書とリンクさせ、事務負担を減らすのが良い。		電波状況にかなり左右される、医療機関まで短距離なら即電話連絡の方がはやい。
画像送信は有効であるが、電波状態が不安定な場合が多い。		入力や患者観察にそれぞれ任務分担されるため、より多くの目で観察ができず、症状の見落としが起きる可能性が高くなる。
活動との両立が難しい。		有用な部分も多いが、時間と手間がかかる事も多い。多くの入力前提で進められると困る事も多い。
救急現場及び医療機関側相互の協力体制次第。		利用しても効率化されないから。

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問52】 今後の機能追加の検討にあたりお伺いします。 救急隊のスキルアップを目的として、救急隊の現場活動等の救急業務に対し、医師の視点で助言等を行う機能（搬送が完了した事案別に医師がコメントを入力し救急隊にフィードバックする機能）は必要だと思いますか。	406	択一式



選択肢	回答
必要	192
不要	214

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

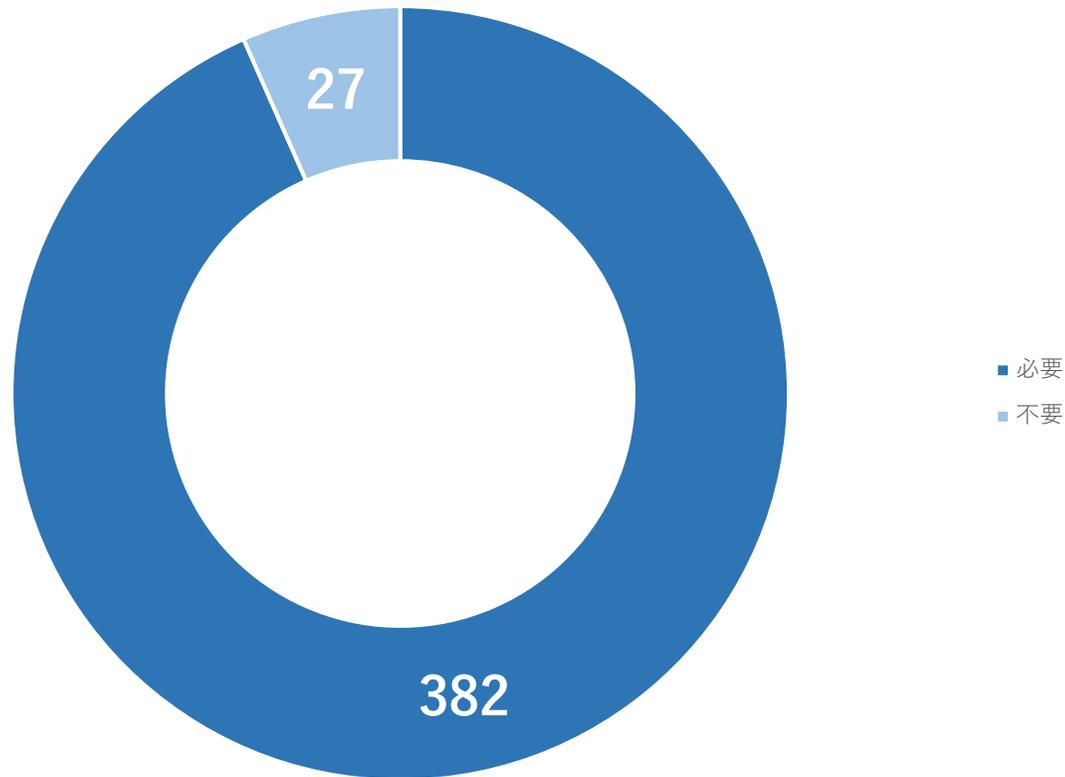
質問	回答数	回答要領
【質問53】 質問52で『必要』とご回答された理由をお聞かせください。	104	自由回答
医師の意見（搬送先選定、最終診断名）を確認することで、今後の活動に反映させたい。		救急隊目線と言えば良い研修資料となるが、医師の負担がかなり増加するのではないかと慮する。
あれば嬉しいが、医師側の負担が予想される。その結果、受け入れに二の足を踏むようになっては、本末転倒。医療機関側の十分な理解が必要と思う。		現状は、確定診断名や治療経過がわからず、自身の活動のフィードバックがしづらいため。
スキルアップに繋がるとは思うが、医師の負担が増える事を懸念する。		事案ごとにフィードバックが貰えたら活動の改善に繋がるため。
フィードバックも必要であるが、確定診断も知ることができれば今後の活動に活かせると思う。		事後検証に必要。
医師の視点から見たアドバイスは、普段はあまりもらうことがなく、今後の活動に活かせると考えるため。		所見や処置等に対して助言等は特に必要なため。
医師がより欲しい情報が知ることができたら、今後の交渉がよりスムーズになる可能性があるから。		推論との整合性をはかれる。
医師側のタブレットに対する認識が高まるため、実施した方が良い。		絶対に必要だとは思わないが、医師の視点で助言を頂けるなら今後の活動に参考となる。
医療機関到着後に現場でどのような処置をしておくとか助かるのか等を知れることで救命の連鎖に繋がるから。		全事案ではなく、重症症例やCPA等、フィードバックが欲しい時に選択できると良い。
院内での引継ぎ時には、多忙のためフィードバックができないため、時間差があってもコメントがあれば今後の参考となる。		全症例ではなく、特異な症例などに限ってフィードバックしていただけたら良いかと。
何の疾患だったかだけ知りたい。		転帰理由が知りたい、なぜ入院？経過観察のため？家族希望？とか。
確定診断や必要な処置等共有のため。		転帰がわかればこれからの活動に活かせるため。
救急活動の質向上には、客観的なフィードバックは必須であると思う。		病院側の考え方を共有していただくことで、プレホスでなら活動の参考となるため。
救急隊側と病院側の連携が深まるかもしれないため。		様々な視点で見ることで視野が広がり知識や技術の向上につながる。

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問54】 質問52で『不要』とご回答された理由をお聞かせください。	121	自由回答
あっても限られた病院でしか使用しないと思うから。		医師の負担増える。検証必要事案はMCでおこなっている。
これ以上、機能や手間を増やさないで欲しい。		確認作業が増えやることが複雑化するから。
システム上ではなく、搬送後、直接医師から伝えてもらうほうがよい。言葉の温度や表情をみながら直接フィードバックしないと、勘違いや誤った認識となりかねないため。		救急出場時のみ、タブレットを使用しており、日常的に事務所では使用してないため。
その場で言って頂けたらよいから。		苦情めいた指摘ばかりになり、建設的な運用にはならない可能性があるため。
それが病院、医師からのルール決めになり、個別の先生に対する対応を変える必要が出てくる可能性がある。		検証表で事後検証していただいているため、時間的にも全事案は必要ない思う。
そんな時間ももったいない。		後の傷病名が分かればいい。
プロトコルが県域で違うため現実的には難しい。		事案完結後に、再度確認することが基本的にはないから。
ほとんどの医師がサインだけしていて、助言などをする医師はいない。治療優先なんでそんな時間は無いと思う。		全ての事案で傷病者の転帰情報がもらえるため、それで代用可能。
医師、救急隊員ともに負担となる。		他に優先すべき機能があると思われるため。
医師の意見が統一していない。		特定行為については、別途コメントをいただいているため。その他について、コメント待ちで病院滞在が長くなってしまう可能性があるため。
医師の考え方と、救急の考え方が基本違う。		救急活動に理解のある医師ばかりではなく、内容によっては救急隊の士気を下げる可能性も示唆される。また、毎事案確認したりコメントする負担がかかるので不要だと思う。
医師の負担が増えるから。医師が必要だと判断したもののみコメント入力ならありかも。		良い医者は搬送時に、その場でフィードバックしてくれる。そうでない方は、検査後に後出しで批判をされることが多いため。
医師の負担が増えるため。救急隊から確認したい事は、必要があれば転帰調査等で確認している。		労務管理になっていいない。助言が必要なものは従前と同様にMCコール同時依頼症例検討会で聞く方が良い。

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問55】 今後の機能追加の検討にあたりお伺いします。 帰署後の事務作業の負担軽減を目的として、傷病者搬送時に救急隊アプリに入力した情報が自動的に消防OAシステムに反映（転記）される機能は必要だと思いますか。	409	択一式



選択肢	回答
必要	382
不要	27

第3回 ユーザーアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問56】 質問55で『必要』とご回答された理由をお聞かせください。	257	自由回答
OA入力が簡素化されればかなりの事務短縮になる。		事務作業の負担短縮、書類ごとの統一性がとれる。
タブレットで電子化したものを印刷して紙媒体にして帰署後にOAで電子化という手間があるから。		出勤が重なった場合、何件も報告書がたまってしまうことが多々ある。一度入力したことをOAパソコンで再度入力することが、二度手間に感じる。
タブレットで入力した内容と同じことをOAシステムで再度入力しないといけないことに手間を感じているため。		傷病者申し送り表に記載したことだけでなくOAシステムと連携して搬送後の救急車内でOAシステムを記載できるようになるとさらに助かる。
とても必要。事務処理時間の短縮に繋がる。同じ内容を二度と入力しているため、ミスが軽減する。		傷病者名、生年月日、住所、性別、主訴、バイタルデータ、病院連絡履歴、傷病名、傷病程度がタブレットから反映できれば、事務時間が短縮できる。
帰署後の事務作業の負担軽減に繋がるため。		消防OAに反映されれば帰署後の事務作業負担軽減するのはもちろんのこと、現場でもタブレットへの記入漏れが防げる。
帰隊後の入力項目が減れば、時間も労力も減る。		早期の導入を希望。バイタルや名前などが反映されるだけでもありがたい。
救急件数が増加傾向なので、帰署後の事務作業の軽減に繋がると思う。		入力部分に被っている部分も多数あることから、現在は二度手間な所が発生している。二度手間の解消という意味では、自動反映して欲しい箇所は多々ある。
現在、活動中のシステム入力と帰署後の事務作業がリンクしていないため、情報が反映されるようになれば負担軽減につながると思う。		負担が減るため。しかし、不確実な反映であれば、逆に削除しないといけないなどの負担がある。
現在は同じ情報を入力し直すという二度手間な作業をしている上に、入力間違いが発生してそれを直すという三度手間な状態になっているため。		報告書作成するためには、せっかく入力した傷病者情報や概要は反映されるべきだと考える。
現状、システムと消防独自の入力が必要となり、労務負担が大きすぎる。搬送システムがOAシステムにリンクされないと、現場で時間をかけて入力する意味がない。		報告書入力作業の負担が軽減される。
今は2つ作成する手間があるので一つにまとめれると事務の量は減ると思う。		連続で出勤した際など入力する時間がないため。
事務作業の二重化、三重化は深刻な問題。一度で済むならそれに越したことはない。		労務管理につながる。タブレット化の目的の1つである。
事務作業の負担軽減に繋がる。入力ミスが減る。		労務負担軽減に繋がるため、優先して取り組んでいただきたい。

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
【質問57】 質問55で『不要』とご回答された理由をお聞かせください。	7	自由回答
アプリに入力したことが必ず正確だとは限らないため、OA入力時に結局チェックし、修正が必要な場合もあるため。		
タブレットを正式採用とし、消防OAは廃止すべし。		
やることが多い。		
充電の減りが速くなりそうだから。また、現状で満足しているから。		
全ての項目が反映されて、完結するのであればいいが、一部であれば不要という考え。		
全て精度の問題。		

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

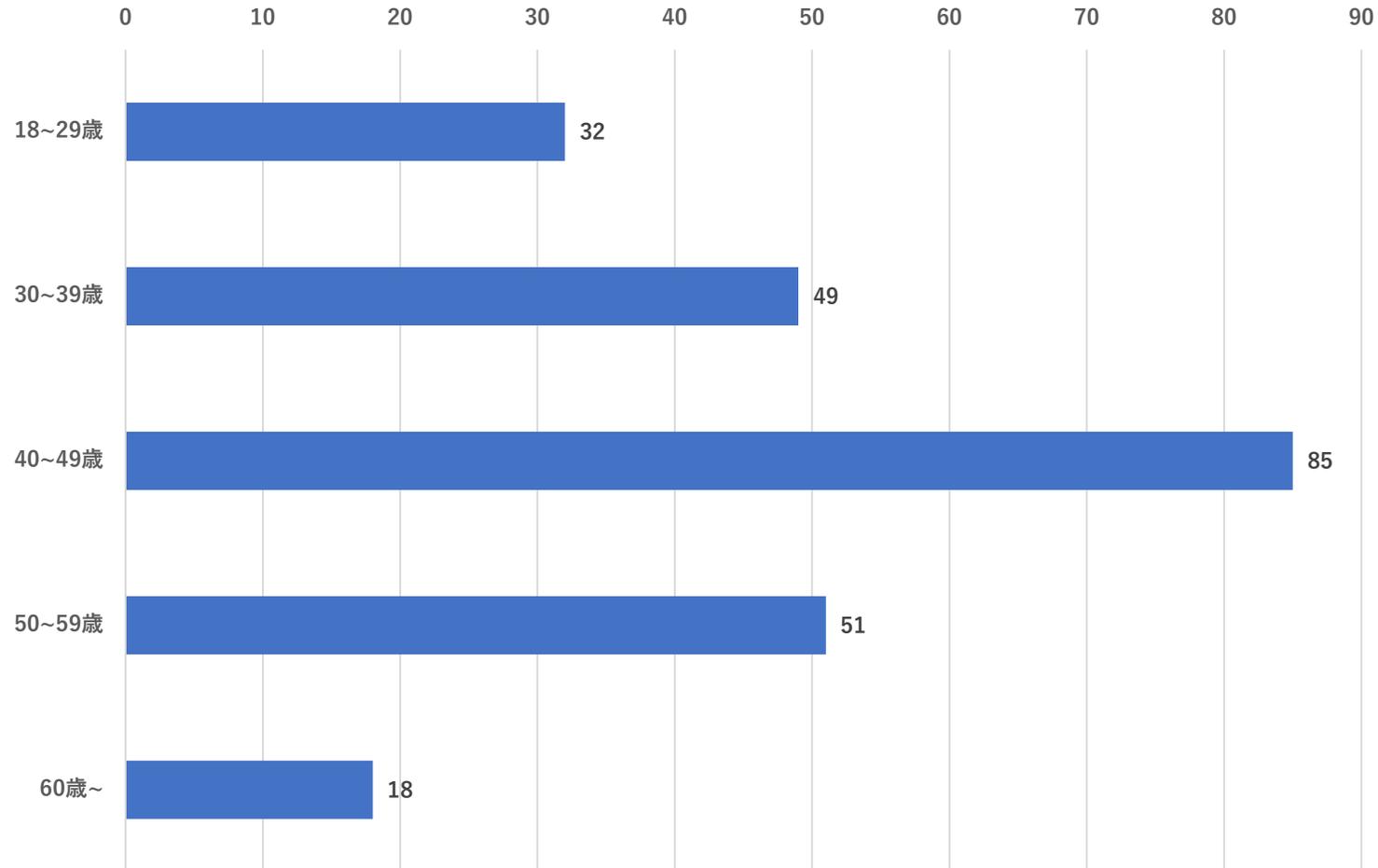
質問	回答数	回答要領
<p>【質問58】アプリの機能改善のほか、機能追加や運用方法等についてご意見・ご要望があればお聞かせください。</p>	102	自由回答
<p>「音声入力の変換機能向上」→救急用タブレットであるにもかかわらず、医療用語に変換できないことが多い。</p>		プリンターの有線接続。プリントアウトの際いつもの接続でストレスがある。
<p>「一斉要請システム」→選択したすべての病院に一斉要請できるボタンの新設。病院側からは、要請事案に対し受入可能、不可の回答がタブレット操作でできるようにする。</p>		マイナ救急についても連携を進めていただければ活動時間短縮、労務負担軽減に繋がると考える。
<p>「複数傷病者を同時に入力可能とする」→事故概要や時系列の基本情報は共有し、スワイプすれば別の傷病者データ（生年月日、負傷状況、バイタル）を即座に入力できる仕様とする。</p>		医師からのコメントや予後を入力してもらえらるなら、ある程度の期間分を一括出力できるか、集約して通知してもらえると、救急隊教育にも活用できると感じる。
<p>「マイナ保険証のデータ取り込み」→マイナカードをタブレットで読み込むことで、傷病者の受診歴、既往歴、処方情報をタブレットに取り込める仕様とする。</p>		一斉病院要請(インホス側端末の収容依頼受信アラームモード)、複数傷病者対応モード、タブレットとモバイル端末の2機セット、消防OA自動反映。
<p>AIにより入力内容から医療機関のマッチングが行われ、オンライン上で病院交渉を行うことが出来れば、現場滞在時間及び搬送時間の短縮につながり、決定的治療への到達も早まる。</p>		外傷でjptecの初期評価、全身観察の項目がほしい。例えば外傷モードなど。
<p>Apple Pencilで書き込みできるようにしてほしい。概要を入力する際、どこで改行されるかわかりにくいので、改善してほしい。</p>		基本的なことのトリセツが欲しい。
<p>CPAのみならずL&Gに該当する事案では、医療機関への第1報はMISTのみで報告できるモードを作ってもらいたい。</p>		事案番号を印刷モードでも入力できるようにしてほしい。
<p>CPAモードでmc連絡や特定行為の時間や内容を入力できるようにしていただきたい。</p>		受け入れの可否、診療可能な科目、ベッドの空き状況などがリアルタイムで確認でき共有できれば、無駄な病院交渉が減るので、応需履歴よりも有効だと思う。
<p>CPAモードで特定行為実施時間を入力できる機能があったら良いと思う。既往歴、服用薬など、入力した情報が全て印刷されるといいと思う。</p>		転院搬送での搬送元病院側から搬送救急隊タブレットへの傷病者情報の転送。
<p>1事案で複数名入力できるようにしてほしい。</p>		動画が撮れたら助かる。接触時の痙攣等動画が有効に活用できる事案は多々あると思うので医師に引き継ぐ際等動画があれば助かる。
<p>オンライン通話機能、動画の共有機能。</p>		同時要請機能、ヘリとの連携機能、リアルタイム動画共有、薬の現物撮影したら名前等入る機能、多数傷病者発生時病院受け入れ可能人数入力欄。
<p>お薬手帳のデータから見える傷病者の実疾患の可能性市民にわかりやすい名前にするべき。頭文字はわかりにくい。</p>		病院に送る情報、消防が使う情報、色を変えて欲しい。文字入力するのに、十字キーが欲しい。カーソルを合わせるのが大変。
<p>これを機会に、事務の流れを見直し、デジタル決済に移行すべし。</p>		複数病院に同時に情報共有して病院が回答をタブレットに返信する機能。

第3回 ユーザアンケート【消防機関】

質問	回答数	回答要領
<p>【質問59】次期救急搬送支援システム（広島県救急搬送支援システム）の愛称を募集しています。愛称についてご提案があれば、『愛称名』と『命名由来』を記載ください。</p>	49	自由回答
Cyugokutihiroshima Ambulance Rescue Passion 通称CARP	HI-RESONA（ハイ・レゾナ）Hiroshima Intelligent - Rescue System of Organized Network for Aid 広島県の救急搬送支援を、より高度に・迅速に・組織的に行うためのネットワークという意味。	
EMS Buddy 現場で頼れる相棒	Hiroshima emergency Medical Transport System Hi-Mets	
HEARTS(Hiroshima Emergency And Rescue Transport System)	HIROSHIMAX 広島を最大限、傷病者に優しい都市にするために！	
HEIWA Hiroshima emergency information without delay aid 広島市緊急搬送時情報支援	HQN(hiroshima.QQ.network)	
HERO（ヒーロー） Hiroshima Emergency Response Operation → 広島を守る「ヒーロー」という意味と、英語略称の両方で覚えやすく親しみやすい。	OnomichiAmbulanceServiceInformationSystem（尾道救急情報収集システム）	
HEROS（Hiroshima Emergency Rescuer Observation System）広島救急・救助者観察システム	ぐるぐるくん	
HES（Hiroshima Emergency System）	すぐ固まるクン	
HETS（Hiroshima Emergency Transport System）	タブレット119	
HETSS 広島emergency トランスポート サポートシステム	広島プレホスピタル連携システム	
HI-CORE（ハイコア） HI=Hiroshima、CORE=中核・中枢 「広島の命を守る中枢」的なニュアンス	折り鶴	
HI-MAP（ハイマップ） 命名由来：Hiroshima Medical Assistance Platformの略。位置情報・搬送支援・統計を一体的に扱うシステムの特徴を表現。	搬送お助け情報	
KURENAI（クレナイ） 命名由来：広島の代表的な色（カープの赤・紅葉の紅）と救急の緊急性を示す赤を融合。地域らしさとスピード感を強調。	平和都市なので PEACE	
H-EMS（エイチエムズ） 命名由来：Hiroshima Emergency Medical Systemの略。シンプルでわかりやすく、救急専門性を強調。	名称:救愛システム 由来:救急隊と愛護の精神にちなんで！	

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

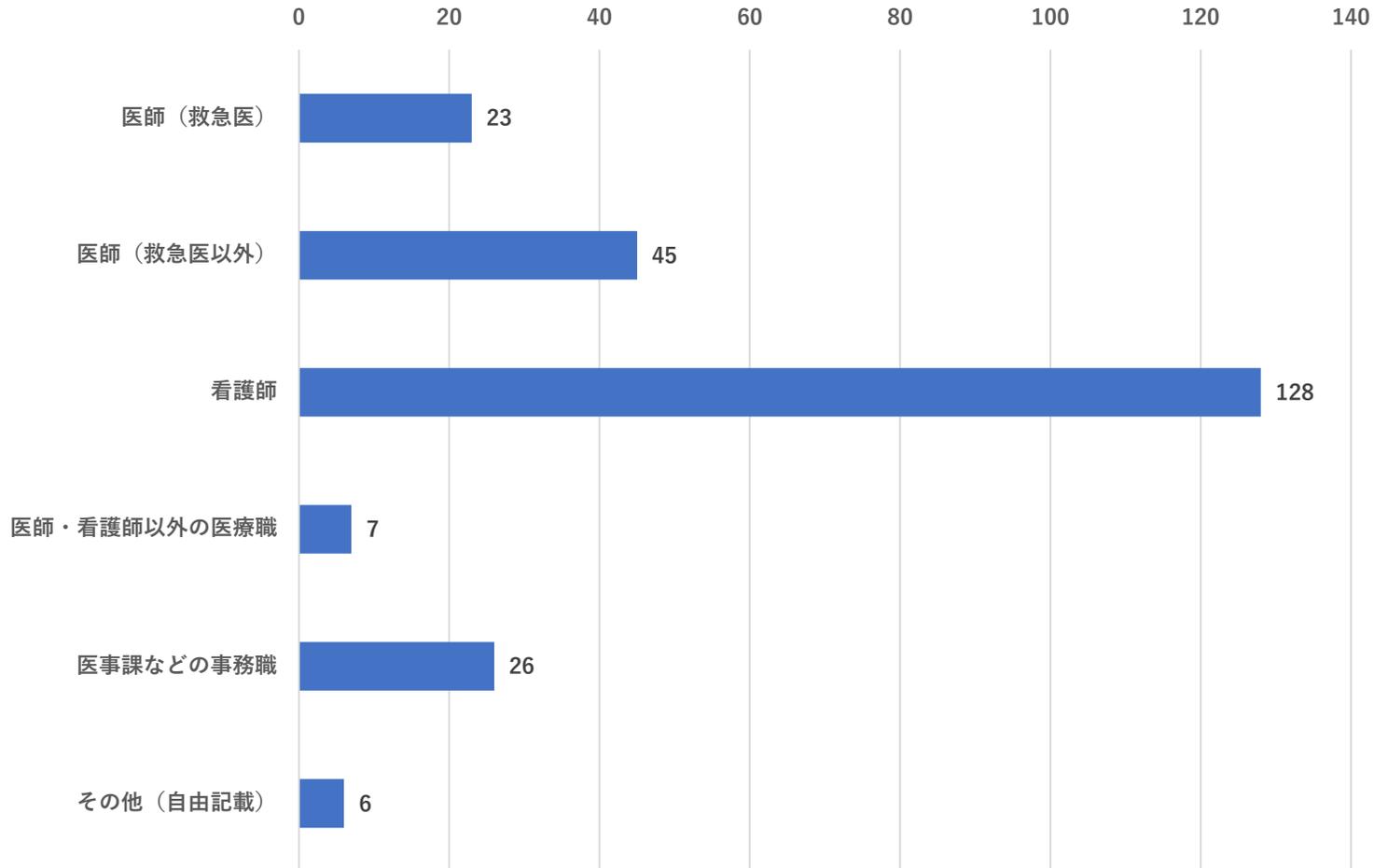
質問	回答数	回答要領
【質問1】 あなたの年齢を選んでください。	235	択一式



選択肢	回答
18~29歳	32
30~39歳	49
40~49歳	85
50~59歳	51
60歳~	18

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

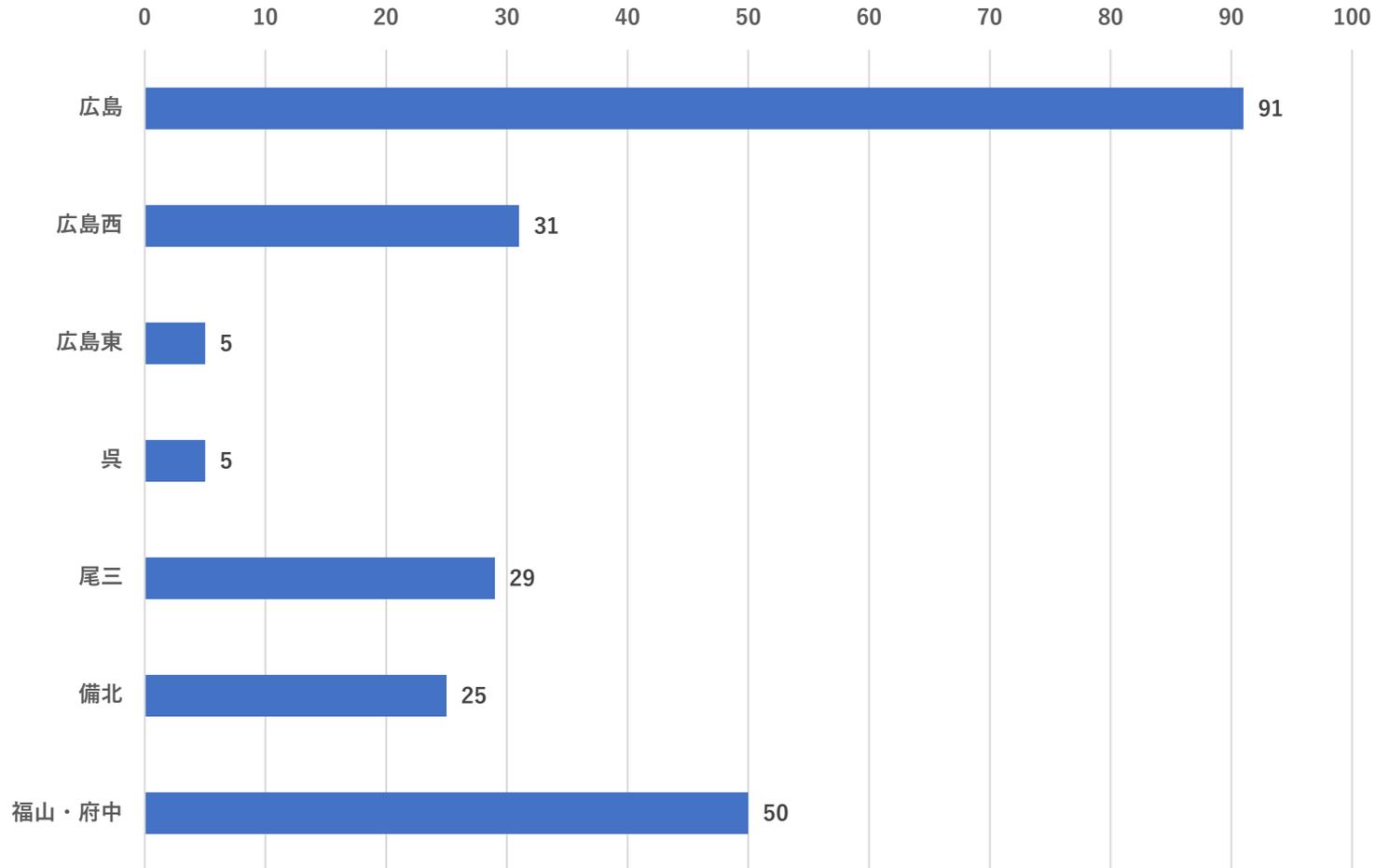
質問	回答数	回答要領
【質問2】 あなたに当てはまるものを選んでください。	235	択一式



選択肢	回答
医師（救急医）	23
医師（救急医以外）	45
看護師	128
医師・看護師以外の医療職	7
医事課などの事務職	26
その他（自由記載）	6

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問3】 あなたの所属する医療機関の圏域を選んでください。	236	択一式



選択肢	回答
広島	91
広島西	31
広島中央	5
呉	5
尾三	29
備北	25
福山・府中	50

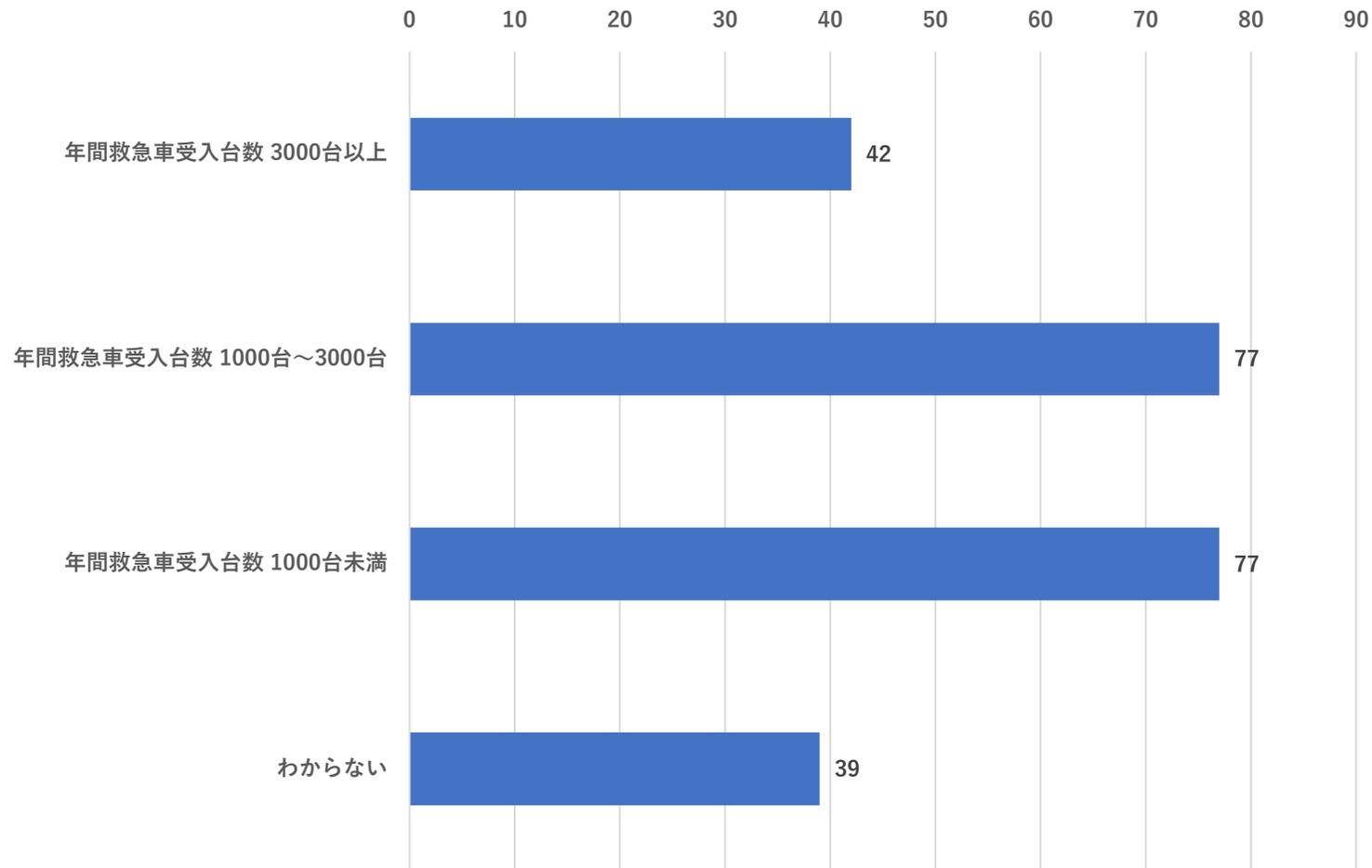
第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問4】 あなたの所属する医療機関名についてご記載ください。	142	自由回答

JA吉田総合病院	一ノ瀬病院	荒木脳神経外科	長久堂野村病院
JA広島総合病院	因島総合病院	荒木脳神経外科病院	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
うじな家庭医療クリニック	亀川病院	三原市医師会病院	日本鋼管福山病院
こころホスピタル草津	県立二葉の里病院	三原城町病院	尾道市立市民病院
こころホスピタル草津は	呉医療センター	三次中央病院	府中中央内科病院
シムラ病院	公立みつぎ総合病院	市立三次中央病院	福山市
せのがわ病院	公立世羅中央病院	寺岡整形外科病院	福山市民病院
セントラル病院	広島ハートセンター	耳鼻科	福山循環器病院
なんば医院	広島共立病院	舟入	福山南病院
ヒロシマ平松病院	広島厚生病院	舟入市民病院	北広島病院
マツダ	広島市民病院	小島病院	北部医療センター安佐市民病院
メリィホスピタル	広島市立北部医療センター安佐市民病院	庄原赤十字病院	本郷中央病院
安佐市民	広島心臓血管病院	沼隈病院	
安佐市民病院	広島西医療センター	神石高原町立病院	
医療法人せのがわ 瀬野川病院	広島赤十字・原爆病院	水永リハビリテーション病院	
医療法人せのがわ瀬野川病院	広島赤十字原爆病院	瀬野川病院	
医療法人社団啓卯会 村上記念病院	広島総合病院	村上記念病院	
医療法人叙叙会 福山第一病院	広島大学大学院 救急集中治療医学	大矢整形外科病院	
医療法人清幸会 三原城町病院	広島北部医療センター安佐市民病院	地方独立行政法人府中市病院機構 府中市民病院	
医療法人蒼生会楠本病院	荒木脳神経外	地方独立行政法人府中市病院機構 府中北市民病院	

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

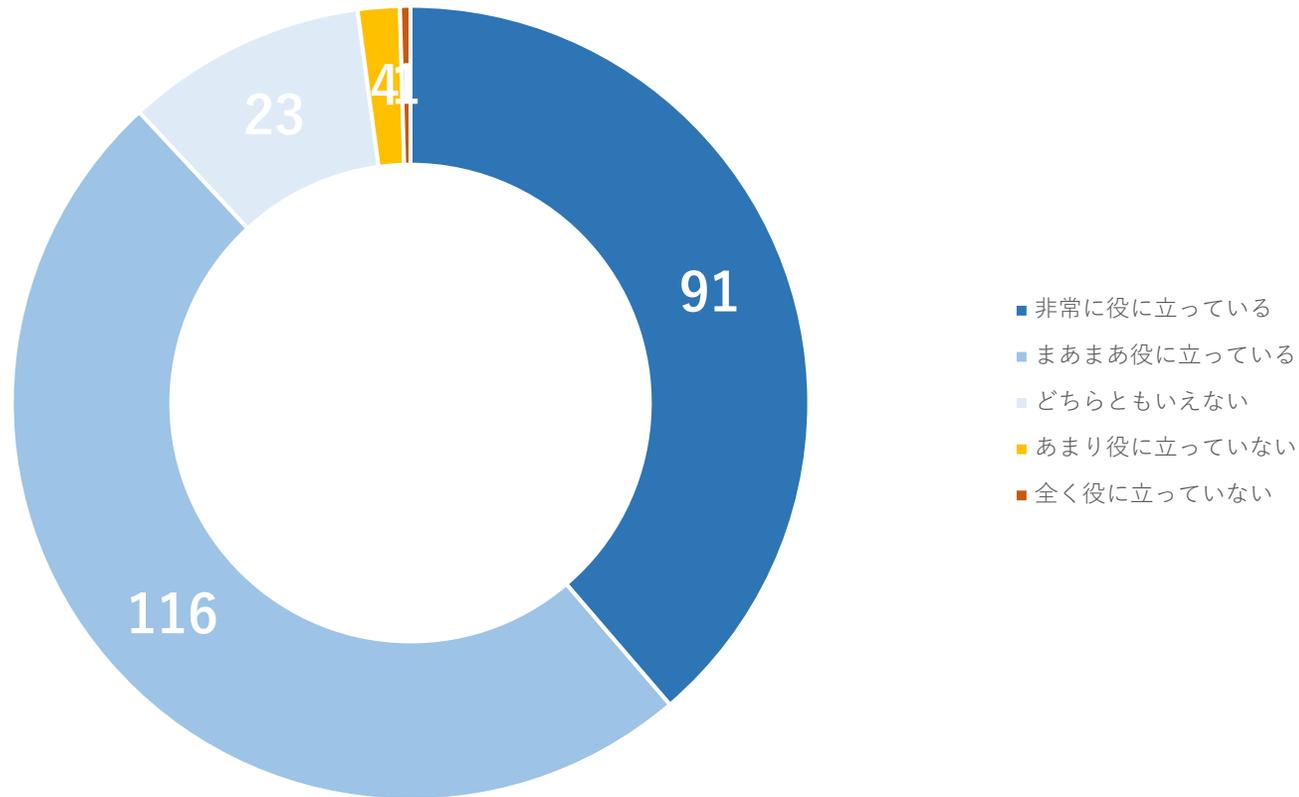
質問	回答数	回答要領
【質問5】 あなたの所属する医療機関について当てはまるものを選んでください。	235	択一式



選択肢	回答
年間救急車受入台数 3000台以上	42
年間救急車受入台数 1000台～3000台	77
年間救急車受入台数 1000台未満	77
わからない	39

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

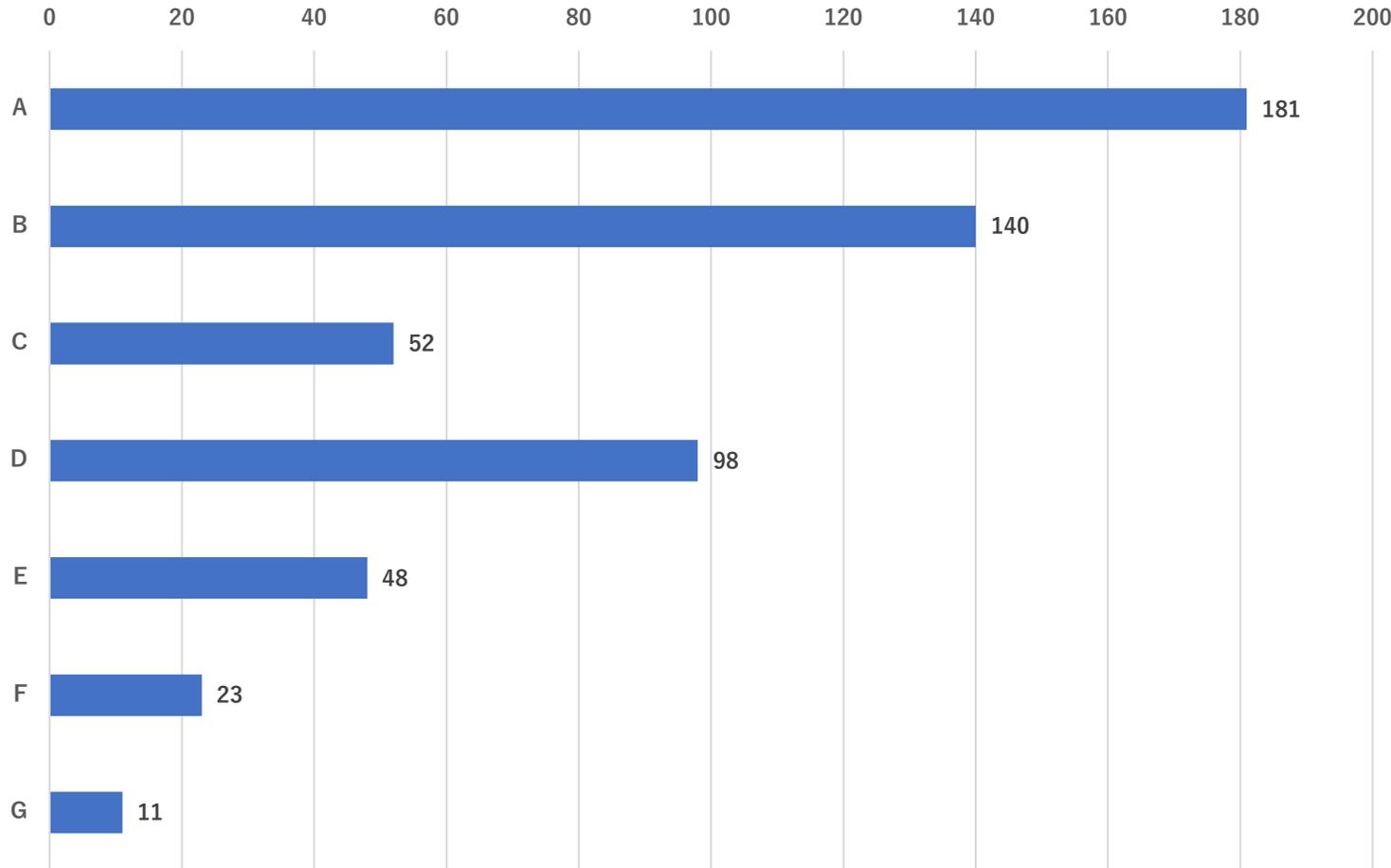
質問	回答数	回答要領
【質問6】 救急隊アプリ連携について、救急車受け入れにどの程度役立ちますか。	235	択一式



選択肢	回答
非常に役に立っている	91
まあまあ役に立っている	116
どちらともいえない	23
あまり役にたっていない	4
全く役に立っていない	1

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

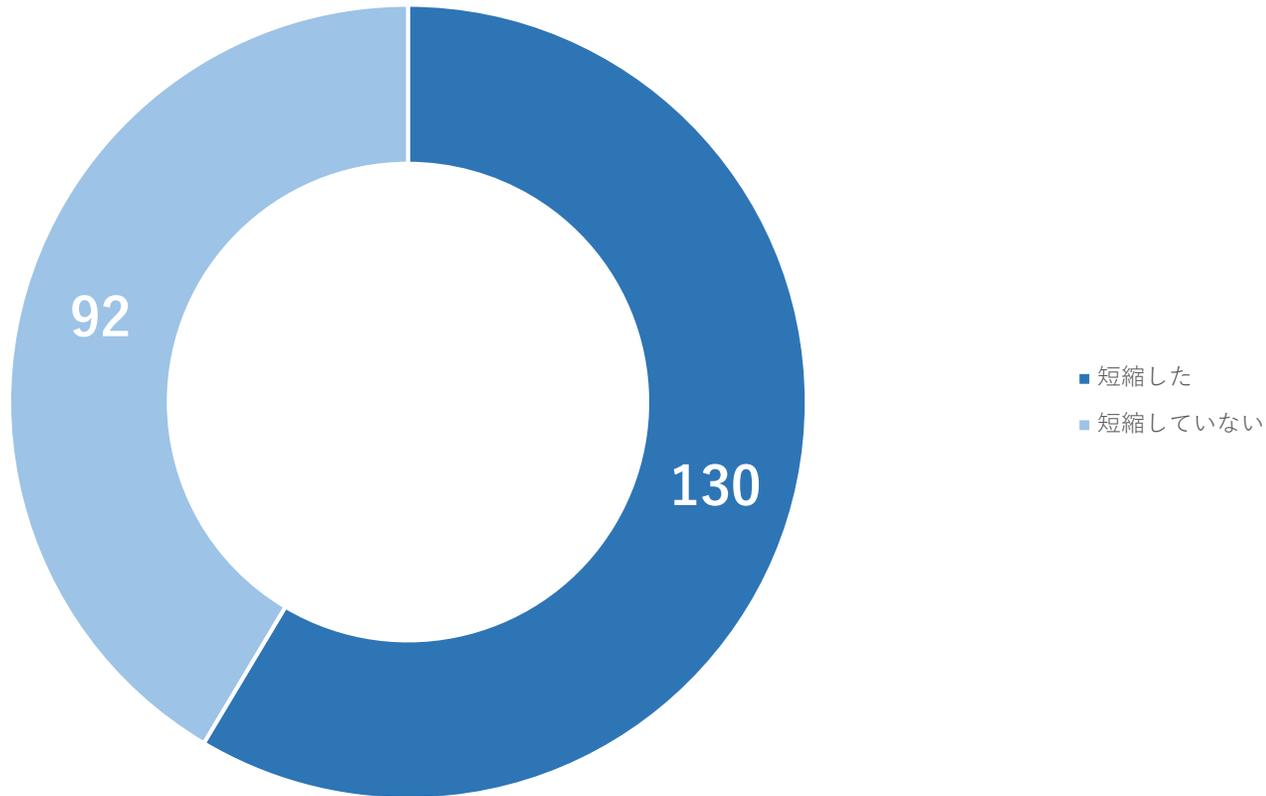
質問	回答数	回答要領
【質問7】 質問6のご回答理由についてお聞かせください。（複数回答可）	553	複数選択



選択肢	回答
A 人定情報（氏名、生年月日等）が救急車到着前に把握できるため、事前にカルテを作成し、検査等の準備ができる。	181
B 患者の症状（外傷の程度等）を視覚的に把握できるため、受入の判断が容易になった。	140
C 患者の症状（外傷の程度等）を視覚的に把握できるため、不適切な搬送が減った。（「搬送された患者が想定外に重症又は軽症であった」という事案が減った）	52
D タブレットに情報が残るため、消防との電話のメモ（人定情報、症状等）を取る必要がなくなった。	98
E 人定情報、バイタル、服薬情報等の患者情報（テキスト情報）をカルテに取り込めるため、カルテへの入力業務の負担が軽減した。	48
F LINEWORKS等のコミュニケーションアプリとの連携により、院内に一斉に情報共有が可能。	23
G その他（自由記載）	11

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

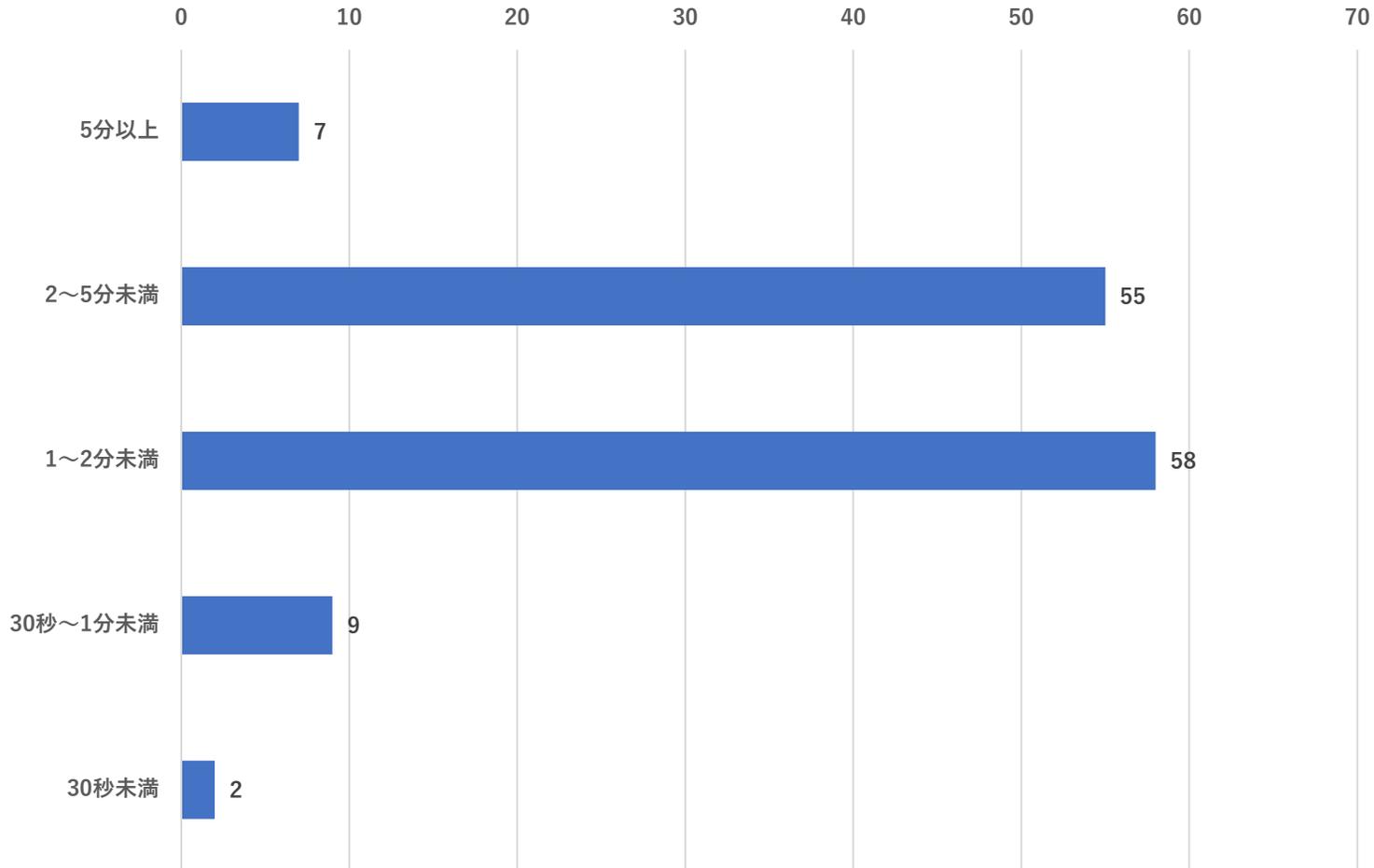
質問	回答数	回答要領
【質問8】 救急隊アプリ連携によって、救急隊との患者受入の交渉時間は短縮されましたか。	222	択一式



選択肢	回答
短縮した	130
短縮していない	92

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

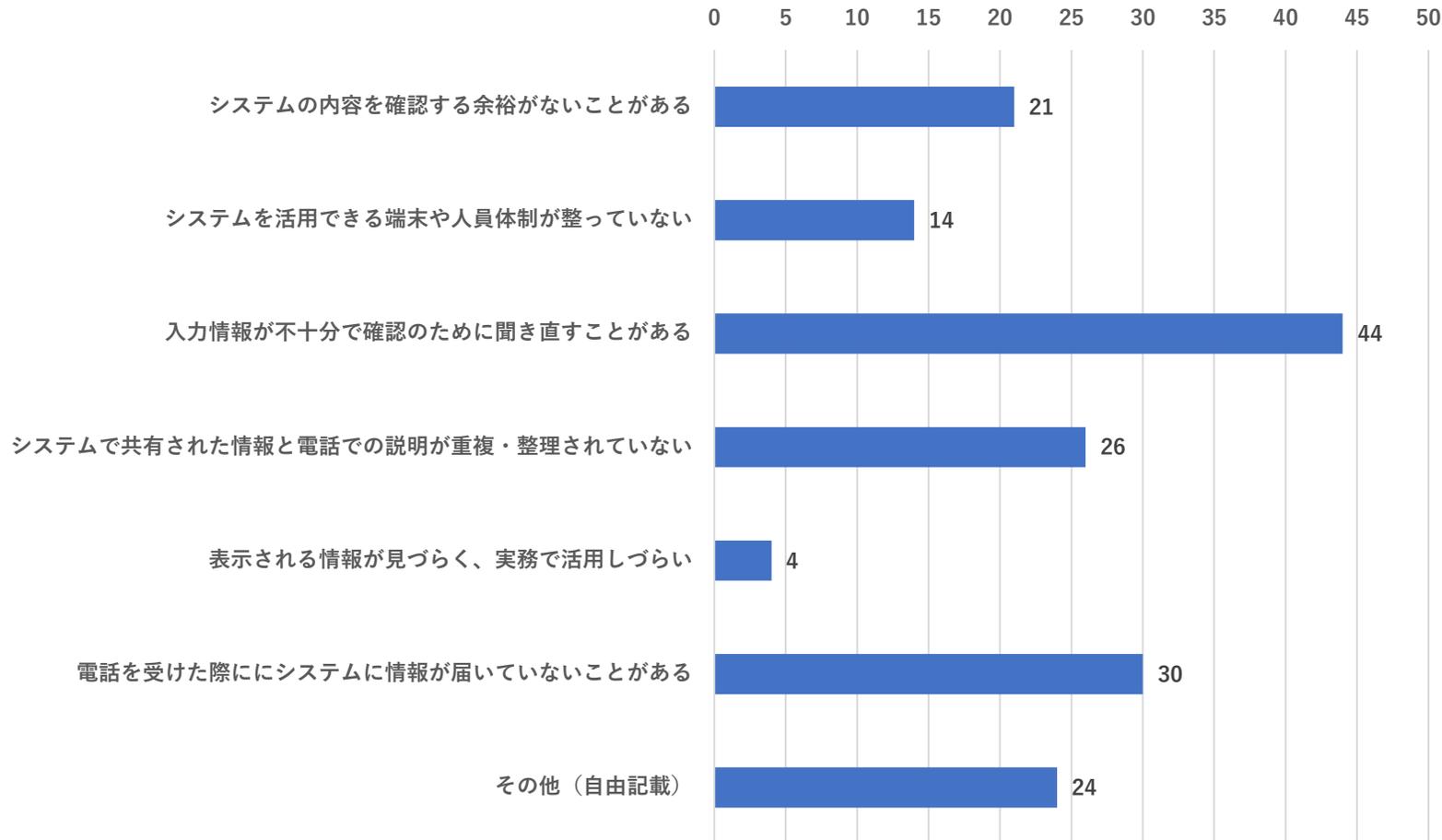
質問	回答数	回答要領
【質問9】 質問8で『短縮した』とご回答された方へ、どのくらい短縮したと感じますか。	131	択一式



選択肢	回答
5分以上	7
2~5分未満	55
1~2分未満	58
30秒~1分未満	9
30秒未満	2

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

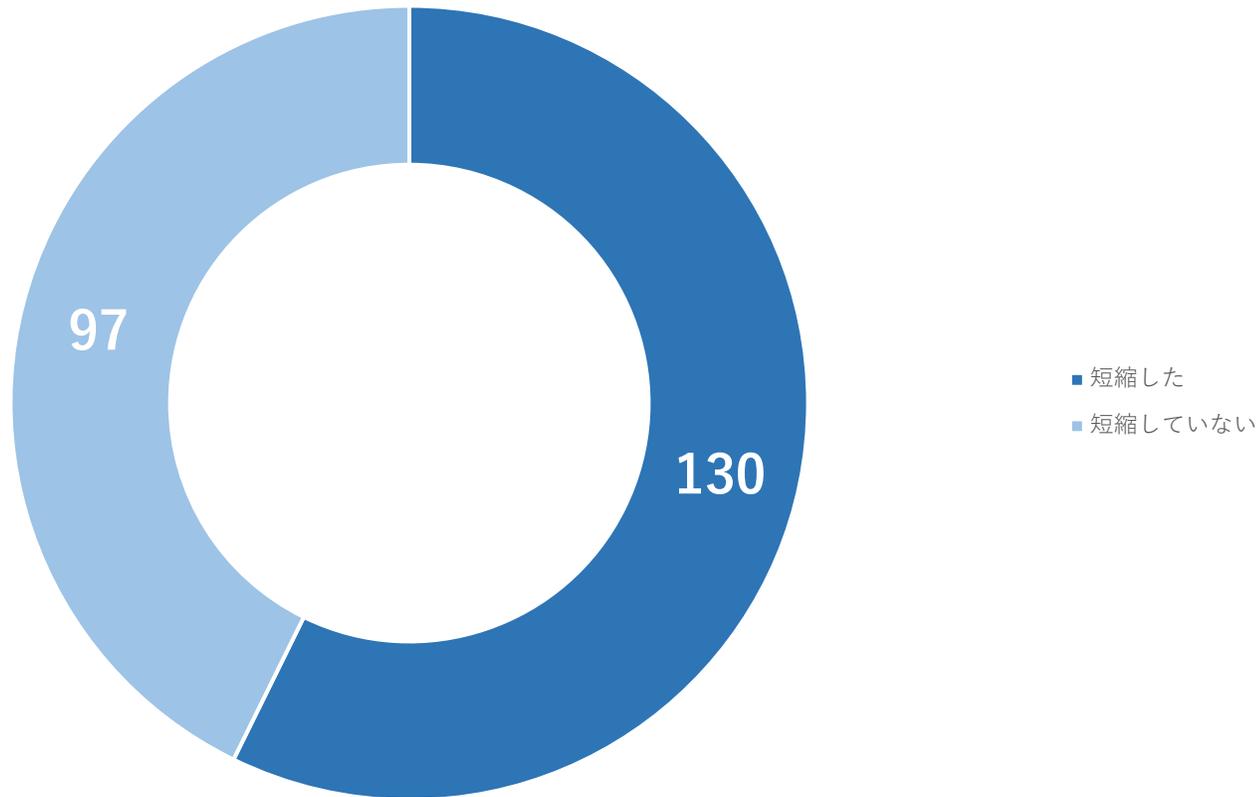
質問	回答数	回答要領
【質問10】 質問8で『短縮していない』とご回答された方へ、どの部分が影響していると感じますか。（複数回答可）	163	複数選択



選択肢	回答
システムの内容を確認する余裕がないことがある	21
システムを活用できる端末や人員体制が整っていない	14
入力情報が不十分で確認のために聞き直すことがある	44
システムで共有された情報と電話での説明が重複・整理されていない	26
表示される情報が見つらく、実務で活用しづらい	4
電話を受けた際にシステムに情報が届いていないことがある	30
その他（自由記載）	24

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

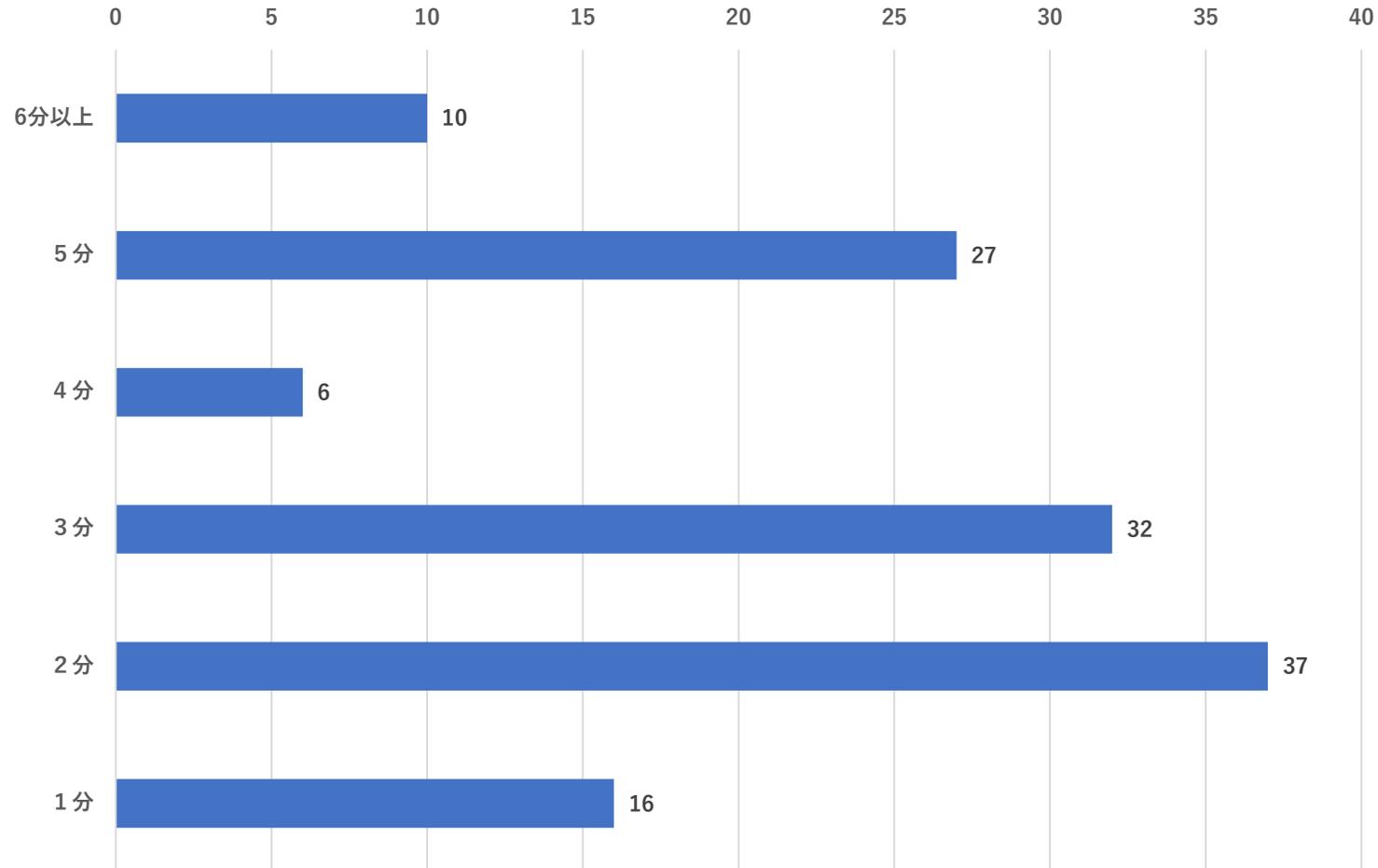
質問	回答数	回答要領
【質問11】 救急隊アプリ連携によって、救急車到着から検査、処置開始までの時間は短縮されましたか。	227	択一式



選択肢	回答
短縮した	130
短縮していない	97

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

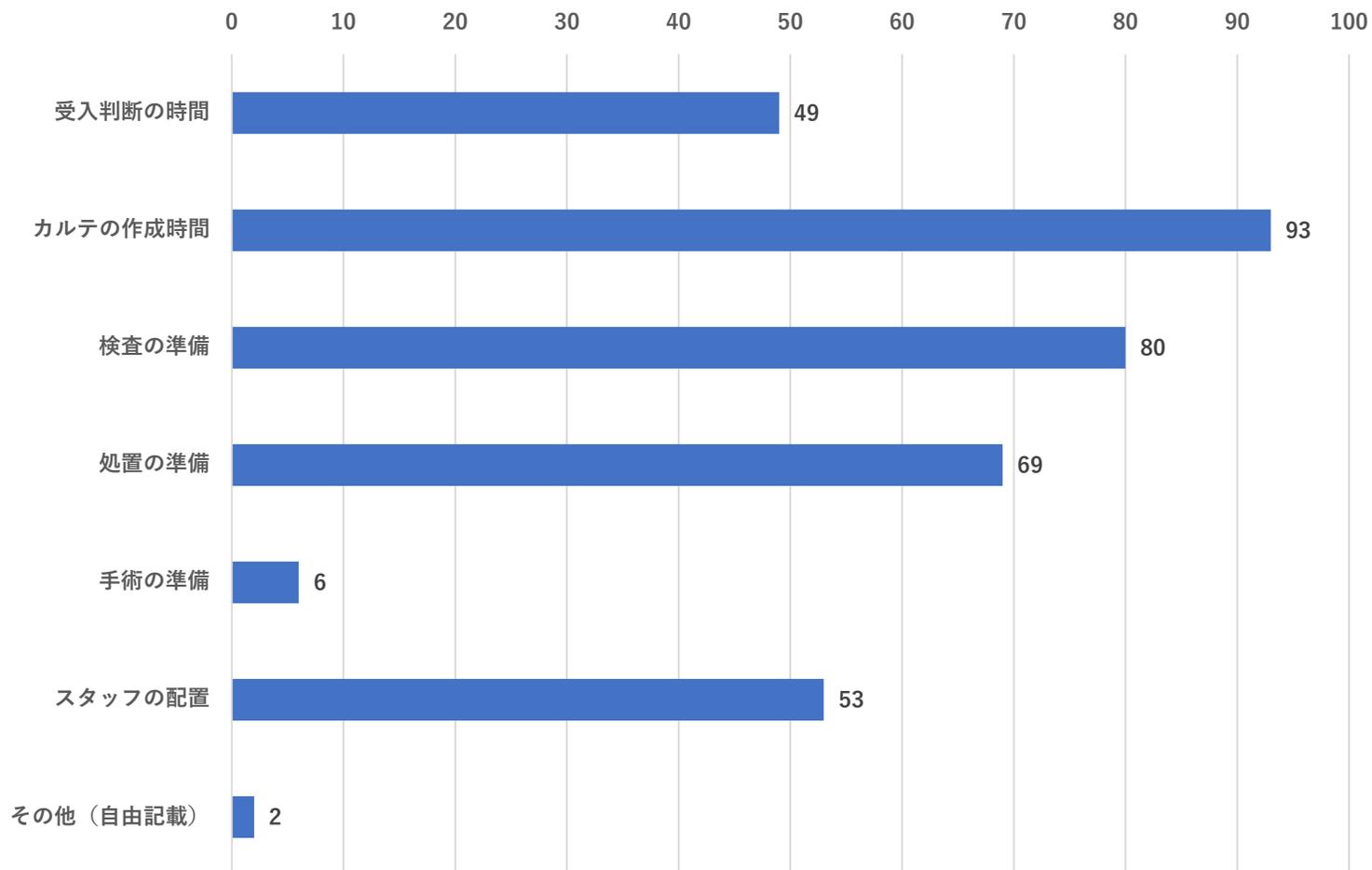
質問	回答数	回答要領
【質問12】 質問11で『短縮した』とご回答された方へ、短縮したおおよその時間を教えてください。	128	択一式



選択肢	回答
6分以上	10
5分	27
4分	6
3分	32
2分	37
1分	16

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

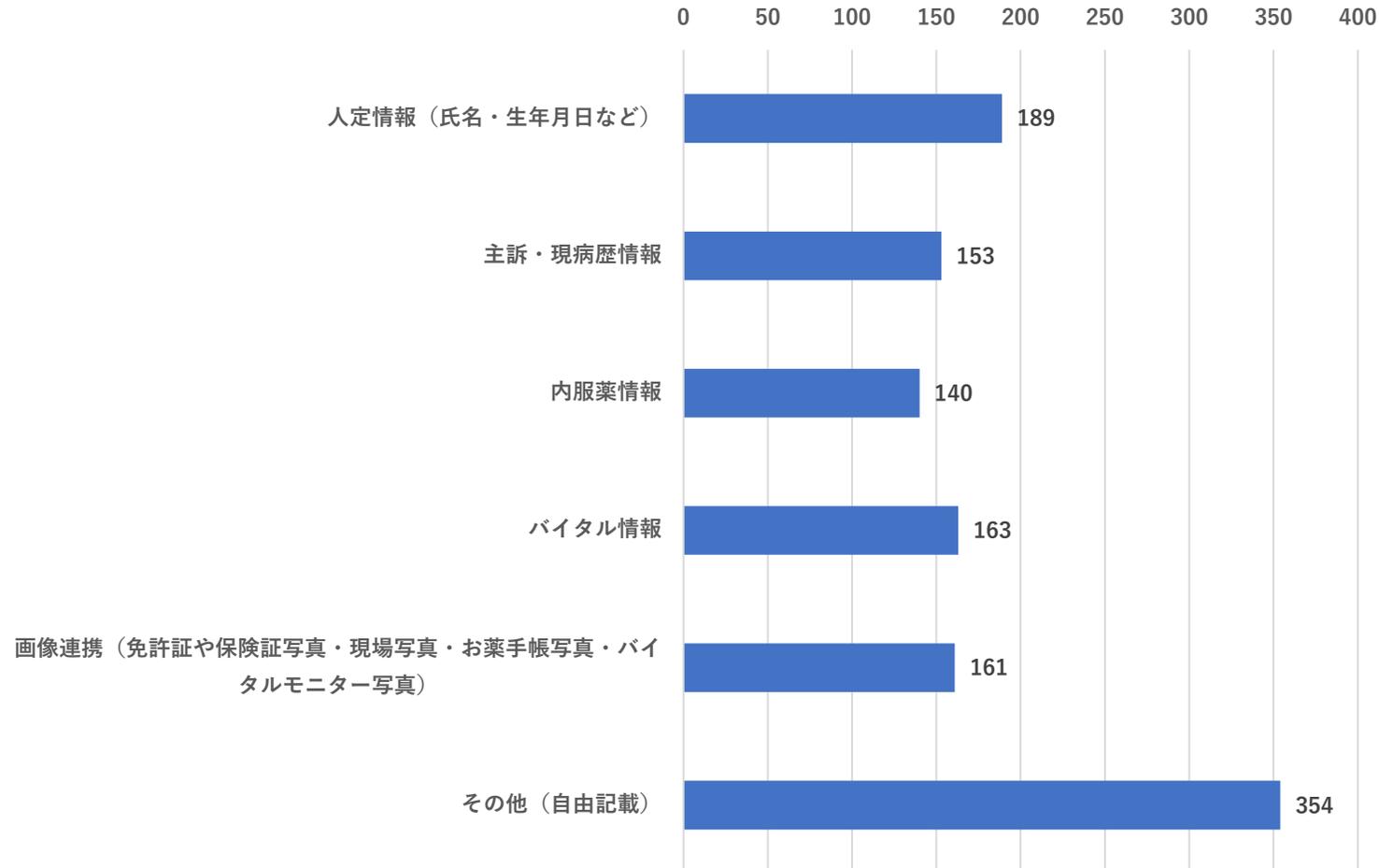
質問	回答数	回答要領
【質問13】 質問11で『短縮した』とご回答された方へ、短縮できた内容についてお聞かせください。（複数回答可）	352	複数選択



選択肢	回答
受入判断の時間	49
カルテの作成時間	93
検査の準備	80
処置の準備	69
手術の準備	6
スタッフの配置	53
その他 (自由記載)	2

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問14】 標準機能のうち、特に役に立つものを教えてください。（複数回答可）	1160	複数選択



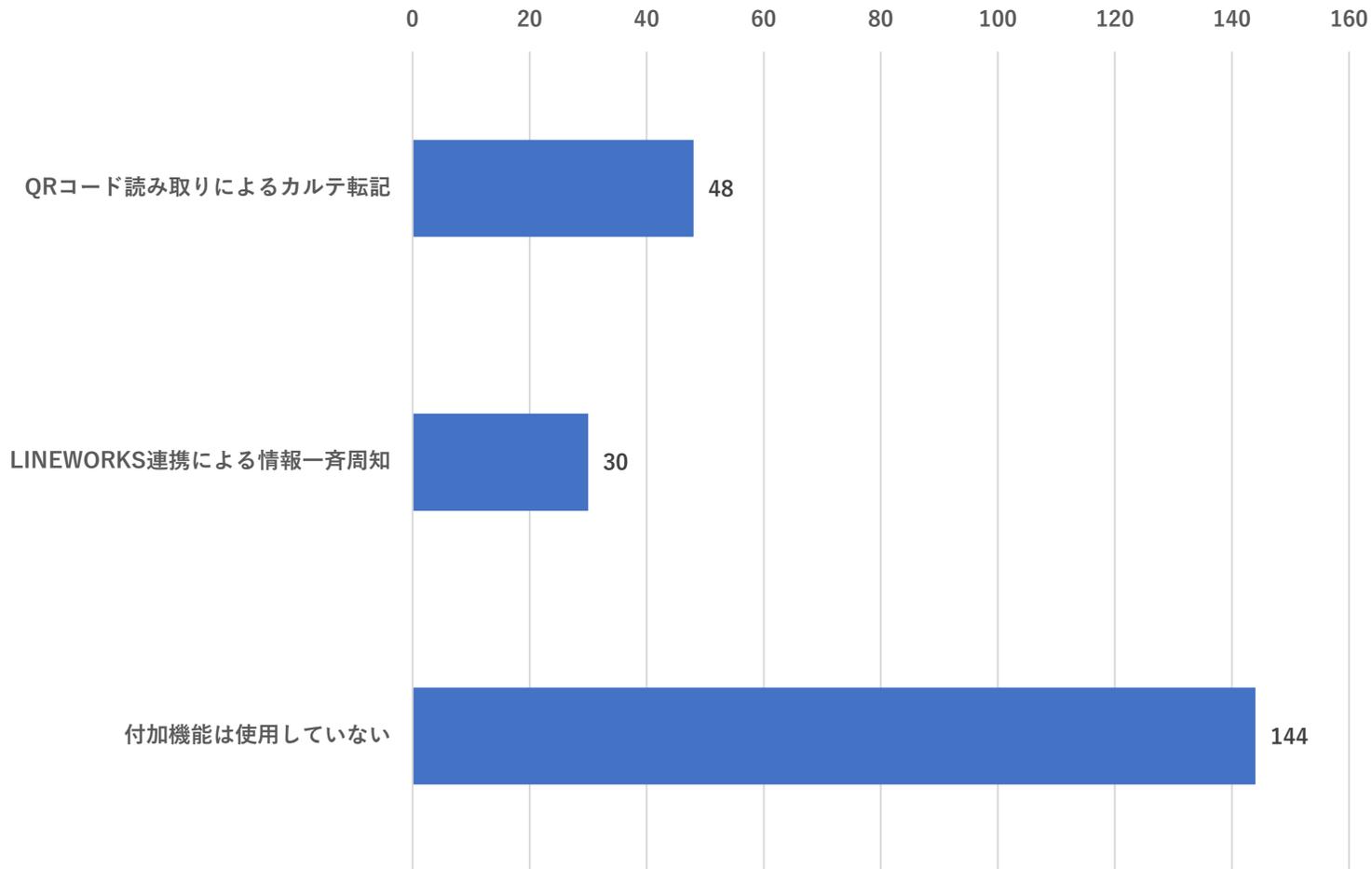
選択肢	回答
人定情報（氏名・生年月日など）	189
主訴・現病歴情報	153
内服薬情報	140
バイタル情報	163
画像連携（免許証や保険証写真・現場写真・お薬手帳写真・バイタルモニター写真）	161
その他（自由記載）	354

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問15】 質問14のご回答理由についてお聞かせください。	65	自由回答
お薬手帳はとても役に立った。		漢字や生年月日が正しく伝わる。お薬手帳があると、薬の内容や医療機関の把握ができる。
かかりつけの方の場合、これまでの経過など事前にカルテから収集できることもある。		救急車到着前にアプリの情報をもとに保険証登録、カルテ作成、処置の準備などを行うことが出来るため。
カルテに現病歴など打ち込まなくて良い。		現場の写真の情報や心電図波形は受け入れる時の準備に重要で早めの対策ができる。
データとして残るため確認しやすい。		交通事故など現場の写真が状況把握に役立つ。
バイタル、状況で色々と準備ができる。		受診歴ある場合あらかじめカルテ情報を収集し検査オーダーが可能。内服薬から既往歴、かかりつけ医が判明する。
バイタル状況で採血等のオーダーが変わってくるので重宝している。		情報はもちろんのこと、心電図などが画像として見れるため医師との情報を共有しやすい。
音声でなく視覚情報があるため。		人定情報（氏名・生年月日）の確認に、画像連携の免許証や保険証写真があると、氏名の漢字等の確認ができて、カルテ作成の際、役立っている。
家族情報や介護保険区分などの情報も助かる。		主訴・現病歴、バイタル情報は、医師や看護師に全て伝える必要がないため、連絡する際の時間短縮となっている。
画像に残り、いつでも呼び出し可、メモより読みやすく理解しやすい。		電話で確認、救急搬送後に確認する必要がなくなった。
外傷の程度や事故状況（車両破損）などが視覚的にわかるため判断しやすい。		当院での受診歴（ID）の確認ができるため。
人定情報があると事前にカルテ作成でき患者到着前にある程度医師がオーダー入力し、準備できるためすぐに患者対応できることが増えた。		入院になった場合のベッドコントロールを事前にすり合わせしやすい。認知があるからこのベッドにしようなど。
患者情報や受傷時の様子が分かり、受け入れの判断がしやすくなった。		保険証などがあれば到着前に人定→カルテ作成ができるので、事務的にはある程度有用性あり。
患者到着までに患者状態のアセスメントが可能になった。		本人確認書類や保険証番号がわかることで、患者取り違えリスク低減や受付業務円滑化のメリットがある。

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問16】 付加機能のうち、特に役に立つものを選んでください。（複数回答可）	222	複数選択



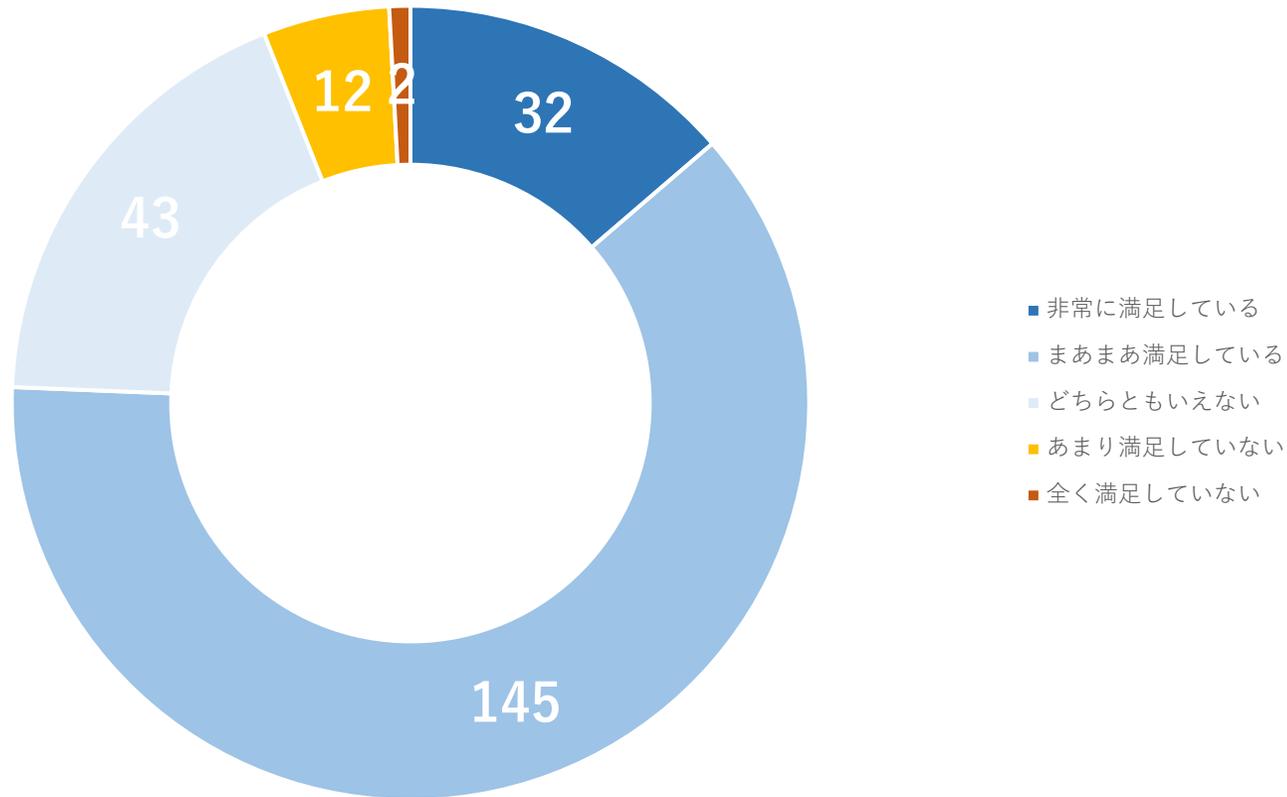
選択肢	回答
QRコード読み取りによるカルテ転記	48
LINEWORKS連携による情報一斉周知	30
付加機能は使用していない	144

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問17】 質問16のご回答理由についてお聞かせください。	40	自由回答
カルテへの入力業務の負担が軽減するため。問題点として、読み込みできないことがあったり、読み込みに時間がかかることがある。		QRコードがかなり読み込みづらい。
カルテ記載の省力化につながっている。		QRコードによるカルテ転記の方法がわからない。
カルテ転記によりスタッフとの情報共有がとれるので伝達がスムーズになった。		QRコードを上手く読み取り出来ずに時間を要することが多く使えてない。
ラインワークスを院内で共有し準備が迅速にできる。		テキストデータだけでは意味ない。現病歴などは最終的に確認できた内容をカルテにまとめるため。
医師、看護師、事務等院内で救急患者情報の周知が可能になった。		やり方がわからない。
医師により早く救急患者の情報を知ってもらえるようになったから。		電子カルテが紐つけるのに対応していない。
現在テキストデータだけと思うが、取り込みたいのは活動記録表のPDFや現場や傷の写真データが取り込めると実用性が向上する。		当院では使用できない。
手入力時間の省略。		当院では付加機能は看護師の業務に特に関係がないため使用していない。
情報の入力をしなくてよくなった。		読み取りする医師は限られている。
診察を早く始めれる。		読み取り精度が低い。薬情だけ抜き取れるようにしてほしい。
通知機能があるため。		病院到着までに現病歴が入力されていないことが半数程度ある。
必要な部署への連絡をしなくても情報共有できるようになった。		付加機能の採用がないため。なぜ採用されていないのか現場スタッフへの説明も無く不明。
別の場所においても、医師と共有できる。		利用していない。

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問18】 救急隊との情報共有機能について、満足度をお聞かせください。	234	択一式



選択肢	回答
非常に満足している	32
まあまあ満足している	145
どちらともいえない	43
あまり満足していない	12
全く満足していない	2

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

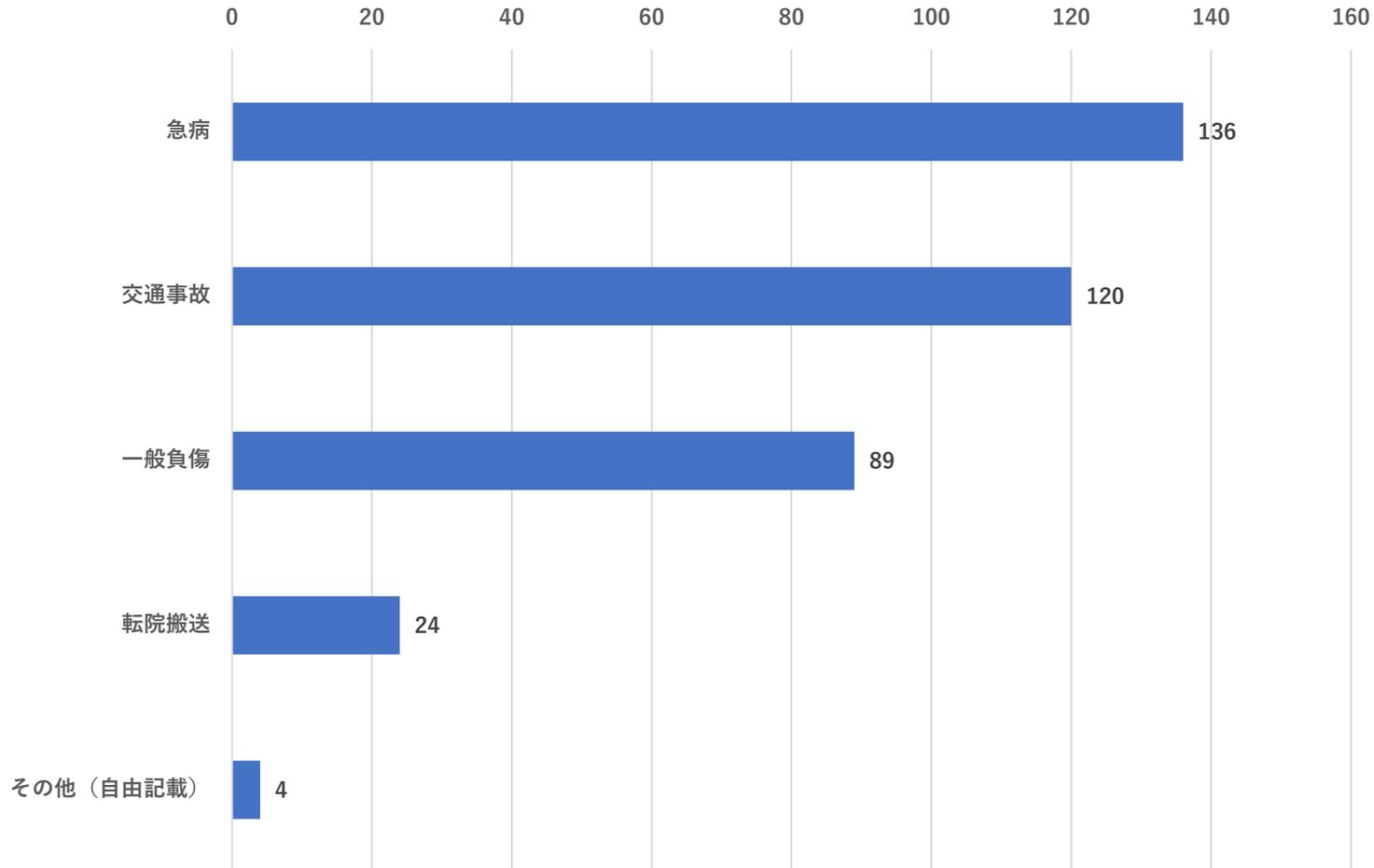
質問	回答数	回答要領
【質問19】 質問18で『非常に満足している/まあまあ満足している』とご回答された理由をお聞かせください。	62	自由回答
12誘導など視覚的な情報が増えたため、よりの確なアセスメントに繋がっていると考える。		言葉では説明しづらい創傷や心電図などの画像が即座に確認でき、それによって各診療科への第一報が早くなる症例が多々ある。
ケースによってはテレビ電話を活用したい。バイタルサインなどの情報は可視化されているので、重複を避けるような、新たなプレゼンテーションのフォーマットが求められる。		事前に患者が特定できるのは嬉しい。
トリアージの上、緊急かつ専門的な治療を要する患者搬送は原則除いて依頼されている。		受け入れの判断に医師と共有しやすいので時間短縮に繋がっているため。
バイタルサインや既往歴、内服薬が情報共有されることで、患者のベースが想像できた。		受け入れまでの判断と搬送されるまでに準備をすることが出来る。
メモを取らなくて良いので非常に楽である。		周りにいるスタッフもタブレットを一緒に見られるので、受付、（搬入時の）到着場所の決定連絡（守衛に）、医師への声かけ等役割をもって対応できる。
画像があるので、アセスメントがしやすいし、受診歴の確認などができる。		情報がすぐ入るから良い。ただ重症患者の場合ほど現場優先となりなかなか情報が送られてこないことが多い。
外傷部位の写真は処置準備の判断材料になるから良い。		心電図波形、皮膚疾患や外傷など、音声のみでは伝達に時間がかかる情報を視覚的に把握できる点でメリットがある。
概ね満足であるが伝達情報が正確でない、モニターや検査情報が不十分な事がある。		電話での救急隊からの情報取得が円滑になるため。
患者の身体的情報の共有がスムーズ。		電話より情報伝達が速い。不足分を質問するだけでよい。転院の場合、氏名確認のみで済む。
基本的には満足している。せっかく撮っていただいた画像をカルテに入れることができないのが残念なのでまあまあ満足にしました。		到着前の患者情報を把握しやすい。
救急隊と意思疎通しやすい。		入電時に情報共有しやすいから。
救急隊を病着後早く解放できるようになった。		満足しているが、搬送されなかった情報が直ちに全て消える点が「まあまあ」。
繰り返し聞く回数も減り、また救急外来看護師への情報共有も楽になった。		名前生年月日がわかるのは便利だが、時々違うこともある。

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
<p>【質問20】 質問18で『どちらともいえない/あまり満足していない/全く満足していない』とご回答された理由をお聞かせください。</p>	25	自由回答
重複する情報を何度も送ってこなくていい。		
血圧だけ測ったモニターは有効な情報にならない。		
心電図電極を正しく貼ってその時の正しい波形を送ってほしい(過去にST変化があるようなモニター波形を事前情報として送信してきたが、到着後の心電図は正常だったことがある)。		
脳疾患と心臓疾患の可能性をAIで分析したデータ送付をされたことがあったが、脳疾患8割で循環器単科病院に連絡する理由がわからない。		
ケースバイケース対応できない(宿直医対応困難多々あり)これは明らかに脳外科関連でもかかりつけ医療機関、近い医療機関を優先して電話してこられる。		
タブレットで情報共有できるが、結果口頭で情報共有している。		
タブレットにある情報だけで受入れ判断は出来ないが、視覚的に情報を貰えるのはやはり助かる。		
ログインする際のパスワード等が複雑であること。		
泣いて血圧測定出来ていなくてもそのままだったりすることが満足出来ていない。		
緊急要請した理由がわからないことがあるため。症状、状態をもっとわかればとても助かる。		
結局同じ様に申し送りを聞くため。患者との情報の食い違いもこれまで通り。		
現病歴の情報が曖昧で、受け入れたが転院になることがある。		
氏名と生年月日のみの時がある。		
		事前に使えるような機会が少ない。
		受け入れ時間の短縮に有用とは思えない。
		常にタブレットを持って仕事をしていない。病棟勤務なので、入院患者の対応中の場合はタブレットを見ながらは出来ない。
		情報が記入されていないことが多く、十分な活用に至っていない。記載してあるととても助かる。
		情報が反映されていないことが多くある。
		情報共有機能を使用したことがない。
		端末のスペックが低い。
		追加情報を送られてきた場合、常にタブレットを確認しているわけではないので、分からない。その追加情報が受け入れ許可した後に送られてくる場合だと、聞いた状況と違う場合もあり特に困る。
		当院ではhot lineを設置しており、hot line(救急隊から医療者への直接電話)で現在のところは充分である。
		特に現場が近いと入力の後になる場合がある。
		発症機転や症状など必要な情報を聴取せず電話をしってくる。
		病院内のネットワークが良くないのか、バイタルが飛んでこないこともあり、口頭で全て聞くことが多々ある。情報が全て閲覧できる時はとてもスムーズである。
		保険証ではなく免許証の写真が入ってくるが、病院的にはあまり意味がない。仕方ないことだがマイナも写真では情報が拾えない。

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

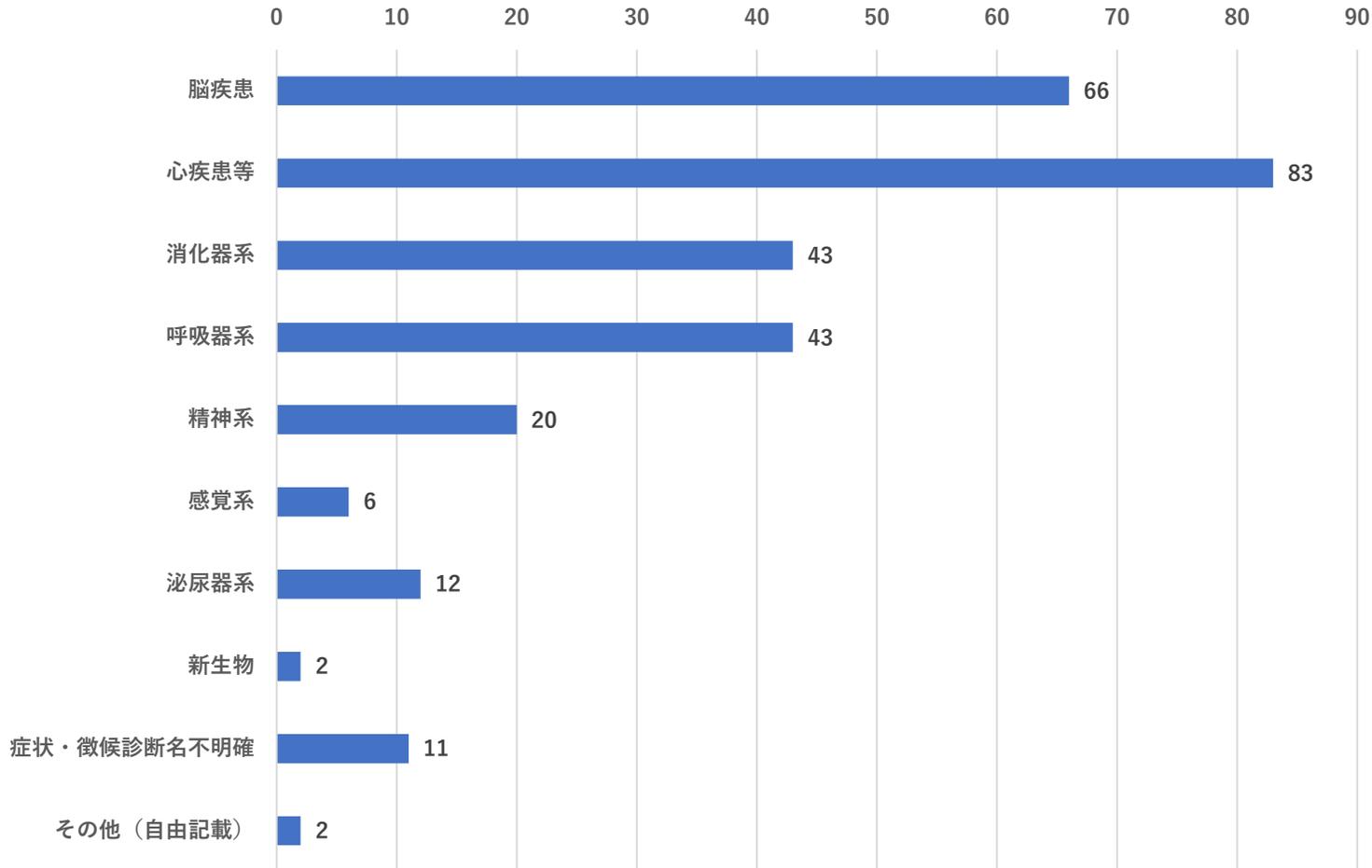
質問	回答数	回答要領
【質問21】 どのような症例（事故種別）で有効に利用できましたか。（複数回答可）	373	複数選択



選択肢	回答
急病	136
交通事故	120
一般負傷	89
転院搬送	24
その他（自由記載）	4

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

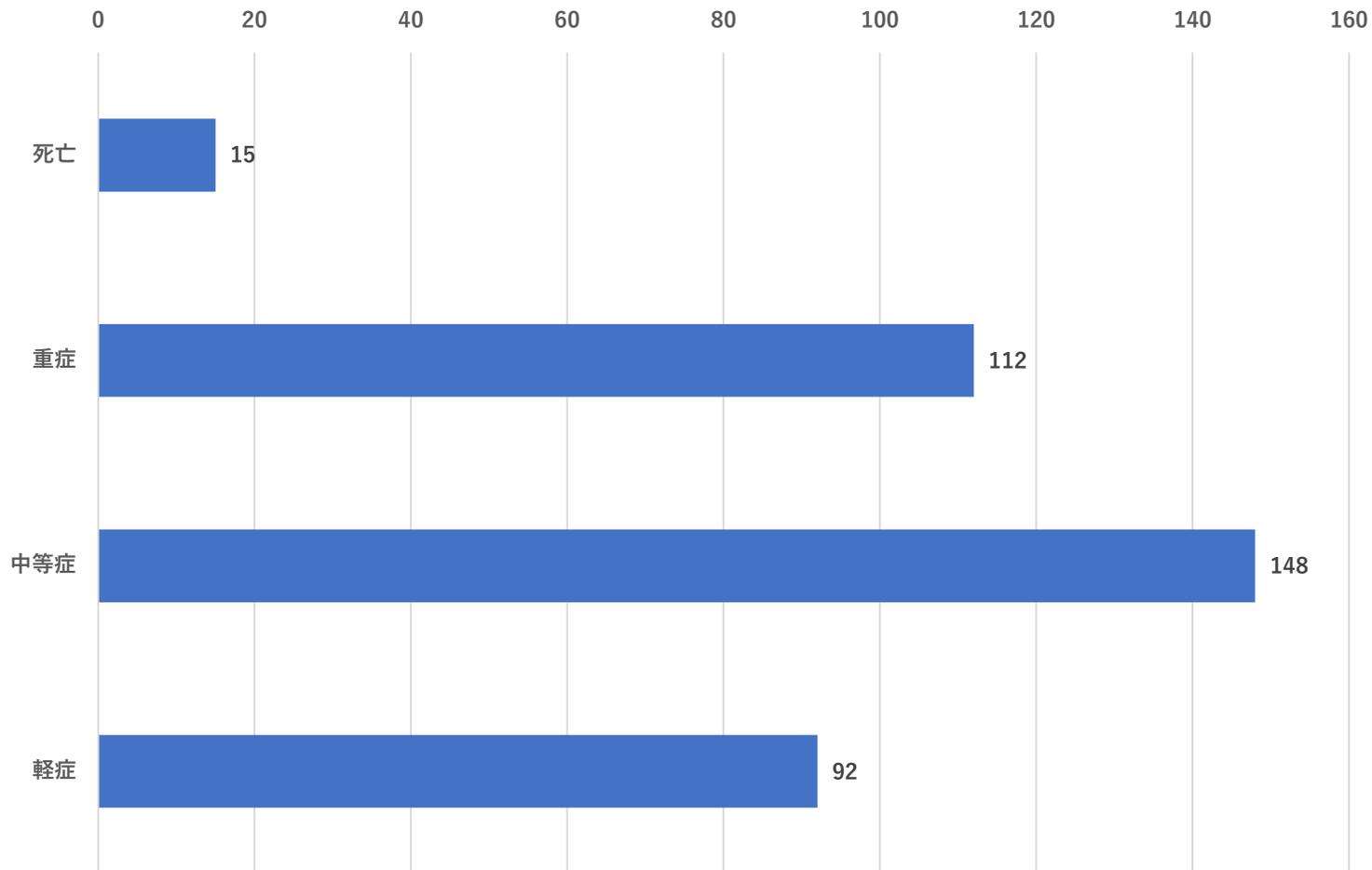
質問	回答数	回答要領
【質問22】 質問22で『急病』とご回答された方へ、当てはまるものを選んでください。（複数回答可）	288	複数選択



選択肢	回答
脳疾患	66
心疾患等	83
消化器系	43
呼吸器系	43
精神系	20
感覚系	6
泌尿器系	12
新生物	2
症状・徴候診断名不明確	11
その他（自由記載）	2

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問23】 どのような傷病程度で有効に利用できましたか。（複数回答可）	367	複数選択



選択肢	回答
死亡	15
重症	112
中等症	148
軽症	92

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

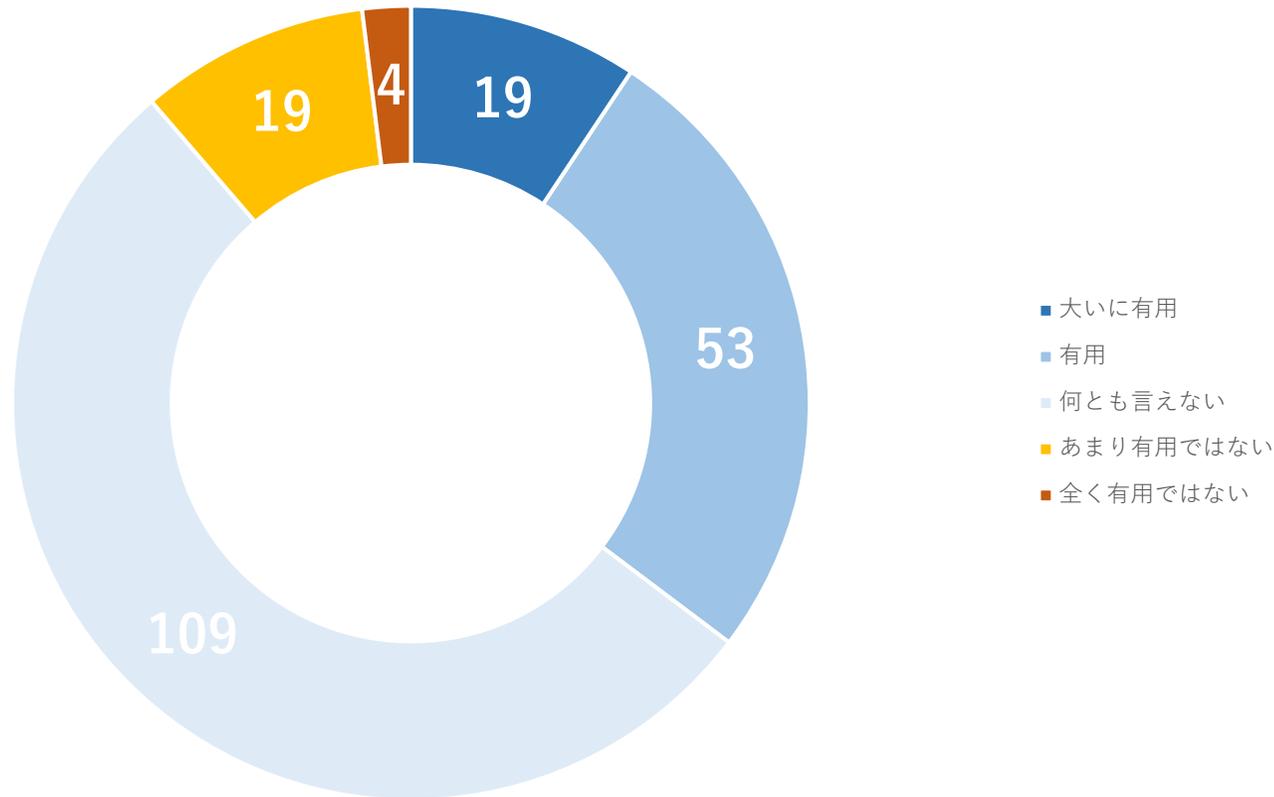
質問	回答数	回答要領
【質問24】 どのような症例に有効だと思いますか。理由と併せてお聞かせください。	52	自由回答
12誘導ではST変化や不整脈の様子が分かり、迅速に多職種と連携をとることに繋がると考える。		検査や処置が発生するような場合の程度の判断が必要な症例。
12誘導の波形を医師が閲覧できる。		交通外傷：事故の状況がわかるため。
CPA時、重症時、軽傷等、病床の準備もあるため。		高エネルギー外傷：程度がわかるため。
お薬手帳など、慢性疾患管理をされている方の事前情報が得られる。 qSOFAスコアの一助。意識レベルはないため口頭で確認している。		交通事故などで複数傷病者・多数傷病者が生じた場合に優先順位を把握しやすい。
きちんと情報入力がされていれば、重症患者の対応について事前準備ができる。		交通事故の程度（車の壊れ方）・受傷した四肢の様子（曲がっている・出血の程度）などが視覚情報でわかりやすいので、外傷で役に立つと思う。
一般的でない症候の際に全体像が把握できる。		事故などの現場の写真、車損の程度の把握、外傷の状況など。
外傷、ACS疑いでは負傷部位や心電図が見れるのが助かる。		受け入れの相談中、リストカットした傷が深いのがわかって、縫合出来るところへ先に搬送してもらった。
外傷、開放性骨折。		重症度や緊急性の低い症例。
外傷の時に受傷部位の写真があると、ナートの準備が必要かどうかを判断することができる。		心筋梗塞や外傷。
外傷の写真や心電図異常のあるケースなど画像転送が有用な症例。		心電図、外傷、軟部組織感染症。
急性心筋梗塞、大動脈解離、重症心不全、重症呼吸不全。		創傷の写真が見れるのは重要と感じた。
急性心筋梗塞などの心電図情報から早期の対応が可能。		大動脈解離、心筋梗塞症例など。
虚血性心疾患は送られた心電図画像を循環器内科にも共有して、処置の準備までの時間を短縮できている。		脳血管障害を疑う症例の鑑別。

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問25】 救急隊アプリが有効に利用できた具体的な事例があればお聞かせください。	34	自由回答
CPA。 アナフィラキシーの画像。 バイタルサインの情報や頭痛・嘔気の有無などの入力があることで、到着後にCT撮影、MRI撮影どちらを優先すればいいのかを判断できた。 まさに心筋梗塞の場合カテ室の準備やスタッフ招集が迅速となる。 画像を元に事前に準備できる。 外傷：腱が切れているか否かの判断が必要な時、タブレットの写真で事前に担当開始に依頼ができた。 顔面外傷を画像で確認できるので、対応困難な場合は早く断れる。 救急車が来院するまでにアプリの情報からカルテ入力できたこと。 現時点での心房細動の有無を確認できる。 骨折の疑いであればシーネ等の準備。状態に応じて事前に検査、レントゲン技術の呼び出しに活用。 事故状況の写真などで、衝撃の大きさが推定可能になった。 事務方が氏名の漢字や生年月日の把握するのに有効であった。 自傷行為の創部の写真があり、創部の大きさや深さが事前に分かり、受け入れの判断や準備が可能になった。	フォーカスを定めて診療を進められる。 写真による負傷部位の確認ができることによって、受け入れを判断できた。 重症に心不全患者の症例で、呼吸器の準備ができたため、病院到着後すぐに患者に装着でき症状緩和までの時間が早かった。 症状で血栓回収疑いにて準備ができる。 心筋梗塞時の波形確認による判断。 心電図で波形を確認し、ST変化があるかないかで、準備を考えている。ST変化があるときはすぐにカテだしできるようにスタッフと物品の準備をすることができている。 他自治体例と同じで、虚血性心疾患の診療は大幅に短縮していると思う。 大きな外傷症例時、当院での受け入れ可能な症例かのドクター判断。 転落外傷で救急隊が処置に困り画像による処置方法を要請してきた。 内服中の薬剤の情報があり、薬剤性でないかどうかを事前に考慮できた／心電図から心筋梗塞と診断できた／誤飲した洗剤や薬剤の商品名・商標を事前に調査できた。 搬送前から骨折疑いが写真で分かるので、病棟の入院準備が早くできた。 病状に応じた、検査のオーダーができる 処置の準備ができる。 変形や創部の状況が画像で分かれば、処置の準備が着々とすすむ。	

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問26】 CPA事案の傷病者情報送信は有用でしょうか。	204	択一式



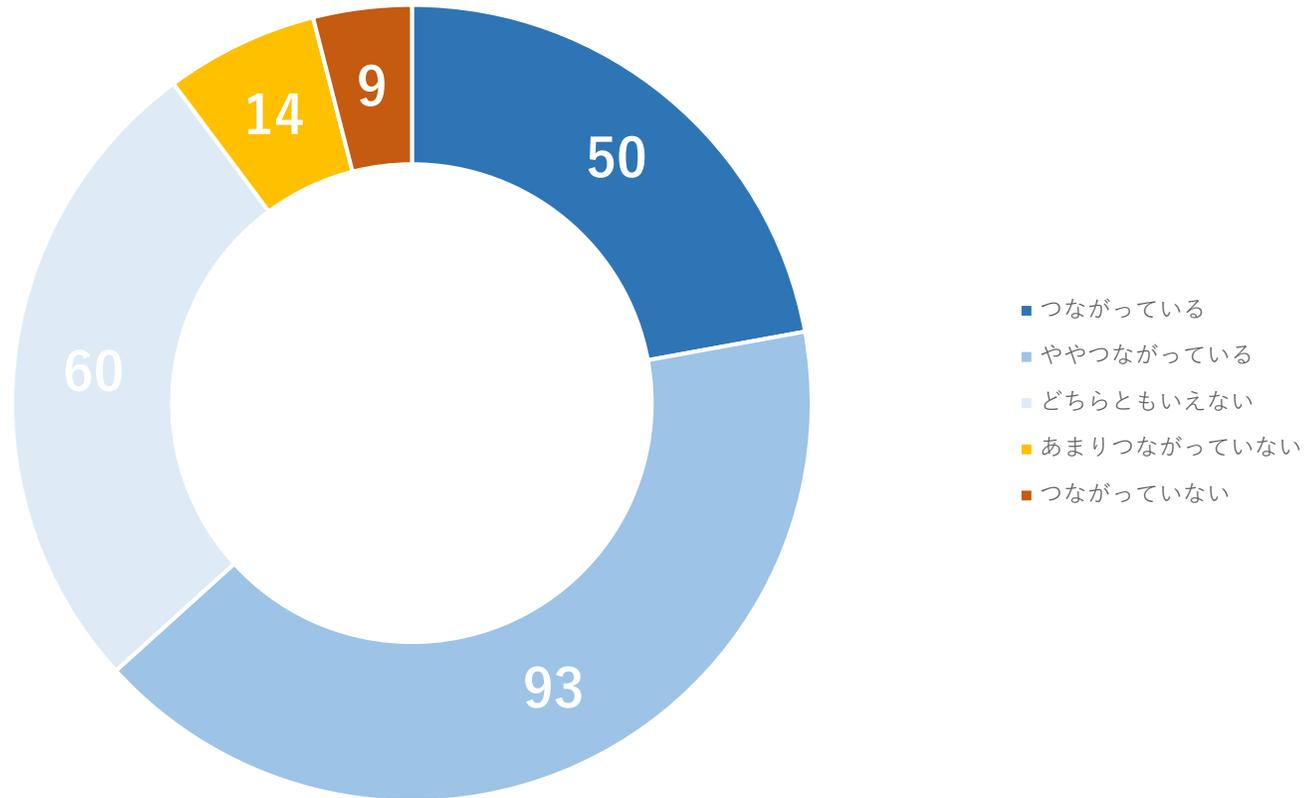
選択肢	回答
大いに有用	19
有用	53
何とも言えない	109
あまり有用ではない	19
全く有用ではない	4

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問27】 質問26を選ばれた理由をご記載いただけますでしょうか？	71	自由回答
CPA患者の情報を送るのは大変だと思うから、人定情報があれば十分。		
CPA症例は電話連絡の方が早い。有用なのは、あとで救急隊の活動などを確認することができること。		
きちんと情報入力がされていれば、事前準備（人・物）ができる。		
電話で聞くより記録に残るため正確で複数の職員が確認できる。		
どこまで処置ができていくかわかる。		
患者情報を早く把握できるから。		
経過などが画面で他スタッフにも共有しやすい。		
ECPRの適応になりそうな症例で、患者の体格や服装などの写真があると初療がしやすい反面、そこに時間をかけて欲しくないというジレンマがある。		
氏名生年月日がわかるためカルテ作成ができる。		
2ndコールや、中等症以下のコールにおいてはメリットが大きいと感じている。		
詳細は口頭で良いが、保険証の写真を送って下されるとカルテの確認や指示入力ができるため、有用であると考えている。		
点滴ルート、人工呼吸、薬剤の準備、人員確保ができる。		
電話の前にCPA情報が送られると受け入れ体制がスムーズにできる。		
		3次救急を受けていない。
		CPAだと救急隊も忙しいのか、タブレットに情報入力されていないことが多い。
		CPAの場合、ホットラインで来ることがほとんどなので、あまり活用できていないかも。
		CPAは何も確認できないまま搬送されてくることが多い。
		CPAを受けていない。
		やる事は変わらないから。原因も以前のカルテを見た方が有用。
		確認している時間がない。
		救急隊が打ち込むのに時間を要し、出発までに時間がかかっている。
		口頭で足りる。
		最低限必要な情報は短い電話の中でやり取りしているため、あえて文字にする必要性は感じません。人定は聞き取りにくいので、文字化してもらえると助かる。
		重要な情報(発症時刻、CPR開始時刻、初期波形、など)が欠落しやすく、最重症例の1stコール時点では利用困難と感じている。
		超年配者に必要性を感じない場合がある。（余計に苦痛にご本人は感じないかと）
		すくなくとも 人定情報/初期波形 のみでもよい。あとは搬送中に、多少でも家族情報や既往などを入力できればよい。

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

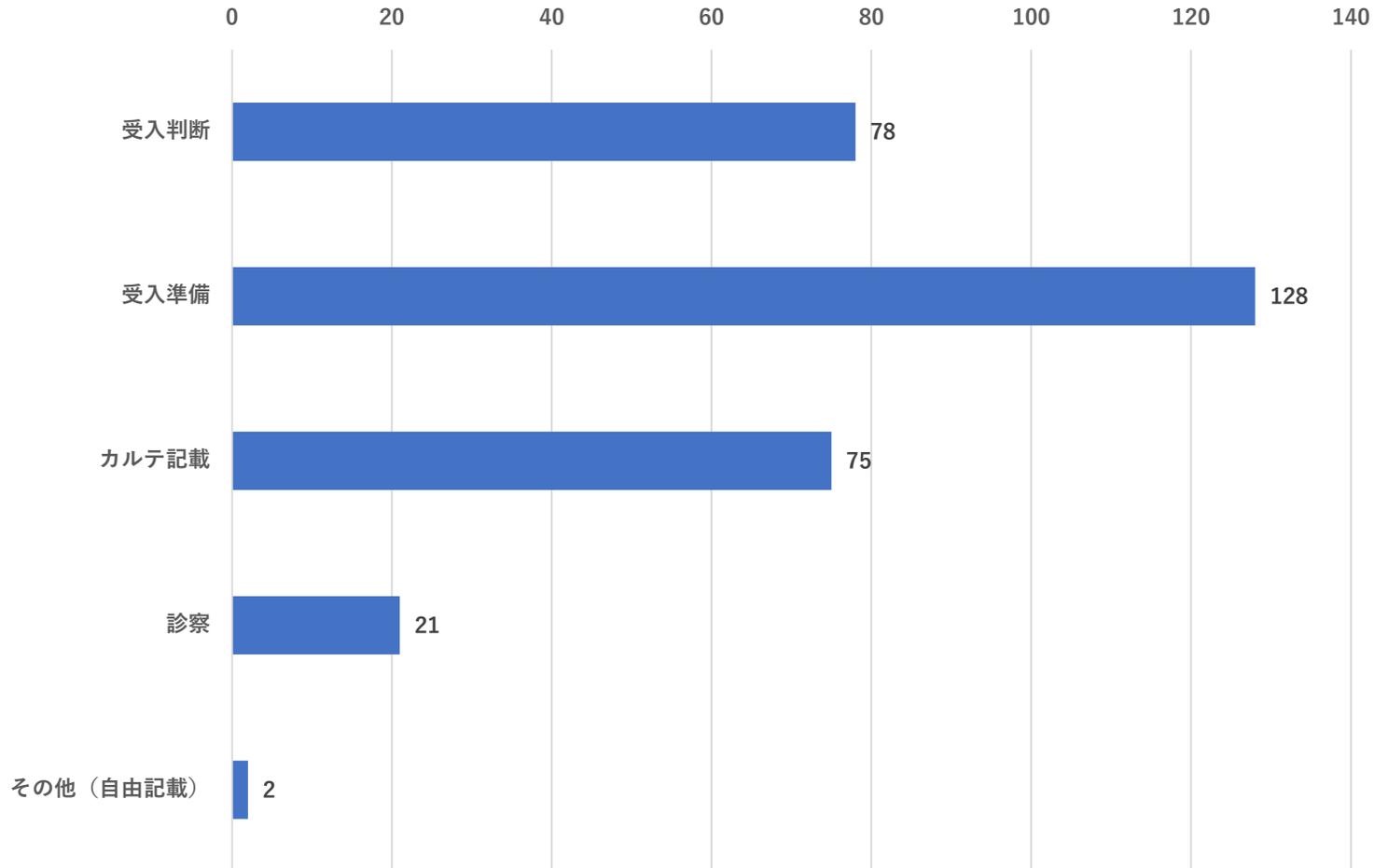
質問	回答数	回答要領
【質問28】 救急隊アプリの利用で救急診療に係る労務負担の軽減につながっていますか。	226	択一式



選択肢	回答
つながっている	50
ややつながっている	93
どちらともいえない	60
あまりつながっていない	14
つながっていない	9

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

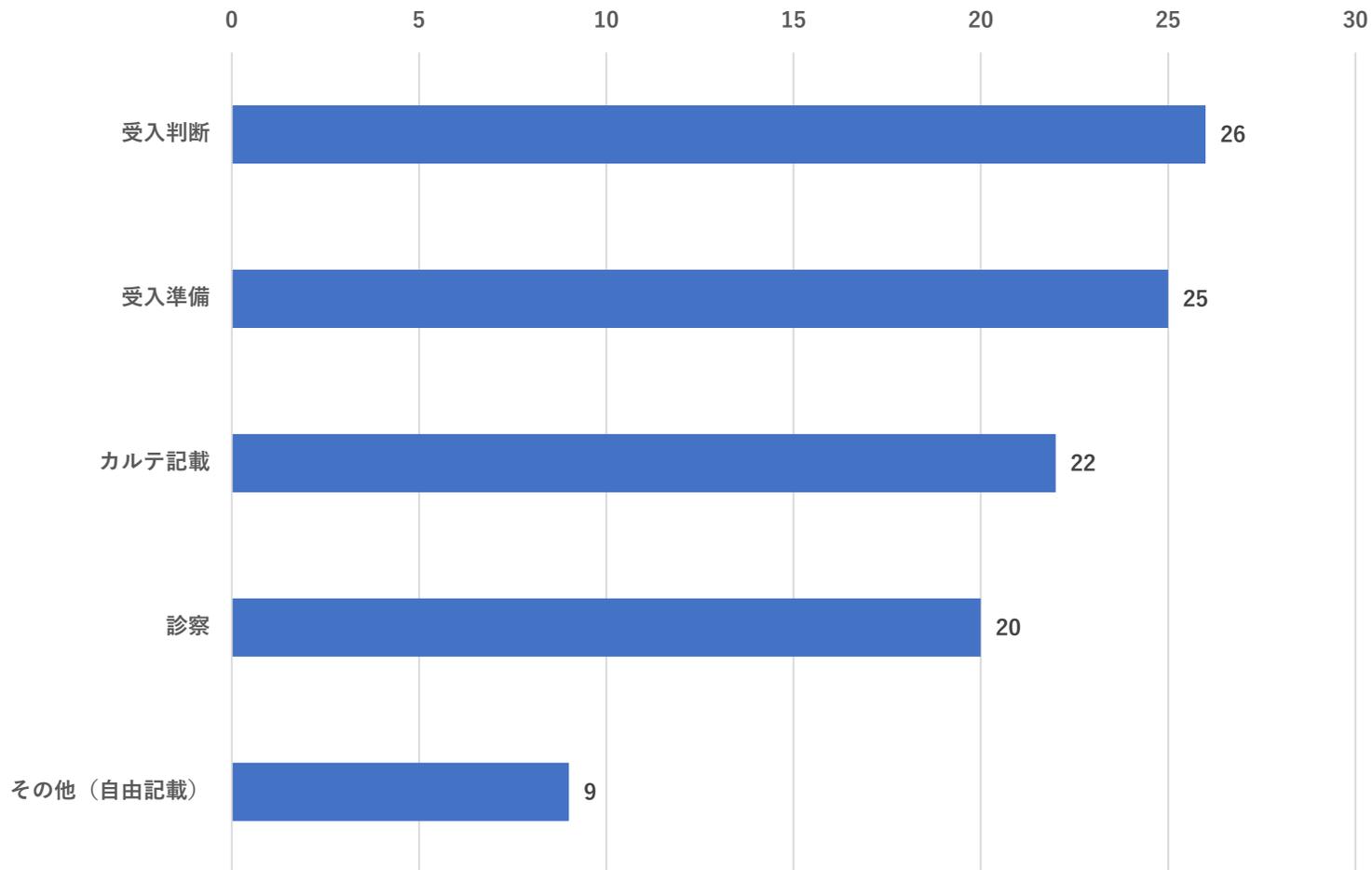
質問	回答数	回答要領
【質問29】 質問28で『つながっている/ややつながっている』とご回答された方へ、どの部分で労務負担の軽減を感じますか。（複数回答可）	304	複数選択



選択肢	回答
受入判断	78
受入準備	128
カルテ記載	75
診察	21
その他 (自由記載)	2

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

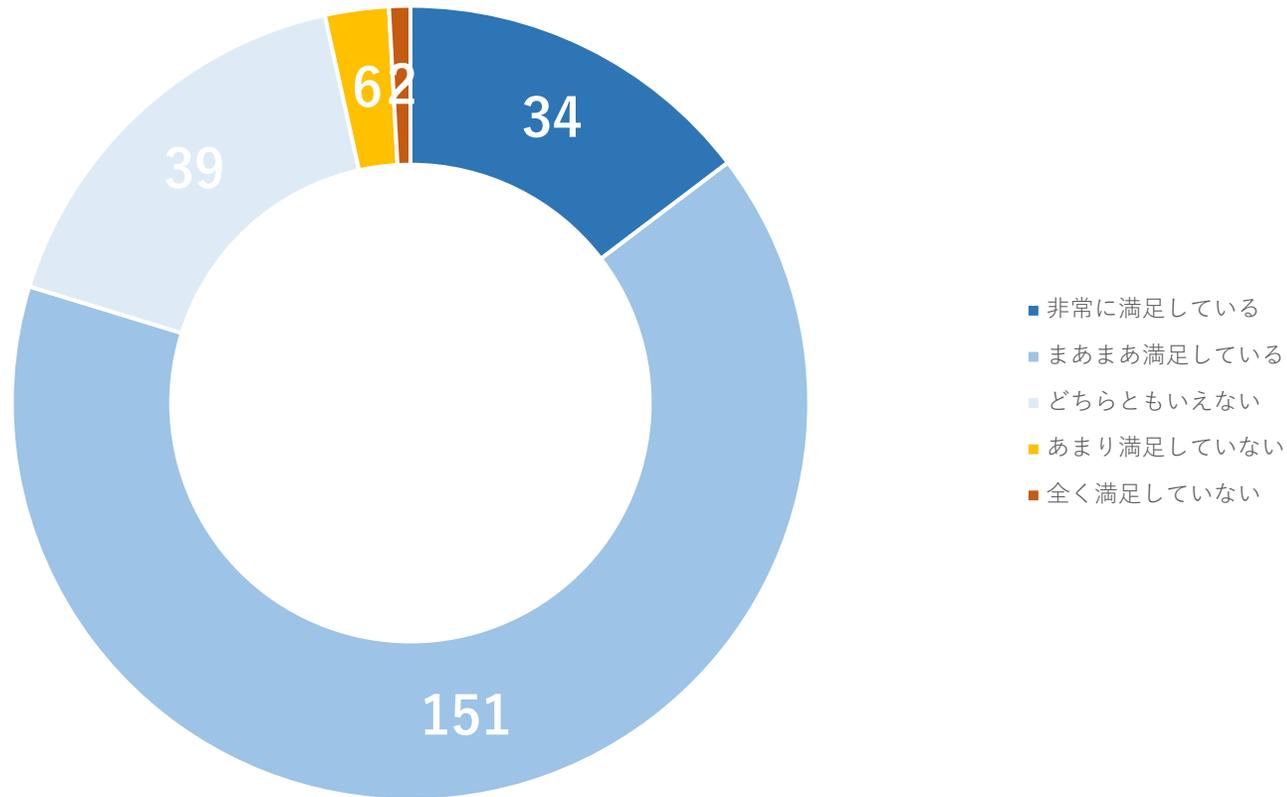
質問	回答数	回答要領
【質問30】 質問28で『どちらともいえない/あまりつながっていない/つながっていない』とご回答された方へ、どの部分で労務負担を感じますか。（複数回答可）	102	複数選択



選択肢	回答
受入判断	26
受入準備	25
カルテ記載	22
診察	20
その他（自由記載）	9

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問31】 救急隊アプリの総合的な満足度について当てはまるものを選んでください。	232	択一式



選択肢	回答
非常に満足している	34
まあまあ満足している	151
どちらともいえない	39
あまり満足していない	6
全く満足していない	2

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

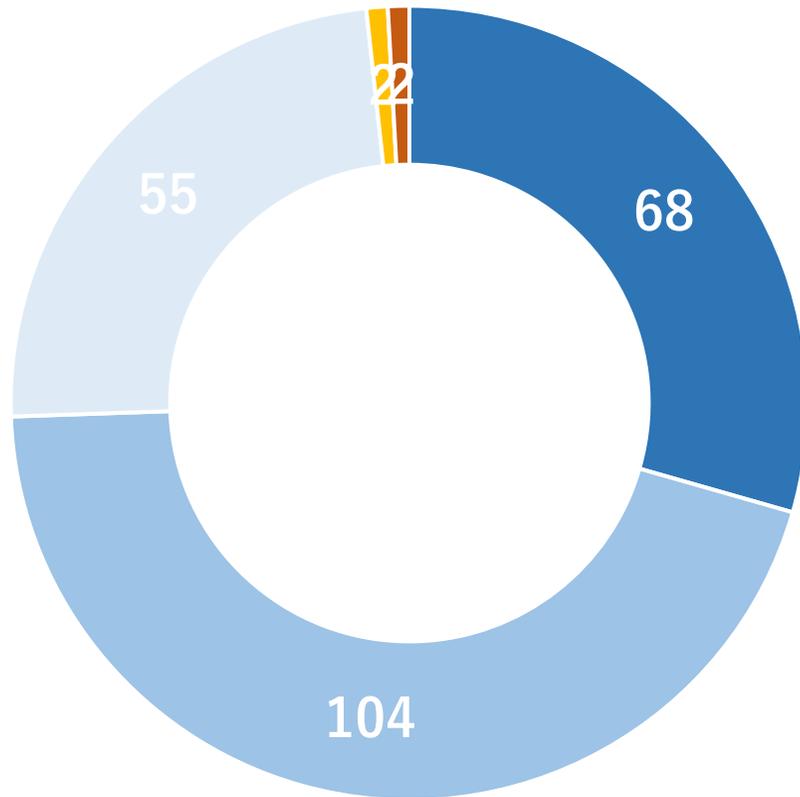
質問	回答数	回答要領
【質問32】 質問31で『非常に満足している/まあまあ満足している』とご回答された理由をお聞かせください。	50	自由回答
ないよりは、便利。		
まずはDX化の一步として、前進したことが何よりではないか。		
メモをとらなくてもいい。		
画像で本人確認ができれば全てを確認せず新患でもカルテを作れるので、対応がしやすい。		
交通事故の状況など画像をみれるのは分かりやすくていい。		
やはり、カルテを早く作れる。ケガの写真があると判断しやすい。医師にタブレット見せればよいから楽。		
医療機関側としては、患者取り違えリスク低減など人定の点で医療安全上のメリットが大きい。		
画面を見て他スタッフと情報共有できるから。		
概ね満足ではあるが、ドクターヘリ症例にて事前情報提供がなかったり、あるいは救急隊が多忙のため情報がほぼ入力されていないこともある。		
患者情報があり、ドクターへの受け入れ判断とつながる。		
看護師 研修医と情報共有できる。		
救急車の位置も把握できれば、より具体的な到着時間がわかるので良いかと思う。		
救急隊アプリの導入によって、搬入前の準備が色々できるようになったため。		
		救急隊の搬送受け入れ書？がペーパーレスになるくらいの情報が共有できたらいい。
		覚知、現着、現発、病着時刻がタブレットに反映するといい。
		救急隊員との見解の食い違いが減った。
		画像をもとに医師へ相談ができる。
		視覚的な情報が役立つ症例では満足している。
		事前に情報がわかりやすく、早めに準備できる。
		事前のID作成に役立つ。
		事前情報から検査や処置が予測できる。
		事務方やNsはいつも受付や救急外来のタブレットをみる事ができるので、情報を得ることができる。
		受け入れ時がスムーズに対応できるようになった。
		症状、主訴の記載や経過があるので質問もしやすい。
		人定情報でカルテ作成が病院到着前にできるため。
		履歴がもう少し長い期間表示されると転帰報告時に役立てることができる。

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問33】 質問31で『どちらとも言えない/あまり満足していない/全く満足していない』とご回答された理由をお聞かせください。	17	自由回答
HOT LINEの情報が可視化されたもので内容確認の意味程度。	有効活用できた場面が少ない。	
これから利用する。	有用性が感じられない。タブレットを常に持ち歩く負担。	
そんなに有効性を当院では感じなかった。		
タブレットが大きいので、持ち運び時じゃま。		
バイトで来ている先生たちが今一つ使用してくれない。		
ログインする際のパスワード等が複雑であること。		
業務の負担軽減には繋がっていないため。		
使える部分と使えていない、使っていない部分がある。		
大まかな情報以外の聞き取りに時間を要しており、受入れ判断に時間ロスが生じる。		
入電時入力されていない項目があるケースがあり口頭で確認が必要となる。		
入力がない場合がある。		
反応が鈍い。		
不足の情報を口頭で確認しているため。		

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問34】 このアプリを他の医療機関に勧めたいと思いますか。	231	択一式



- 勧めたい
- まあまあ勧めたい
- どちらともいえない
- あまり勧められない
- 勧められない

選択肢	回答
勧めたい	68
まあまあ勧めたい	104
どちらともいえない	55
あまり勧められない	2
勧められない	2

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問35】 質問34で『勧めたい/まあまあ勧めたい』とご回答された理由をお聞かせください。	46	自由回答
いち早く目視での状況判断ができる。		視覚的にわかる。時間短縮につながる。
クリニックでも受け入れ可能な施設が増えると思う。		視覚的に確認できる。伝え間違いが少ない
どのような症例なのか連絡前にある程度把握できる上、受け入れの判断もでき無駄がない。		視覚的情報があるとアセスメントがしやすいため勧めたいと思う。
わかりやすい。		受け入れの判断や搬入前の処置準備に非常に役立つため。
可視化されることで救急受け入れの判断がしやすくなるため。		周囲の大まかな救急車出動状況も分かる。
カルテ記載時間が短縮されるため。		傷病者の傷の具合がわかりやすい、交通事故状況がわかりやすい。
改善が期待できる。		情報がペーパーレスでスタッフでも共有しやすい。
救急医療での情報伝達に欠かせないと思ったので。		人定情報の確認ができるため。
救急受け入れ病院であれば、スムーズな受け入れが可能であり、病院到着までに処置の準備ができるため。		早急治療ができる。
救急隊がタブレット端末に記載する労力も考えると、広く使われてこそ意味があるように思う。		搬入前に事前準備ができ助かる。
業務負担軽減になるのであれば。		聞き取りよりは、患者情報やバイタルが正確に伝えられると思う。
使いやすいため。		本人確認が早くなった。
使い方次第ではとても有用。		有効活用できれば救急対応がスムーズになる。

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

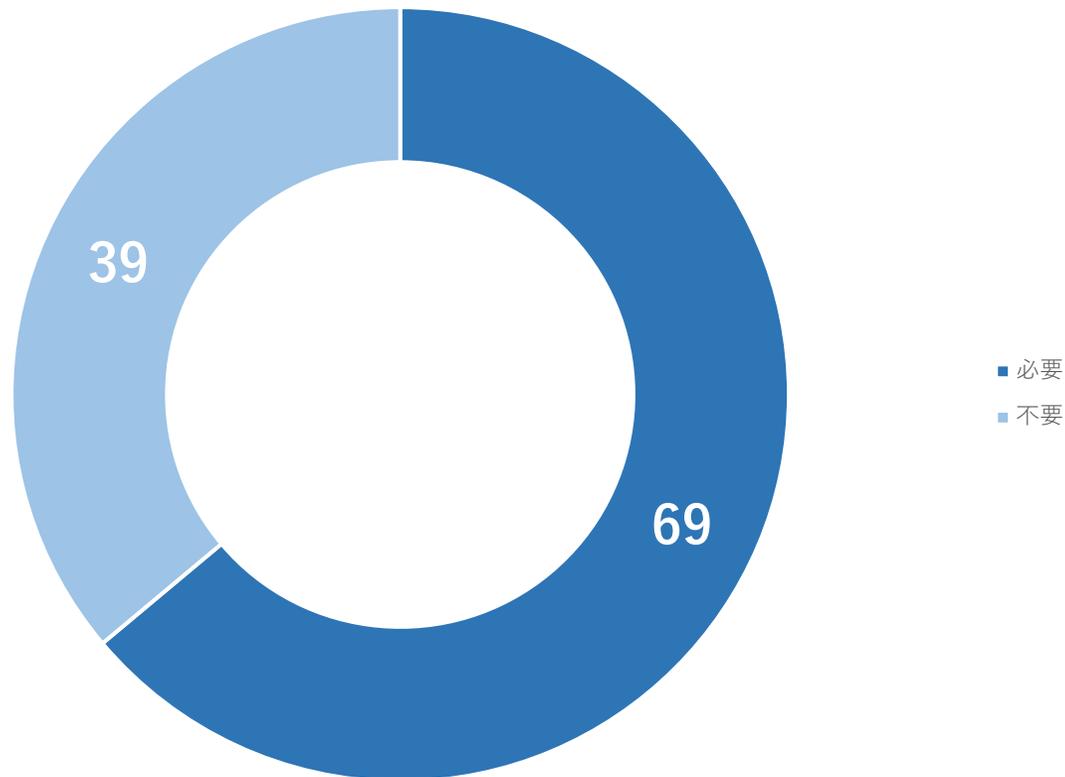
質問	回答数	回答要領
<p>【質問36】 質問34で『どちらともいえない/あまり勧められない/勧められない』とご回答された理由をお聞かせください。</p>	19	自由回答
あまり活用できていません。		特に有用性が感じられないため。
その医療機関が判断すること。		入力ミスが多い。
それぞれの病院で体制は異なるため。		病院に寄り救急対応運用が違うと考えられるため。
まだ改善の余地があるように思われるし、活用目的が達成できていないこともある。		有効と感じる場面がない。
まだ経験が少ないため。		
まだ実用レベルのものではない。		
もっと改善できる余地はあるし、導入コストが分からないが、それを上回るメリットがあるかどうか。		
医師がタブレットを持っていれば有用だが、そのような医療機関ばかりではない。		
医療機関ごとに、さまざまな診療体制があり、一概には言えないため。		
業務の負担軽減には繋がっていないため。		
結局は使う人のよって変わる可能性あり。		
使用する側の医療機関の診療システム次第と考えるから。		
当院のようにHOT LINEを設置している病院は多くないため。		

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問37】 現在あなたの施設で行っている、救急隊アプリをより効果的に活用するための取り組みがあれば教えてください。 ください。	33	自由回答
FireFOXで情報を共有している。		
QRコードカルテ転記。		
タブレットを小さくしてほしい。		
デスクトップPCで閲覧可能。		
医師、看護師が事前情報を共有し、受入れ体制をとっている。		
救急隊アプリ情報を電カルと連携できると尚良いと感じる。		
今の現状維持で良し。		
受け入れ拒否になった事案でも傷病者情報がタブレットに残るようにしてほしい。		
受け入れ不可の際にも情報を残してほしい。		
電子カルテ端末からも閲覧できる施設もある。		
特に取り組みはない。が、もっと各科の救急当番の医師がタブレットを持ち歩き、看護師からの口頭での情報と併せて受入れ判断の材料としてほしい、と個人的に思う。		
病棟にもダッシュボードを表示できるようにして、病院全体で情報共有している。		
複数のiPadで情報共有している。		

第3回 ユーザーアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問38】 今後の機能追加にあたり医師の方にお伺いします。 救急隊のスキルアップを目的として、救急隊の現場活動等の救急業務に対し、医師の視点で助言等を行う機能（搬送が完了した事案別に医師がコメントを入力し救急隊にフィードバックする機能）は必要だと思いますか。	108	択一式



選択肢	回答
必要	69
不要	39

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問39】 質問38で『必要』とご回答された理由をお聞かせください。	30	自由回答
AMI症例で他院との交渉中で時間がかかっているのを見た時、当院が即受け入れ可能を伝えたい。		機能は試してみないと有用かどうか判断出来ない。
MCのPDCAサイクルにおいて重要な役割を果たす可能性がある。		救急救命士のトレーニングになる。
アンダートリアージであった場合にはフィードバックがなければ再度同様のトリアージをしてしまう可能性があるため、医師の意見を取り入れる機会が必要だと考える。		救急隊からの情報提供は診療上非常に有用であり、そのクオリティが上がれば鑑別までの時間も短縮するため。
この症例で、なかなかフォードバックする時間がないため ただ、しばらく記録は残しておいてもらう必要はある。(数日程度)		救急隊は、限られた環境の中で患者さんの症状からアセスメントをし病院選定を行う必要があるが、病院選定を間違ったことにより、患者の命を落とすケースも時折見られる。
スキルアップ目的であれば必要だとは思いますが現場との乖離で現場が混乱しないかは注意が必要とは考える。		常に搬送した症例を振り返り、今後に活かしていただきたい。
すでに症例によっては個別に行っている。		現在も救急隊にフィードバックしている。
すべての症例では不要だが、MCで検証するような症例は検証表の代わりに、こういった端末で振り返りができると業務負担軽減につながると思う。		呼吸状態の悪い患者の判断ができていないなど、spo2などの数値にのみとらわれている状況が何回かあった。ただ労力の問題でその場でフィードバックの方が効率的と思う。
フィードバックする方法がなく、実施する場合には非常に労力がかかるので困っている。ぜひとも、お願いしたい。		初療時の見立てが違っていることもあるので。
医師の視点が必要。		小児の意識レベル、けいれんの有無などで、判断が異なっている事がある。
医療機関の適切な選定のために必要である。		診断名を記入する段階で、確定診断であることがとても少ないから。
看護師だが、転帰報告をメールではなくタブレットのできるのであれば活用したい。		迅速かつ低労力でフィードバックが可能なシステムは必要だと思う。全例でフィードバックが必要ではないと思うが。
感染が分かった時の報告や、転機など、早めにお伝えできる。		直接フィードバックできれば良いが、忙しい時もあるため。
医師記録内容を含めてフィードバックしているので、搬送後状態急変された方などの報告内容は参考になると思っている。		適切な医療機関へ搬送してもらうため。

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問40】 質問38で『不要』とご回答された理由をお聞かせください。	17	自由回答
なにもないときに特になしと記載する時間が手間に感じる。必要があれば現行でも適宜言っていると思う。		当院に収容する程度の傷病ではそれほど有用なアドバイスはない。
フィードバックの別の機会がある点と時間が必要になる点。		余計な業務が増えるだけ。
フィードバックは必要であるが、急患を前に診療をしながら、搬送が完了した事案別に医師がコメントを入力することは不可能。		良い事だが手間で続かない。
めんどくさい。		労務が増える。
リアルタイムに電話で行うべき。あるいは病着後に直接フィードバックするべき。		
医師の業務をこれ以上増やさないで欲しい。		
医師の負担になる。		
医師はなかなか余計な事はしたがない為。		
業務が増える。		
時間がない、事後に転機を問い合わせできれば良い。		
手間は増える。救急を受けること自体はストレスなのにその振り返りまで要求されると。		
受け入れ時に手書きでコメントを記載している。		
全例フィードバックが必要なわけではなく、業務量増加に見合うだけの効果はないと考えている。		

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
【質問41】 アプリの機能改善のほか、機能追加や運用方法等についてご意見・ご要望があればお聞かせください。	33	自由回答
症例ごとのフィードバック機能追加。		ドクターヘリ事案での複数病院への情報提供システムが適切に使用されていないことが多く、救急隊がわかりやすいようにしてほしい。
6時間より、もう少し長い状況がわかれば嬉しい。当院が受け入れ困難だった事例も、どんな症例だったか、確認できればありがたい。		きちんと記載して欲しい。
カルテ転記へのやりやすさ向上(手間がかかりすぎる)、テンプレートの作成(情報の質向上)、画像等も共有できるようにする。		システムレベルでは、発症時刻の情報が、医療機関側から参照しにくく、アプリ上で表示枠を設けるか、現病歴内に記載する運用で対応していただきたい。
けいれんで止まっているかを必ず意識レベルを聞くが、アプリ内に入っていたら良いと思う。		運用レベルでは、本来ラベルとして機能するはずの主訴について、救急隊の入力が上手ではなくラベリングとして機能していない。
分からないときは動画を送れたりするとより判別しやすいのではないかと思うので動画機能も追加して欲しい。		タブレットの動作安定。
既往やかかりつけ医情報を増やして頂きたい。		ドクヘリ事案で、要請時は圏域のヘリ搬送病院すべてに、情報が提供されるが、搬送先がきまると、情報が消えてしまい、搬送先の病院でみることができない。
救急車の位置もリアルタイムで把握できれば、より具体的な到着時間がわかるので良いかと思う。		端末の操作性が良くない。バーを上げないと右下の画像が見られない、下げないと患者一覧が見られないので、いちいちバーを上げ下げるが、これが特に面倒。
救急部署によっての患者情報の統一性。		東広島の救急隊に、ぜひ広島県と同じシステムを導入するよう働きかけてほしい。(システムが2つあって、間違えて開くことがある)
他の医療機関の状況を見やすくしてほしい。二次医療圏を超えて(となりの医療圏まで)表示してほしい。		当院では、アプリとカルテが連動していない為、情報の記載に時間がかかる。また、受け入れしない場合でもカルテ記載が必要なため、即データが消えてしまうのでメモが必要となる。
当院が何件目の依頼なのか、前にどの病院が断ったかが判れば、受け入れを考える一助になる。		当院で脳を診た後他科病院(整形など)へ転送した場合、システム上「受入不可」にマークされてしまう。診察したカウントになるようにしてほしい。
発生場所? 所在地が分かるようになればいいなと思う。		「受入可」と回答したにも拘わらず、患者都合等で来院しなかった場合も、同様に「受入不可」にマークされてしまうので、改善検討してほしい。
救急隊員の名前ができるようにしてほしい。		搬送されなかった事例が、個人情報はなくともよいが、履歴として残ってほしい。
翻訳アプリを入れて欲しい。		読み込みに時間がかかるため、スムーズに読み込みできるようにしてほしい。

第3回 ユーザアンケート【医療機関】

質問	回答数	回答要領
<p>【質問42】次期救急搬送支援システム（広島県救急搬送支援システム）の愛称を募集しています。愛称についてご提案があれば、『愛称名』と『命名由来』を記載ください。</p>	14	自由回答
<p>A R E A（エリア）</p>	<p>HiPIS(ハイピス) : Hiroshima Prehospital Information System</p>	
<p>Critical Aid Rescue Platform System</p>	<p>H i K A L i (Hiroshima Ken AmbuLance Information 広島県救急情報)</p>	
<p>EAC (緊急時救急車連絡)</p>	<p>HERMES(: Hiroshima Emergency Relay & Management Enhancement System, 広島救急情報伝達・情報管理支援システム) : ヘルメース、オリュンポス神話でゼウスの伝令を務めた神から。</p>	
<p>HEIWA</p>		
<p>HELIOS (HIROshima Emergency Linkage & Integrated Operation System) 太陽をイメージ</p>		
<p>HELIOS (ヘリオス) * 命名由来： * Hiroshima Emergency Linkage Information Operation System の頭文字を取っている。 * ギリシャ神話の太陽神ヘリオスは、光と生命を司り、全てを見通す存在。救急医療において、このシステムが迅速かつ正確な情報を提供し、県内の救急搬送を明るく照らし、命を救う道標となることを願っている。また、ヘリオスが毎日空を巡るように、24時間365日、途切れることなく機能し続けるシステムの特性も表している。</p>		
<p>HELIOS (ヘリオス) Hiroshima Emergency Logistics Information Operation System</p>		
<p>HERIOS (ヘリオス) ※上記の少しアレンジ版 Hiroshima Emergency Response Integration & Operation System</p>		
<p>HIERS (ハイアーズ) Hiroshima Intelligent Emergency Response System</p>	<p>Z</p>	
<p>Hens (Hiroshima emergency network system)</p>		
<p>HERO Hiroshima Emergency information Research system Operations</p>		